

富岡町 住民意向調査 報告書

平成31年3月

復興庁
福島県
富岡町

富岡町 住民意向調査 報告書

目 次

I	調査の概要	1
1-1	調査目的	3
1-2	調査内容	3
1-3	調査設計	3
1-4	回収結果	3
1-5	報告書の見方	3
II	調査結果のまとめ	5
2-1	現在の状況	7
2-1-1	現在の職業（就業形態）（問11（1））	7
2-1-2	世帯人数（問4・問8）	7
2-1-3	現在の居住地域（問7）	8
2-1-4	現在の住居形態（問9）	8
2-1-5	世帯の分散状況（問10）	9
2-2	将来の意向	10
2-2-1	富岡町への帰還意向（問12）	10
2-2-2	富岡町への帰還を決めた理由（問13）	11
2-2-3	富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること（問14）	12
2-2-4	富岡町へ帰還する場合の家族（問15）	12
2-2-5	富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し（問16）	13
2-2-6	富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態（問18）	13
2-2-7	富岡町へ帰還する場合に必要な施策（問19）	14
2-2-8	富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に 必要な施策（問20）	15
2-2-9	富岡町への帰還を判断するために必要なこと（問22）	16
2-2-10	帰還ができない、帰還の判断がつかない、帰還しない理由 （問21・問24）	17
2-2-11	富岡町との「つながり」を保ちたいか（問23・問25）	18
2-2-12	富岡町との「つながり」を保つために 必要な施策（問23-1・問25-1）	19
2-2-13	富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域（問26）	19

2-2-14	富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして 希望する住居形態（問27）	20
2-2-15	富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために 必要な施策（問28）	20
III	調査結果	21
3-1	回答者の属性	23
3-1-1	性別	23
3-1-2	年齢	23
3-2	東日本大震災発生時の状況	24
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	24
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	24
3-2-3	震災発生当時の住まいの住居形態	25
3-2-4	震災発生当時の職業（就業形態）	26
3-2-5	震災発生当時の業種	27
3-2-6	震災発生当時の勤務先の場所	28
3-3	現在の状況	29
3-3-1	現在の居住地	29
3-3-2	現在の世帯構成・人数	29
3-3-3	現在の住居形態	30
3-3-4	世帯の分散状況	31
3-3-5	世帯が分散して住まざるを得なかった理由	31
3-3-6	現在の職業（就業形態）	32
3-3-7	現在の業種	33
3-4	将来の意向	34
3-4-1	富岡町への帰還意向	34
3-4-2	富岡町への帰還を決めた理由	36
3-4-3	富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること	37
3-4-4	雇用確保の支援として希望する施策	38
3-4-5	医療機関の拡充として立地を希望する医療機関・診療科	39
3-4-6	介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設	40
3-4-7	保育・教育環境として希望する支援や施設整備	41
3-4-8	現在の見守り活動についての考え	42
3-4-9	富岡町へ帰還する場合の家族	43
3-4-10	富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し	43
3-4-11	富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所	44
3-4-12	富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種	44
3-4-13	富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種	45
3-4-14	富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態	45

3-4-15	富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由	46
3-4-16	富岡町が整備した災害公営住宅のうち希望する団地	46
3-4-17	富岡町へ帰還する場合に必要な施策	47
3-4-18	富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策	48
3-4-19	富岡町への帰還の判断がつかない理由	49
3-4-20	富岡町への帰還を判断するために必要なこと	50
3-4-21	富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種	51
3-4-22	富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所	51
3-4-23	富岡町との「つながり」を保ちたいか 〔まだ帰還の判断がつかない方〕	52
3-4-24	富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔まだ帰還の判断がつかない方〕	53
3-4-25	富岡町に帰還できない・帰還しない理由	54
3-4-26	富岡町との「つながり」を保ちたいか 〔帰還できない方、帰還しない方〕	55
3-4-27	富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔帰還できない方、帰還しない方〕	56
3-4-28	富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域	56
3-4-29	富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	57
3-4-30	富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策	58
3-5	復興公営住宅	59
3-5-1	福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向	59
3-5-2	入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村	59
3-6	情報入手	60
3-6-1	富岡町からの情報の入手経路	60
3-6-2	富岡町から欲しい情報	61
3-7	意見・要望	62
3-7-1	意見に係る記入内容の分類結果	63
3-7-2	生活について	64
3-7-3	震災発生前の居住地について	66
3-7-4	賠償について	68
3-7-5	帰還について	69
3-7-6	避難期間中及び将来の住宅について	71
3-7-7	除染について	73
3-7-8	復旧・復興について	75
3-7-9	原発の安全性について	77
3-7-10	原発事故に対する対応について	78
3-7-11	その他	80

IV 參考資料	8 1
4-1 使用調查票	8 3

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた富岡町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	富岡町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 6, 748世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成30年8月20日（月）～平成30年9月3日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、富岡町
(6) 調査機関	トッパン・フォームズ株式会社

1-4 回収結果

有効回収数 2, 992世帯（有効回収率44.3%）

1-5 報告書の見方

- ・ 調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ・ 「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・ 図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・ 調査数（ n 値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

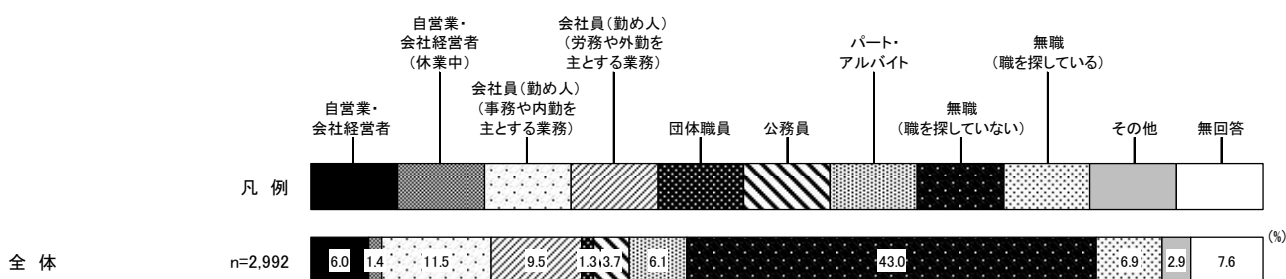
II 調査結果のまとめ

2-1 現在の状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問11（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が11.5%、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が9.5%と高くなっている。

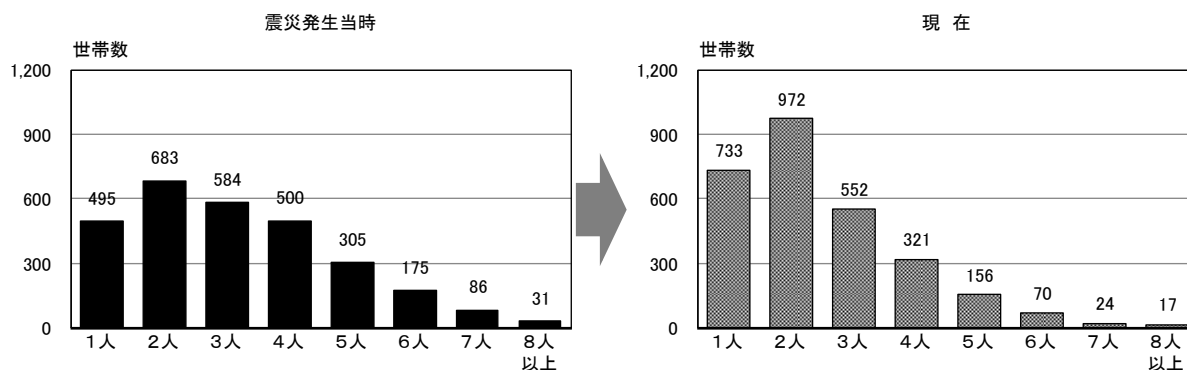
<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>



2-1-2 世帯人数（問4・問8）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が683世帯と最も多く、次いで「3人」が584世帯、「4人」が500世帯となっている。
現在の世帯人数は、「2人」が972世帯と最も多く、次いで「1人」が733世帯、「3人」が552世帯となっている。

<図表2-1-2 世帯人数>

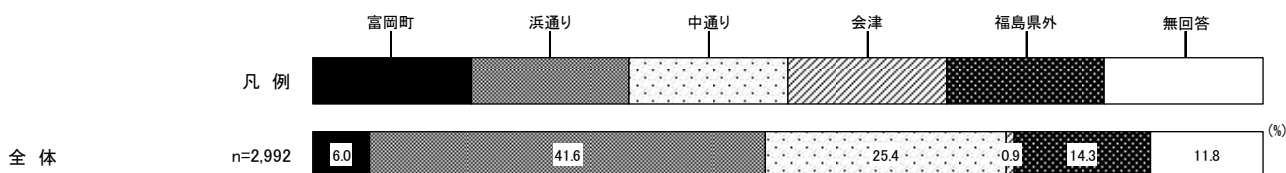


II 調査結果のまとめ

2-1-3 現在の居住地域（問7）

現在の居住地域については、「浜通り」が41.6%と最も高く、次いで「中通り」が25.4%、「福島県外」が14.3%となっている。

<図表 2-1-3 現在の居住地域>

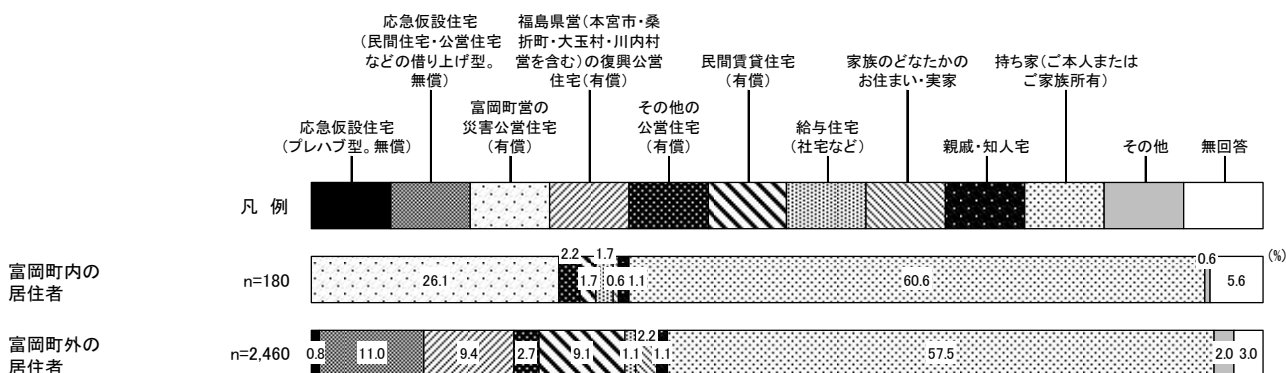


2-1-4 現在の住居形態（問9）

現在の住居形態について、富岡町内の居住者では、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が60.6%と最も高く、次いで「富岡町営の災害公営住宅（有償）」が26.1%となっている。

富岡町外の居住者では、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が57.5%と最も高く、次いで「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」が11.0%、「福島県営（本宮市・桑折町・大玉村・川内村営を含む）の復興公営住宅（有償）」が9.4%、「民間賃貸住宅（有償）」が9.1%となっている。

<図表 2-1-4 現在の住居形態（現在の居住地域別）>

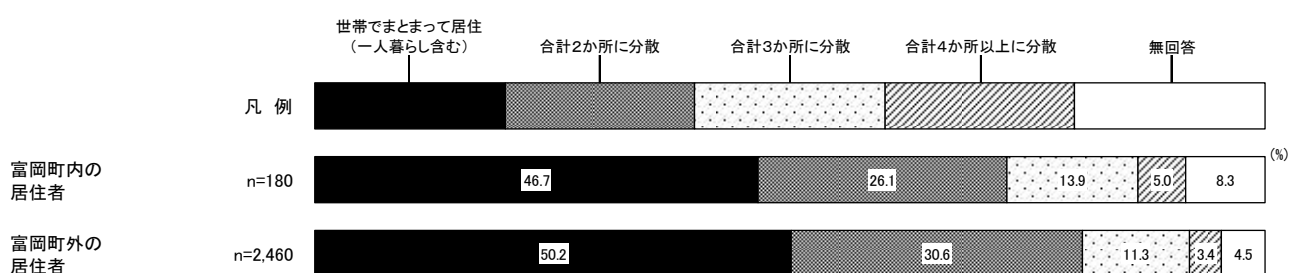


2-1-5 世帯の分散状況（問10）

世帯の分散状況について、富岡町内の居住者では、「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が46.7%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が26.1%、「合計3か所に分散」が13.9%となっている。

富岡町外の居住者では、「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が50.2%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が30.6%、「合計3か所に分散」が11.3%となっている。

<図表 2-1-5 世帯の分散状況（現在の居住地域別）>



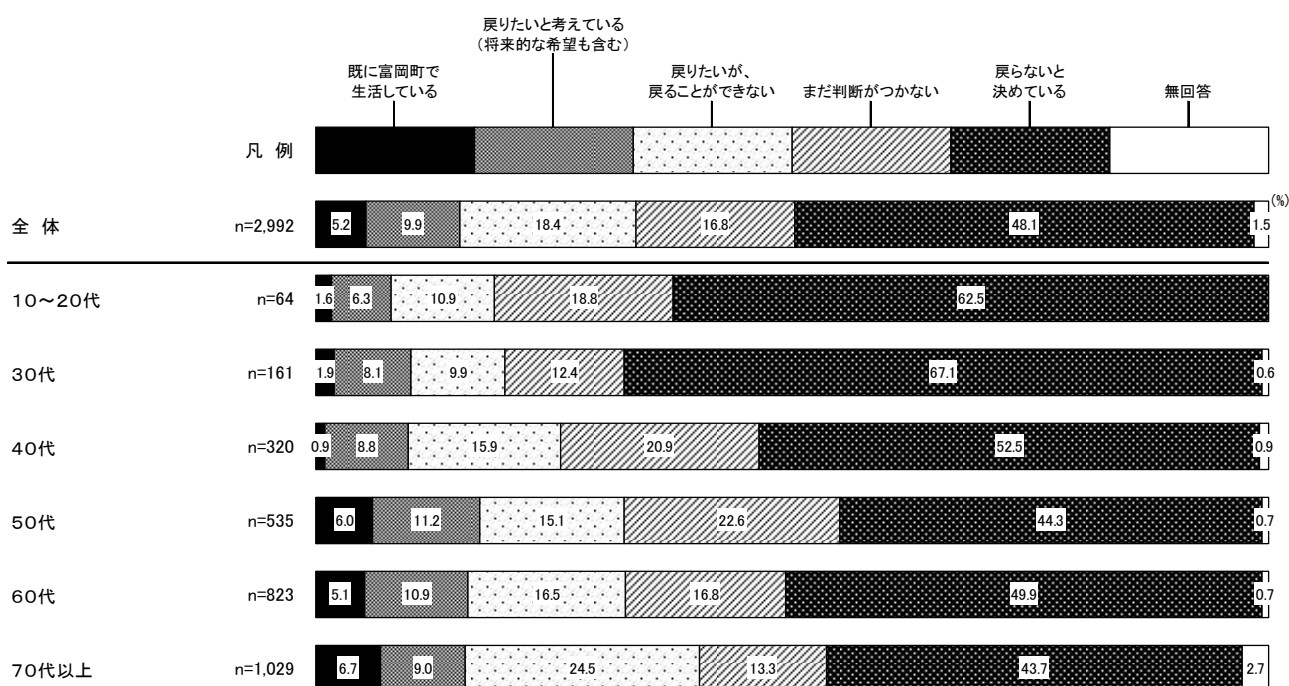
2-2 将来の意向

2-2-1 富岡町への帰還意向（問12）

富岡町への帰還について、「既に富岡町で生活している」（5.2%）、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」（9.9%）、「戻りたいが、戻ることができない」（18.4%）をあわせると、富岡町への帰還意向のある人は33.6%（※）となっている。 ※四捨五入による誤差あり

回答者の年齢別にみると、富岡町への帰還意向のある人は高年代層ほど多く、70代以上では40.2%となっている。70代以上では「戻りたいが、戻ることができない」が24.5%と高い。一方、「戻らないと決めている」人は若い年代で多く、10～20代で62.5%、30代で67.1%、40代で52.5%と過半数を占める。

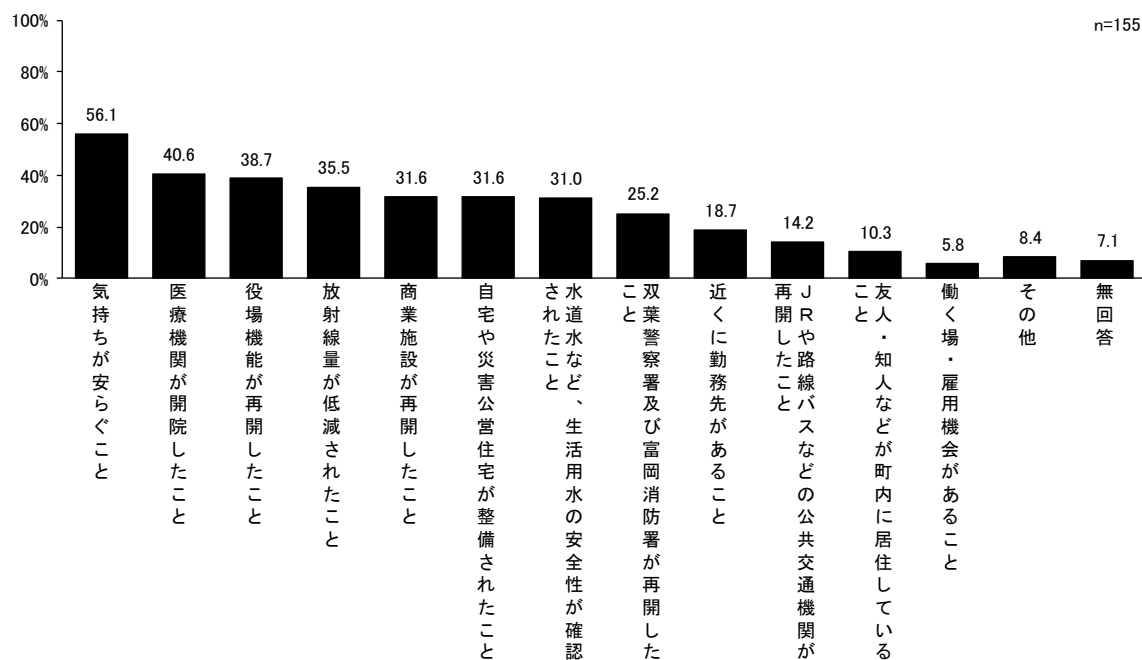
<図表 2-2-1 富岡町への帰還意向（年齢別）>



2-2-2 富岡町への帰還を決めた理由（問13）

富岡町への帰還を決めた理由については、「気持ちが安らぐこと」が56.1%と最も高く、次いで「医療機関が開院したこと」が40.6%、「役場機能が再開したこと」が38.7%となっている。

<図表2-2-2 富岡町への帰還を決めた理由>



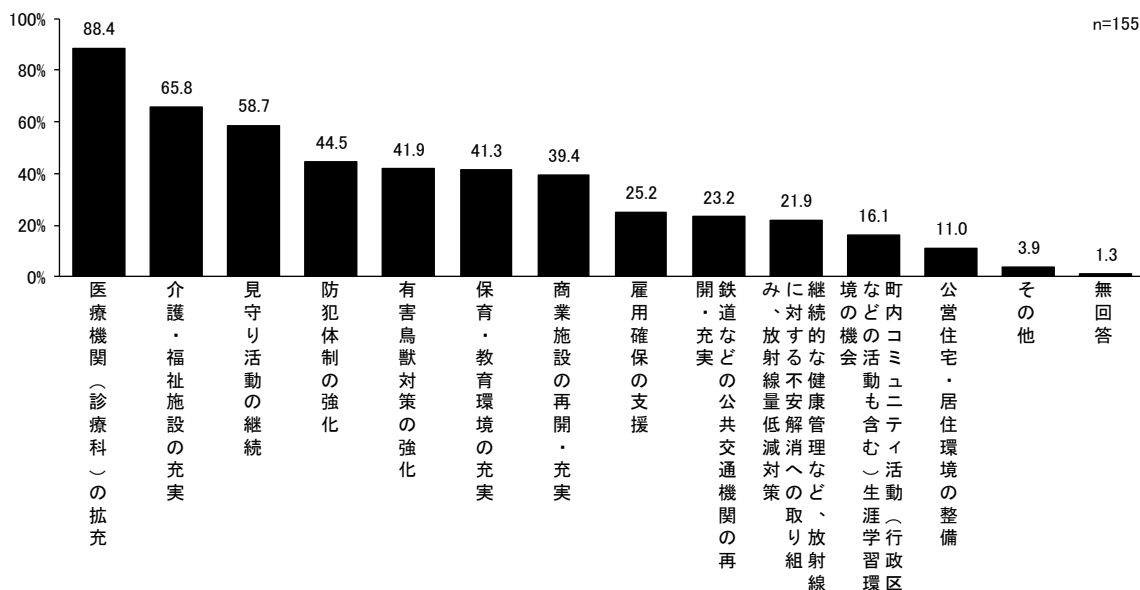
※問12で「既に富岡町で生活している」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること (問14)

富岡町内での今後の生活において必要だと感じていることについては、「医療機関（診療科）の拡充」が88.4%と最も高く、次いで「介護・福祉施設の充実」が65.8%、「見守り活動の継続」が58.7%となっている。

<図表2-2-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること>

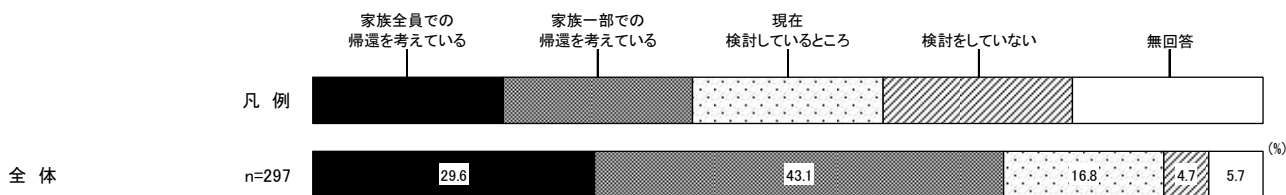


※問12で「既に富岡町で生活している」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-4 富岡町へ帰還する場合の家族 (問15)

富岡町へ帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が43.1%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が29.6%、「現在検討しているところ」が16.8%となっている。

<図表2-2-4 富岡町へ帰還する場合の家族>

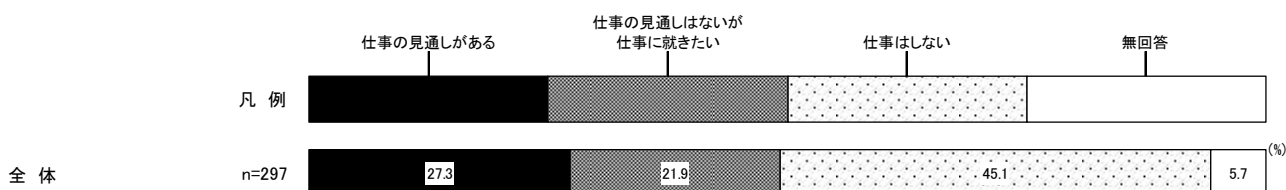


※問12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-5 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し（問16）

富岡町へ帰還した場合の仕事の見通しについては、「仕事の見通しがある」が27.3%、「仕事の見通しはないが仕事に就きたい」が21.9%、「仕事はしない」が45.1%となっている。

<図表2-2-5 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し>

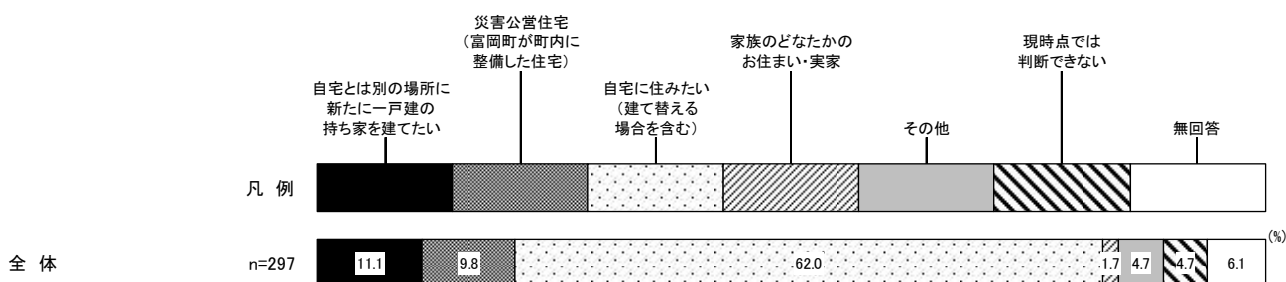


※問12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-6 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態（問18）

富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態については、「自宅に住みたい（建て替える場合を含む）」が62.0%と最も高く、次いで「自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」が11.1%、「災害公営住宅（富岡町が町内に整備した住宅）」が9.8%となっている。

<図表2-2-6 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態>



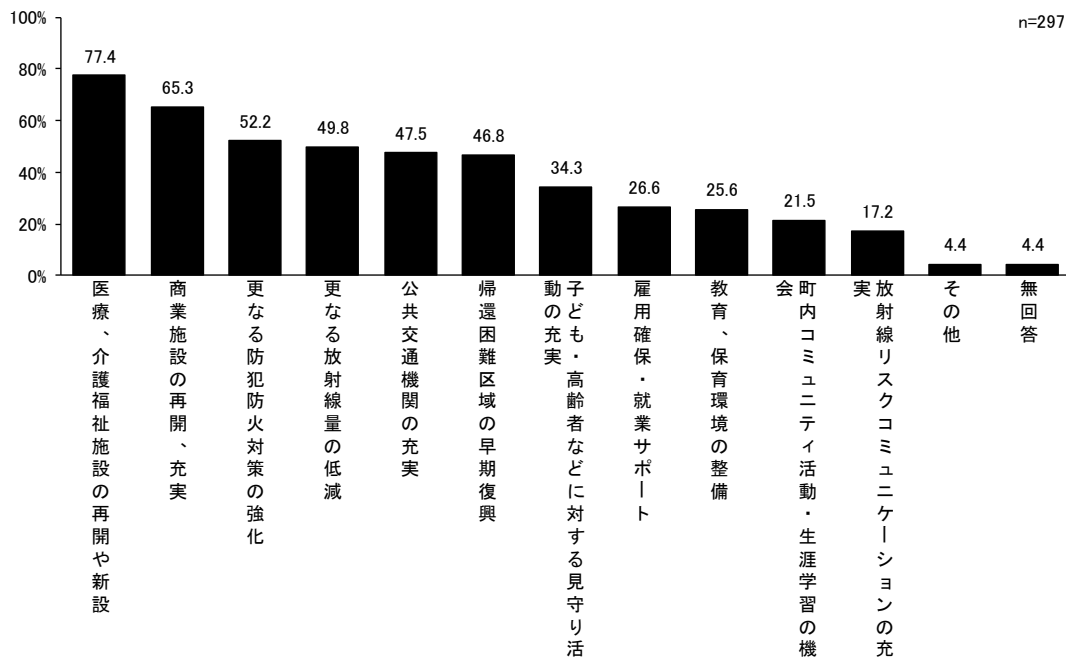
※問12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

Ⅱ 調査結果のまとめ

2-2-7 富岡町へ帰還する場合に必要な施策（問19）

富岡町へ帰還する場合に必要な施策については、「医療、介護福祉施設の再開や新設」が77.4%と最も高く、次いで「商業施設の再開、充実」が65.3%、「更なる防犯防火対策の強化」が52.2%となっている。

<図表2-2-7 富岡町へ帰還する場合に必要な施策>



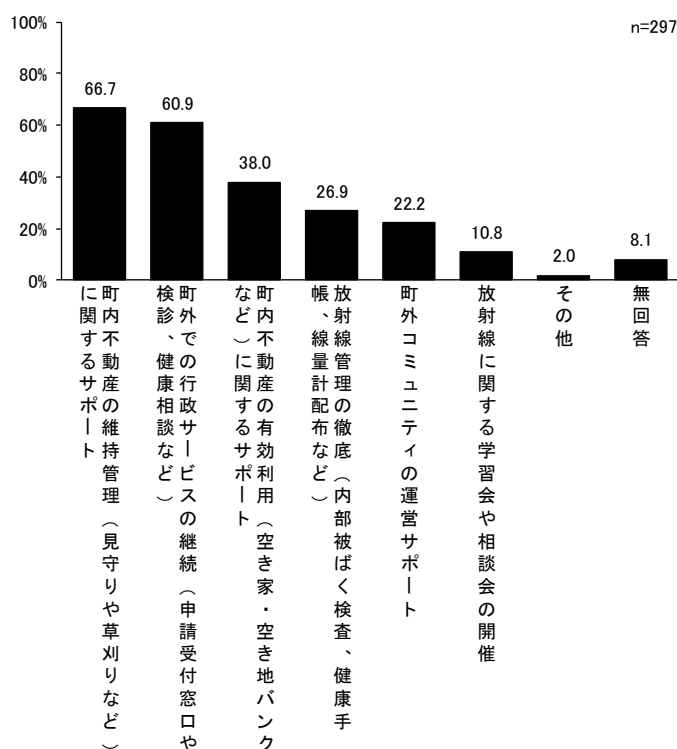
※問12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-8 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策（問20）

富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策については、「町内不動産の維持管理（見守りや草刈りなど）に関するサポート」が66.7%と最も高く、次いで「町外での行政サービスの継続（申請受付窓口や検診、健康相談など）」が60.9%、「町内不動産の有効利用（空き家・空き地バンクなど）に関するサポート」が38.0%となっている。

<図表2-2-8 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策>



※問12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

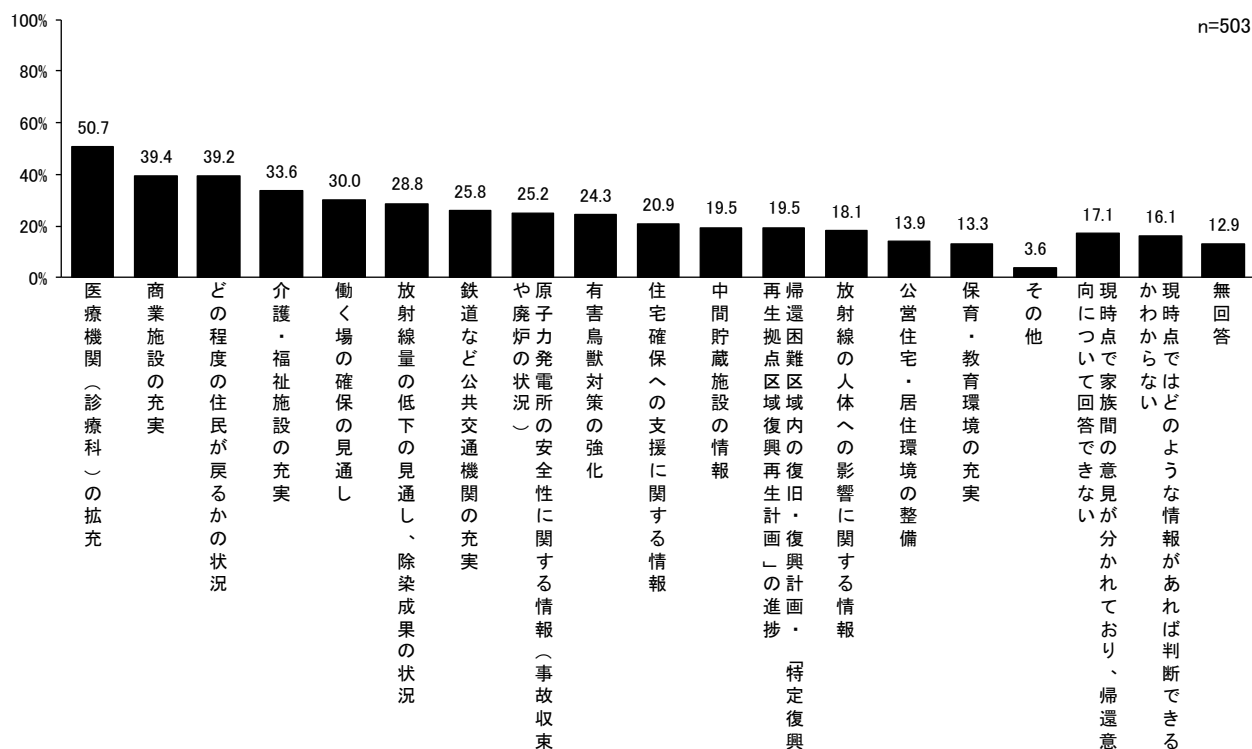
※複数回答可

Ⅱ 調査結果のまとめ

2-2-9 富岡町への帰還を判断するために必要なこと（問22）

富岡町への帰還を判断するために必要なことについては、「医療機関（診療科）の拡充」が50.7%と最も高く、次いで「商業施設の充実」が39.4%、「どの程度の住民が戻るかの状況」が39.2%となっている。

<図表2-2-9 富岡町への帰還を判断するために必要なこと>



※問12で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-10 帰還ができない、帰還の判断がつかない、帰還しない理由 (問21・問24)

富岡町への帰還について、帰還ができない理由では、「医療環境に不安があるから」が34.2%と最も高く、次いで「原子力発電所の安全性に不安があるから」が29.2%、「帰還困難区域内だから」が28.4%となっている。

帰還の判断がつかない理由では、「避難先の方が、生活利便性が高いから」(44.7%)と「医療環境に不安があるから」(44.5%)がほぼ同じ割合で高く、次いで「他の住民も戻りそうにないから」が39.0%となっている。

帰還しない理由では、「すでに生活基盤ができてきているから」が60.4%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が40.4%、「原子力発電所の安全性に不安があるから」が36.2%となっている。

<図表2-2-10 帰還ができない、帰還の判断がつかない、帰還しない理由(帰還意向別)>



※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

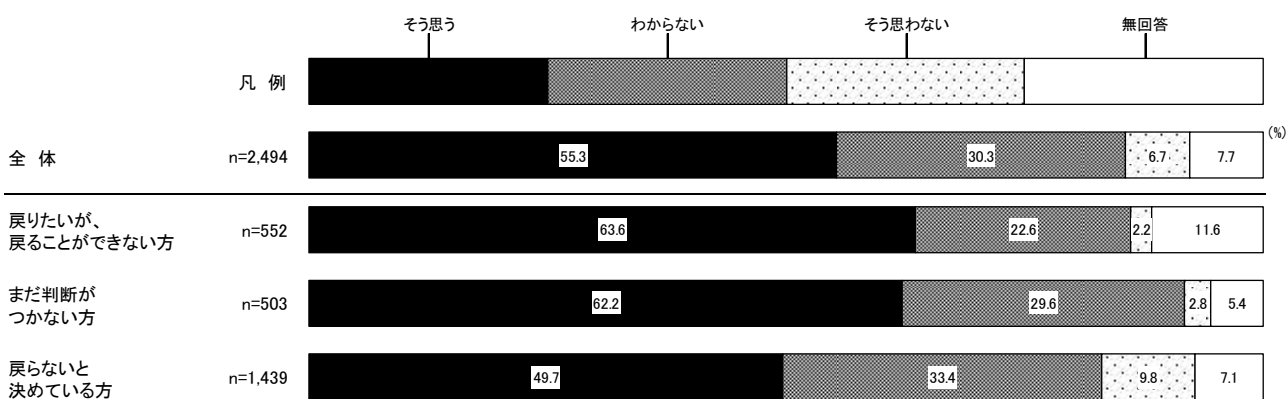
※複数回答可

Ⅱ 調査結果のまとめ

2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（問23・問25）

富岡町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が55.3%、「わからない」が30.3%、「そう思わない」が6.7%となっている。
 帰還意向別に「そう思う」の割合をみると、戻りたいが、戻ることができない方では63.6%、まだ判断がつかない方では62.2%と、ともに6割を超えているが、戻らないと決めている方では49.7%となっている。

<図表2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（帰還意向別）>

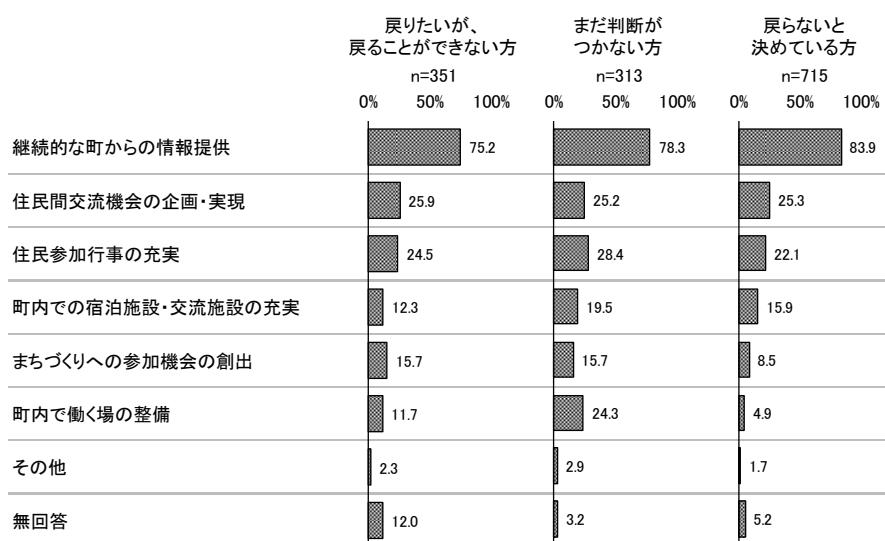


※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 (問23-1・問25-1)

富岡町との「つながり」を保つために必要な施策については、どの帰還意向の方においても「継続的な町からの情報提供」が最も高く、「住民間交流機会の企画・実現」と「住民参加行事の充実」が2割を超えている。まだ判断がつかない方においては、「町内で働く場の整備」も24.3%と2割を超えている。

<図表2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策（帰還意向別）>

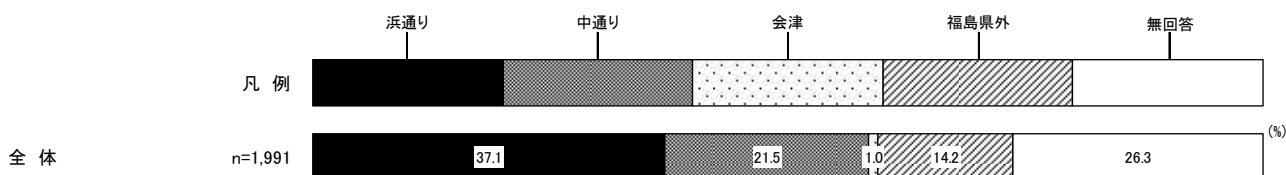


※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
※複数回答可

2-2-13 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域（問26）

富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域については、「浜通り」が37.1%と最も高く、次いで「中通り」が21.5%、「福島県外」が14.2%となっている。

<図表2-2-13 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域>



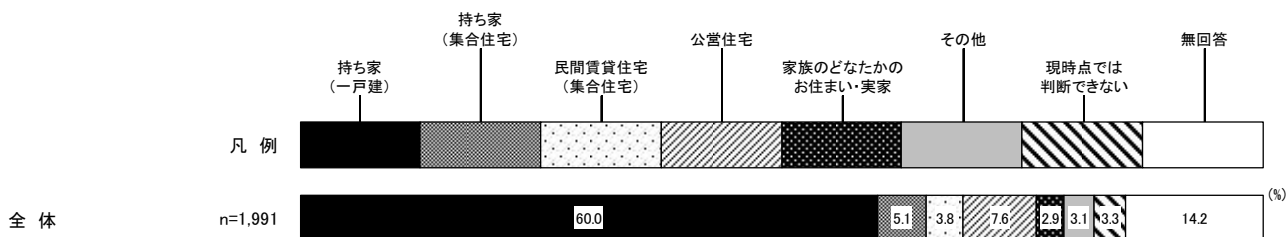
※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

II 調査結果のまとめ

2-2-14 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問27）

富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が60.0%と最も高く、他の住居形態はいずれも1割未満となっている。

<図表2-2-14 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>

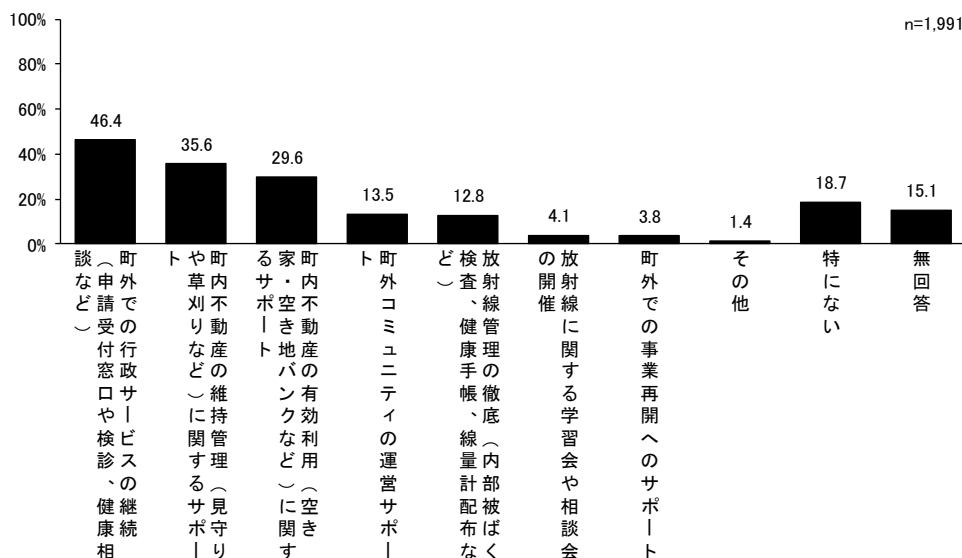


※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-15 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策（問28）

富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策については、「町外での行政サービスの継続（申請受付窓口や検診、健康相談など）」が46.4%と最も高く、次いで「町内不動産の維持管理（見守りや草刈りなど）に関するサポート」が35.6%、「町内不動産の有効利用（空き家・空き地バンクなど）に関するサポート」が29.6%となっている。

<図表2-2-15 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策>



※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

※複数回答可

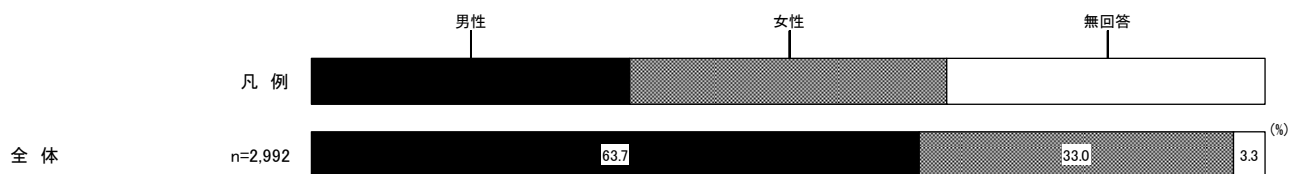
III 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 性別を教えてください。(〇は1つ)

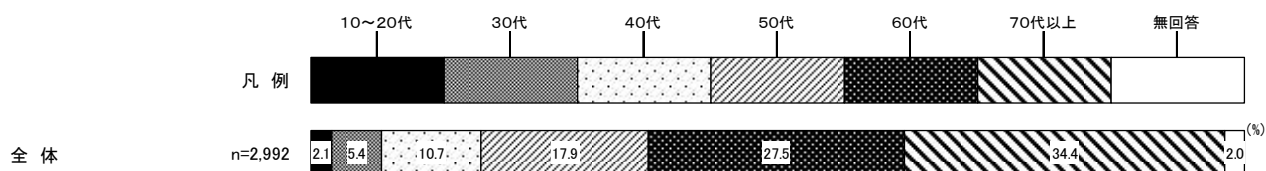
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問2 あなたの現在の年齢を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-1-2 年齢>

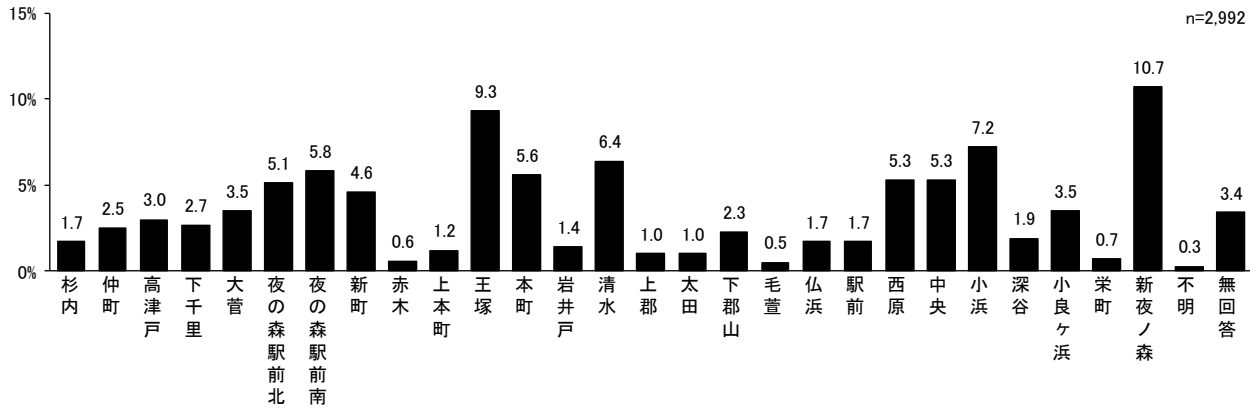


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>

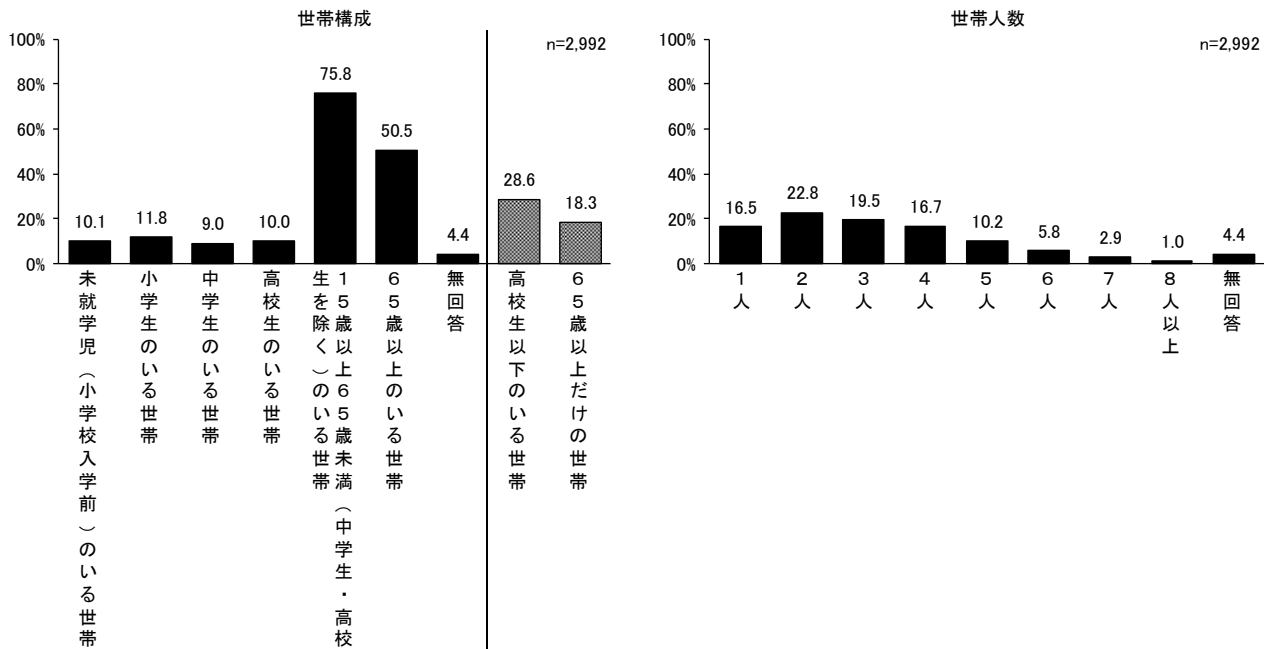


3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>

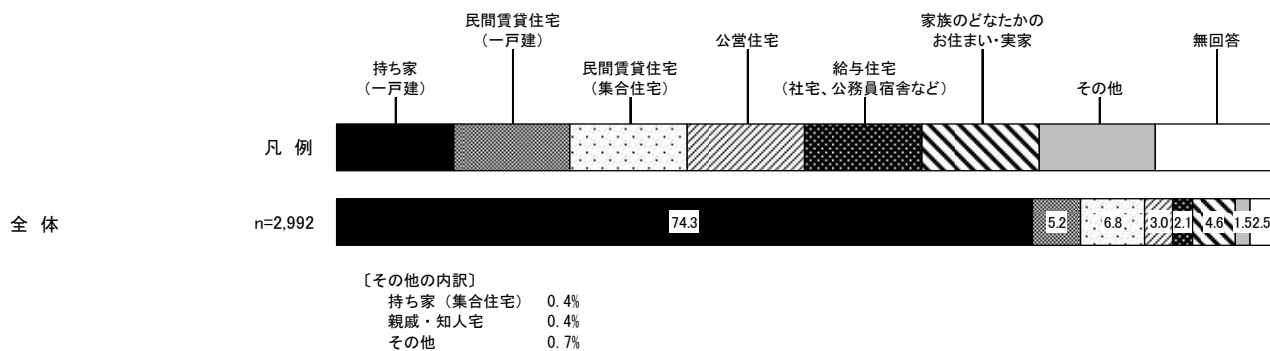


※集計結果を
基に再集計

3-2-3 震災発生当時の住まいの住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅の形態を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-3 震災発生当時の住まいの住居形態>

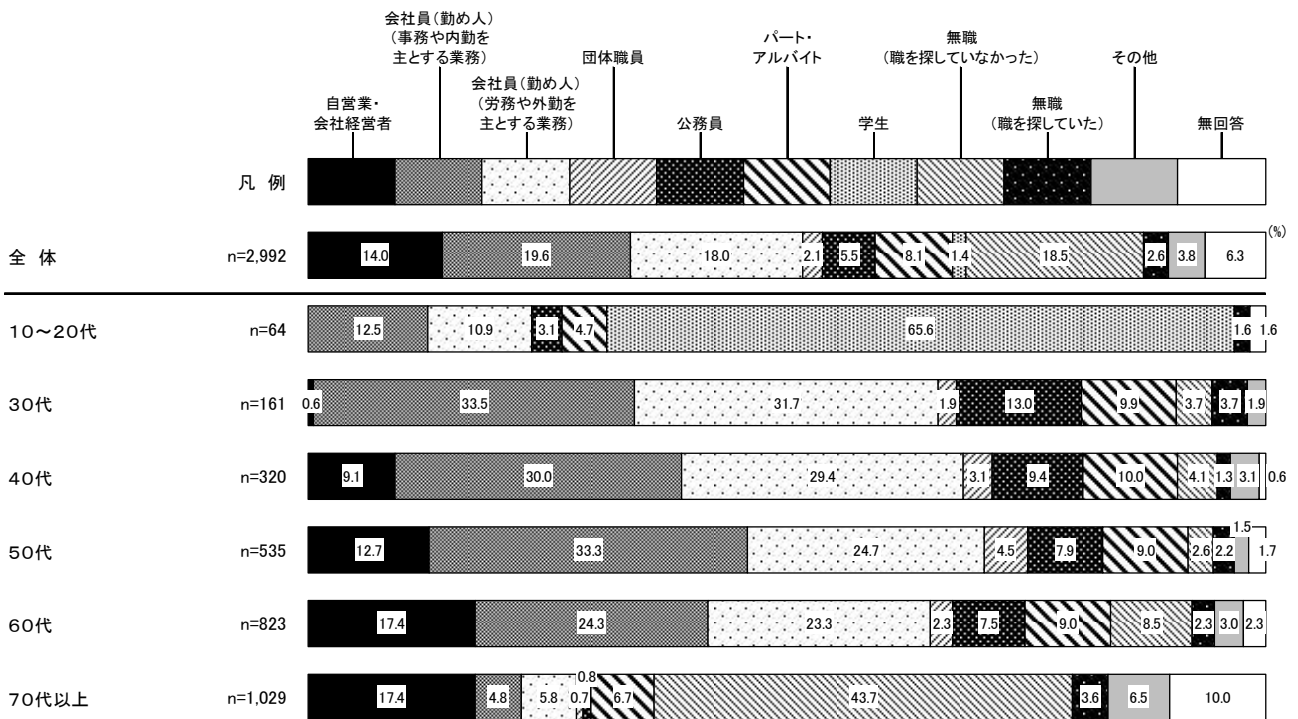


3-2-4 震災発生当時の職業（就業形態）

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

(1) 震災発生当時のあなたの職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-2-4 震災発生当時の職業（就業形態）（年齢別）>



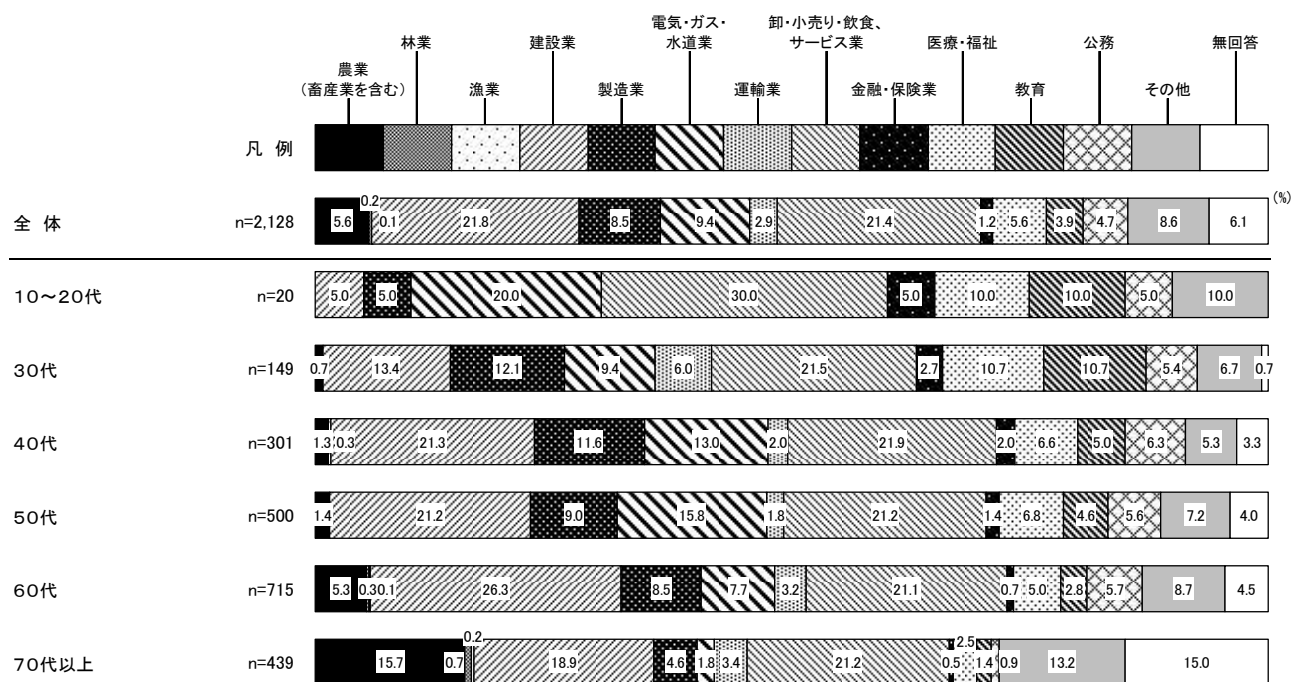
3-2-5 震災発生当時の業種

【就業していた方（問6（1）で「1」から「6」、「10」と回答した方）にうかがいます。】

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

（2）震災発生当時のあなたの業種（○は1つ）

<図表3-2-5 震災発生当時の業種（年齢別）>



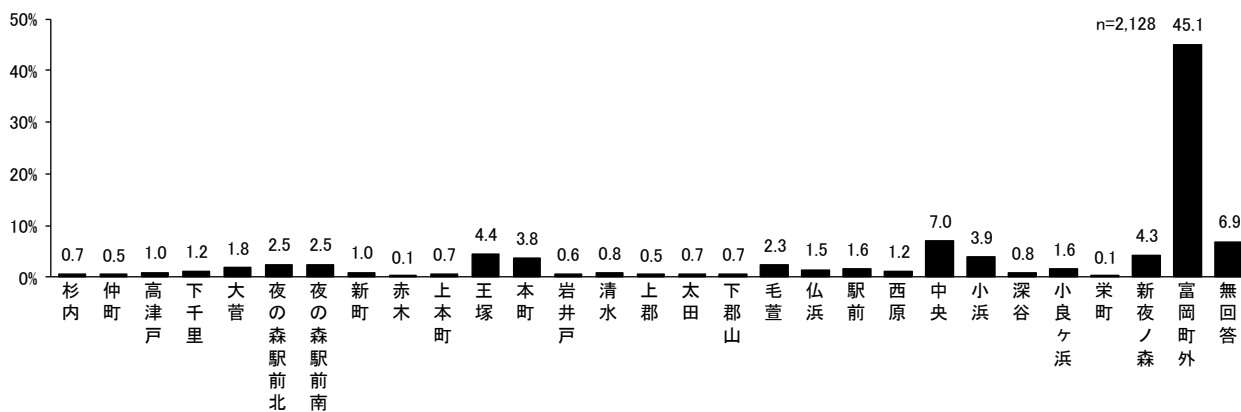
3-2-6 震災発生当時の勤務先の場所

【就業していた方（問6（1）で「1」から「6」、「10」と回答した方）にうかがいます。】

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

（3）震災発生当時の勤務先の場所（○は1つ）

<図表3-2-6 震災発生当時の勤務先の場所>

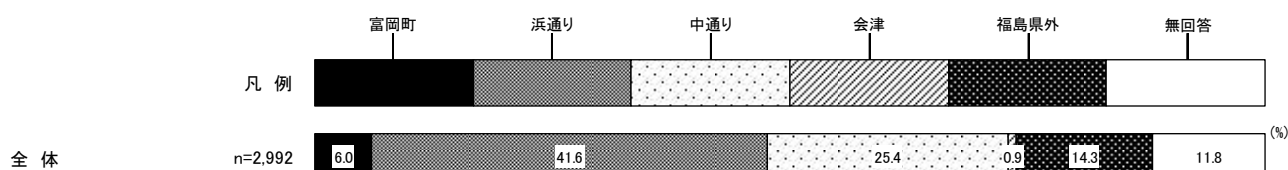


3-3 現在の状況

3-3-1 現在の居住地

問7 あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-1 現在の居住地>

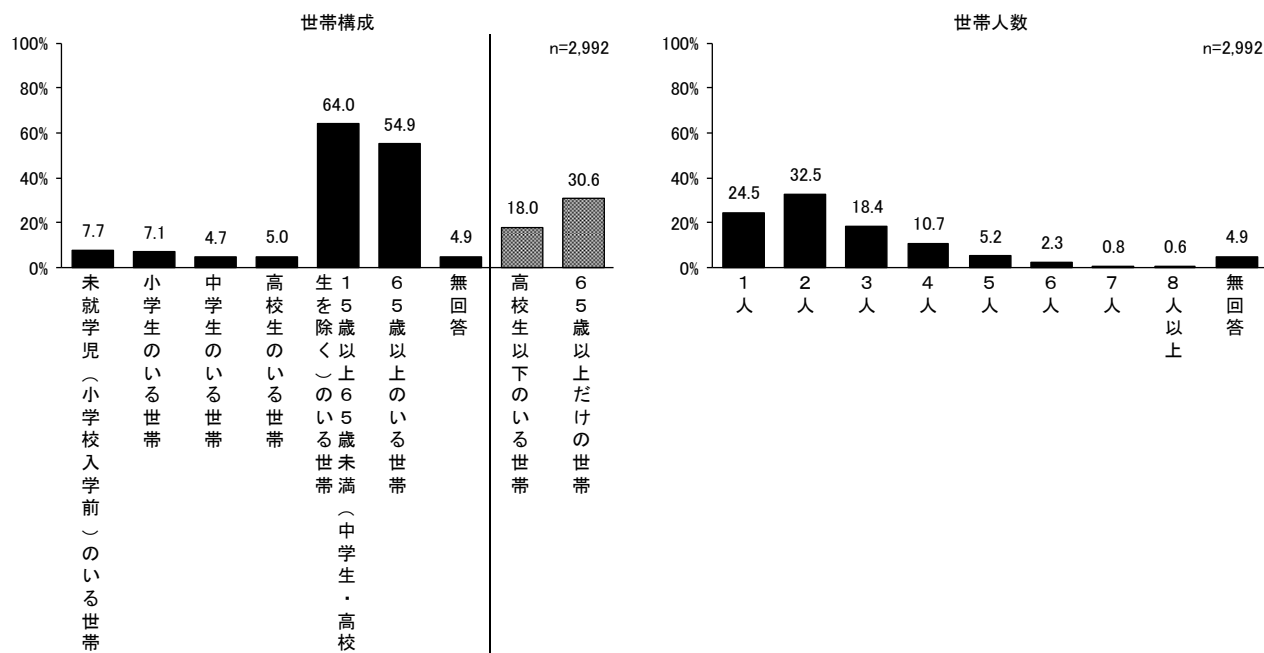


3-3-2 現在の世帯構成・人数

問8 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

<図表3-3-2 現在の世帯構成・人数>

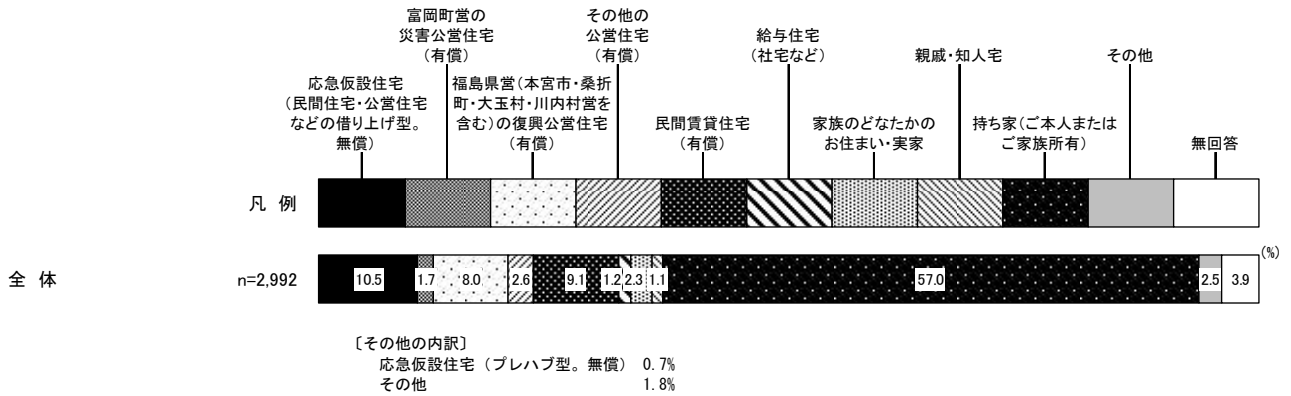


※集計結果を基に再集計

3-3-3 現在の住居形態

問9 現在お住まいになっている住宅の形態を教えてください。(〇は1つ)

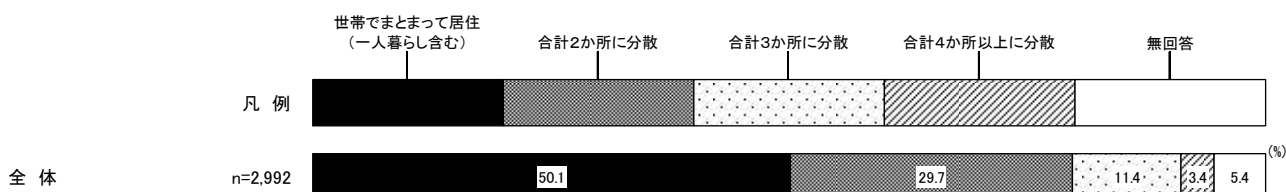
<図表 3-3-3 現在の住居形態>



3-3-4 世帯の分散状況

問10 震災発生当時ご一緒にお住まいだったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。
(○は1つ)

<図表3-3-4 世帯の分散状況>

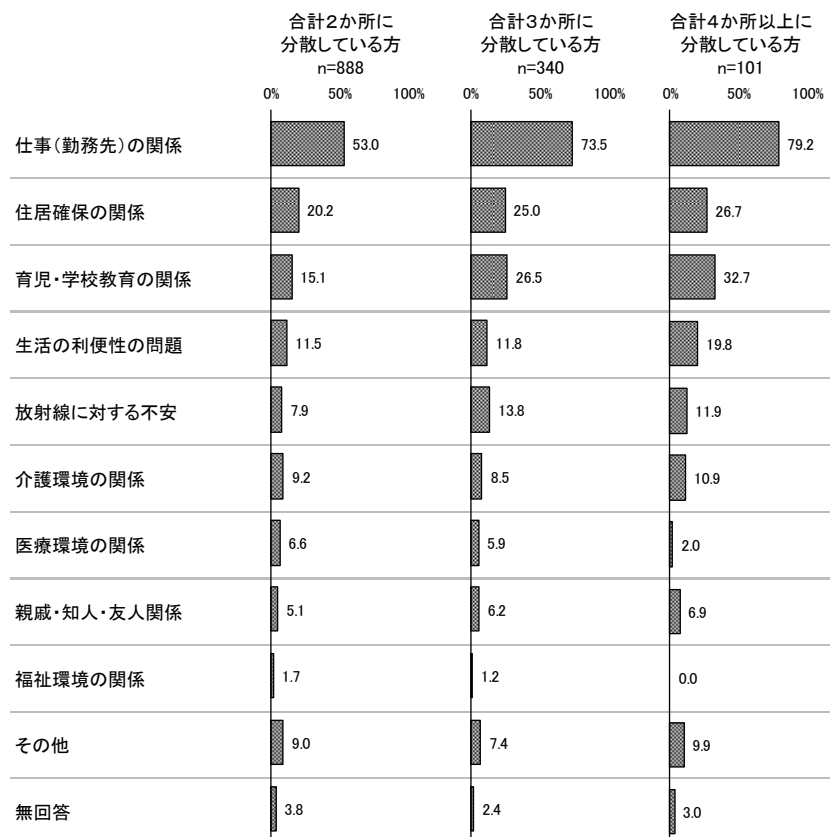


3-3-5 世帯が分散して住まざるを得なかった理由

【世帯が分散してお住まいの方（問10で「2」から「4」と回答した方）にうかがいます。】

問10-1 分散してお住まいにならざるを得なかった理由は何ですか。(○は3つまで)

<図表3-3-5 世帯が分散して住まざるを得なかった理由（分散か所別）>

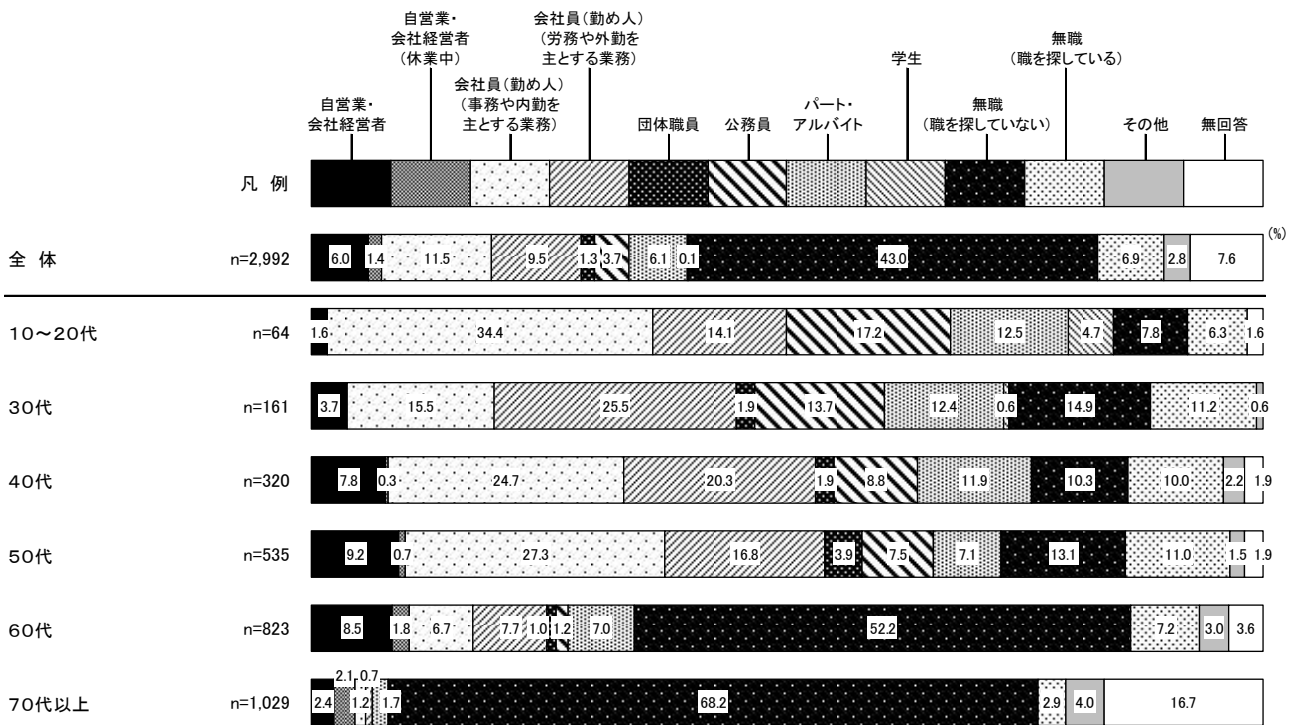


3-3-6 現在の職業（就業形態）

問 1 1 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。

(1) 現在のあなたの職業（就業形態）（○は1つ）

<図表 3-3-6 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



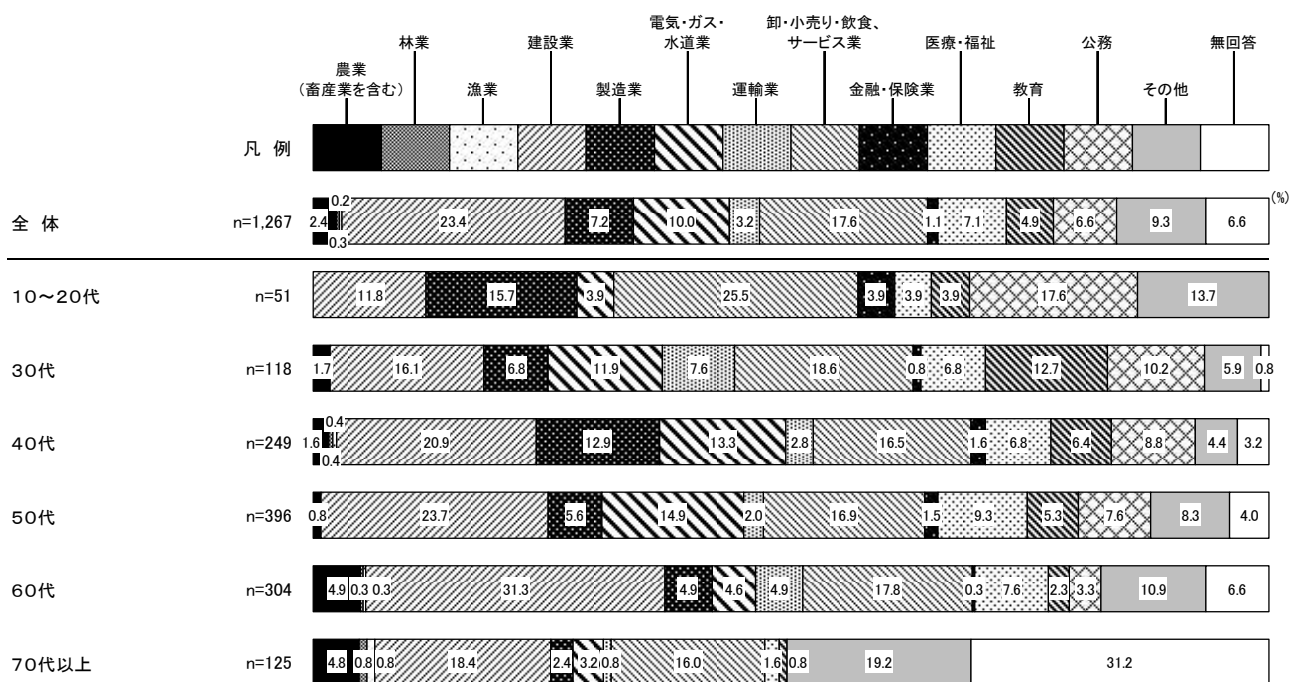
3-3-7 現在の業種

【就業している方（問11（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）にうかがいます。】

問11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。

（2）現在のあなたの業種（○は1つ）

＜図表3-3-7 現在の業種（年齢別）＞



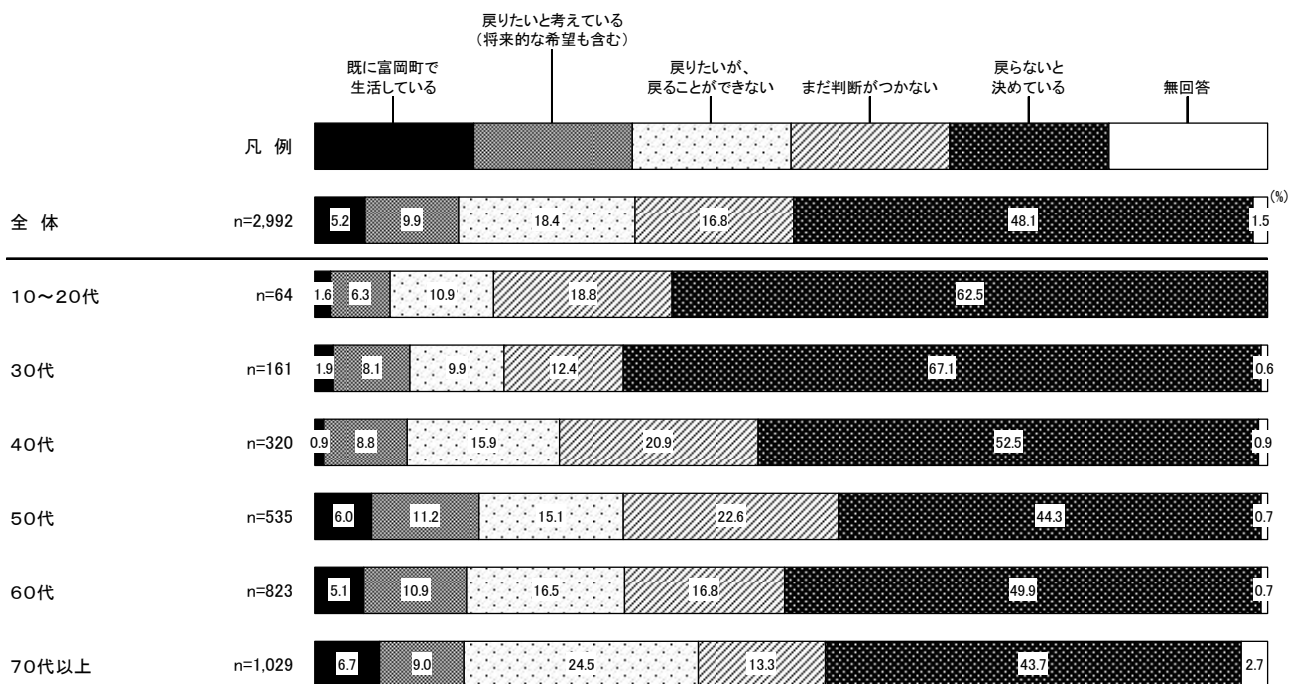
3-4 将来の意向

3-4-1 富岡町への帰還意向

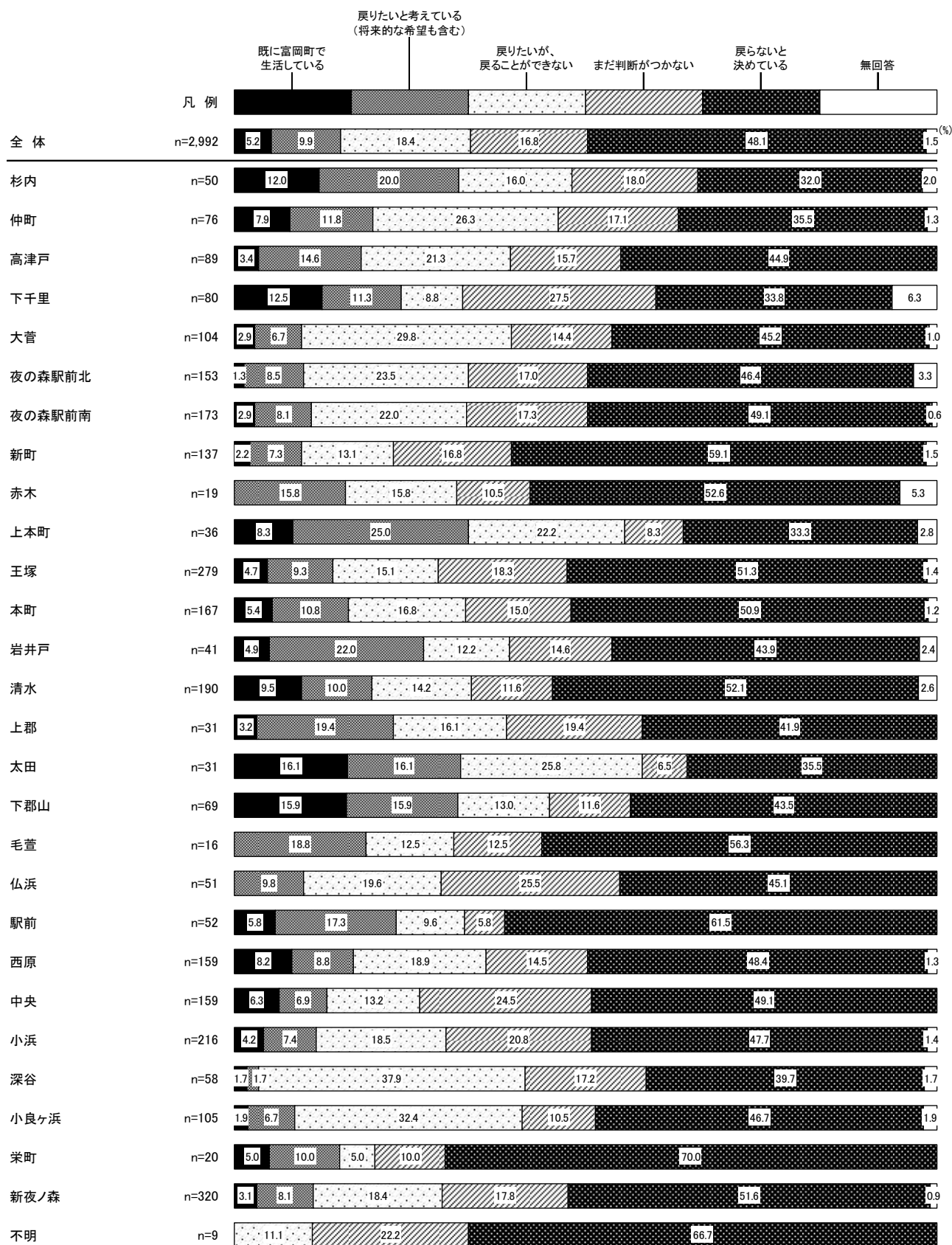
問12 富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。

1から5の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

<図表3-4-1-1 富岡町への帰還意向（年齢別）>



<図表3-4-1-2 富岡町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>

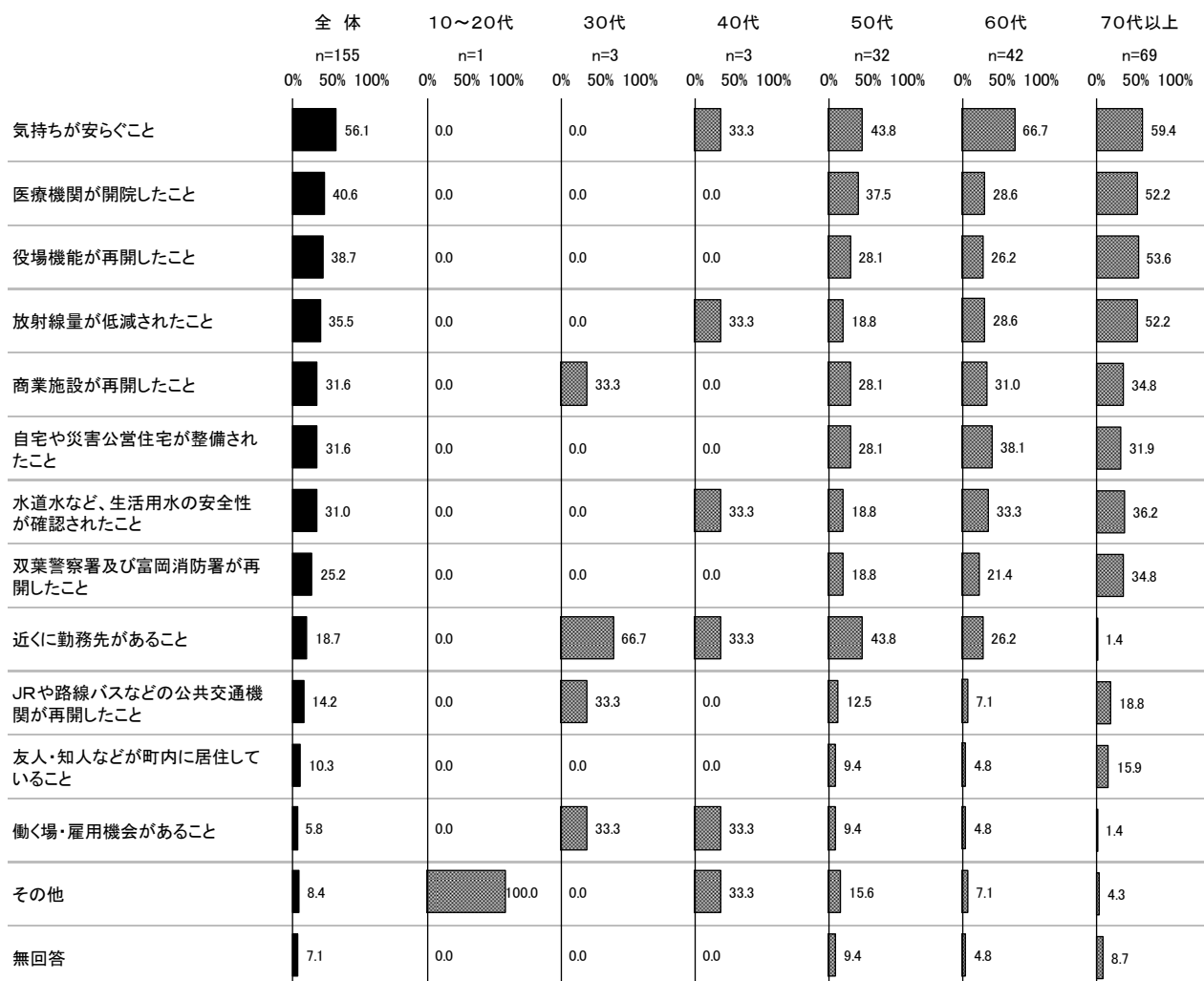


3-4-2 富岡町への帰還を決めた理由

【問12で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方にうかがいます。】

問13 町内での生活を決めた判断材料は、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

<図表3-4-2 富岡町への帰還を決めた理由(年齢別)>



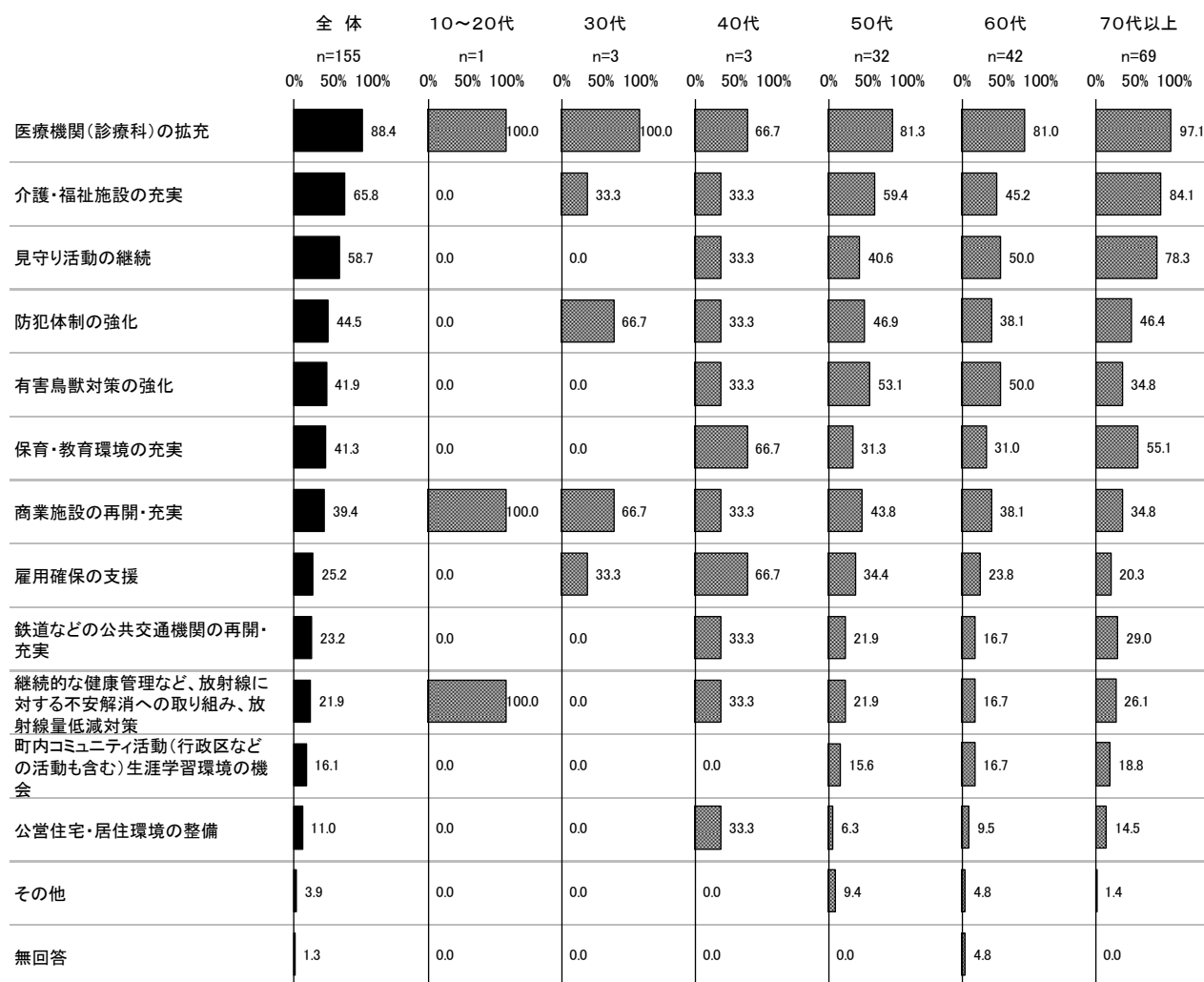
3-4-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問12で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方にうかがいます。】

問14 町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。

(〇はいくつでも)

＜図表3-4-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること（年齢別）＞

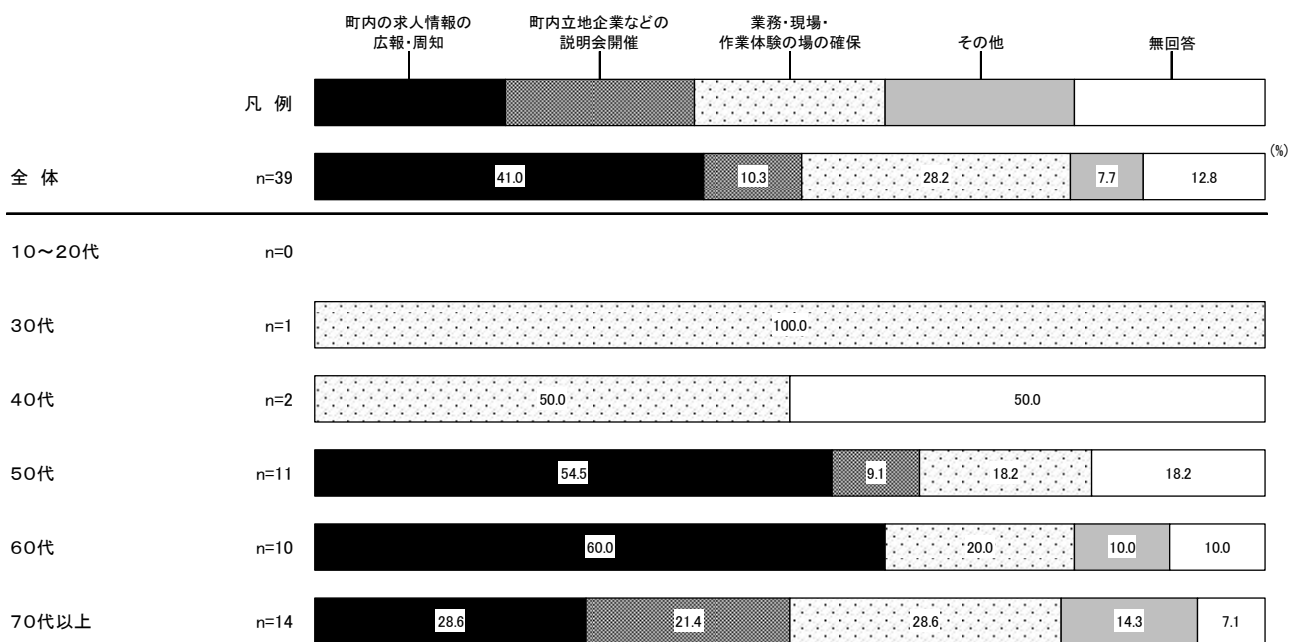


3-4-4 雇用確保の支援として希望する施策

【問14で「5. 雇用確保の支援」と回答した方にうかがいます。】

問14-1 雇用確保の支援として、どのような支援施策を希望されますか。(〇は1つ)

<図表3-4-4 雇用確保の支援として希望する施策（年齢別）>



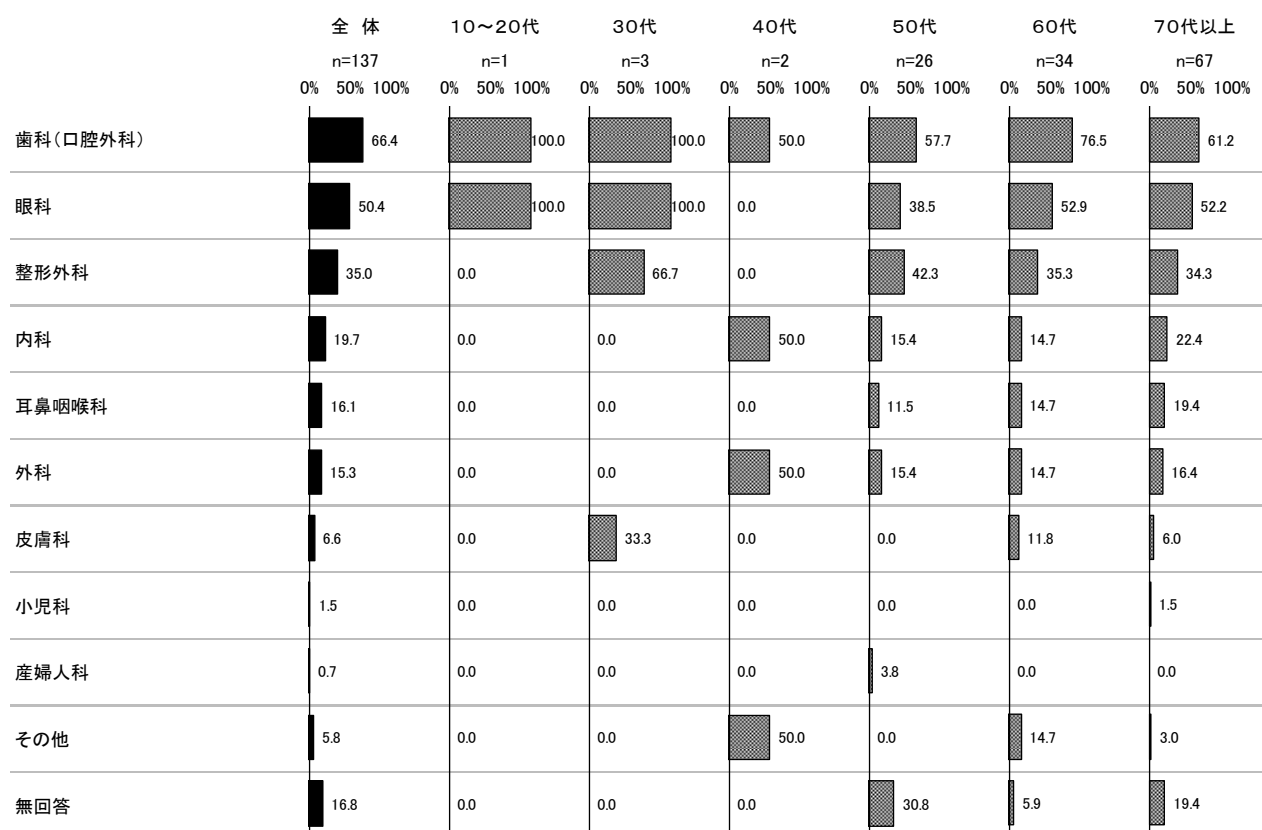
3-4-5 医療機関の拡充として立地を希望する医療機関・診療科

【問14で「1. 医療機関（診療科）の拡充」と回答した方にかがいます。】

問14-2 医療機関の拡充として、どのような医療機関・診療科の立地を希望されますか。

(特に必要だと考える診療科を3つまで○をつけてください)

<図表3-4-5 医療機関の拡充として立地を希望する医療機関・診療科（年齢別）>



Ⅲ 調査結果

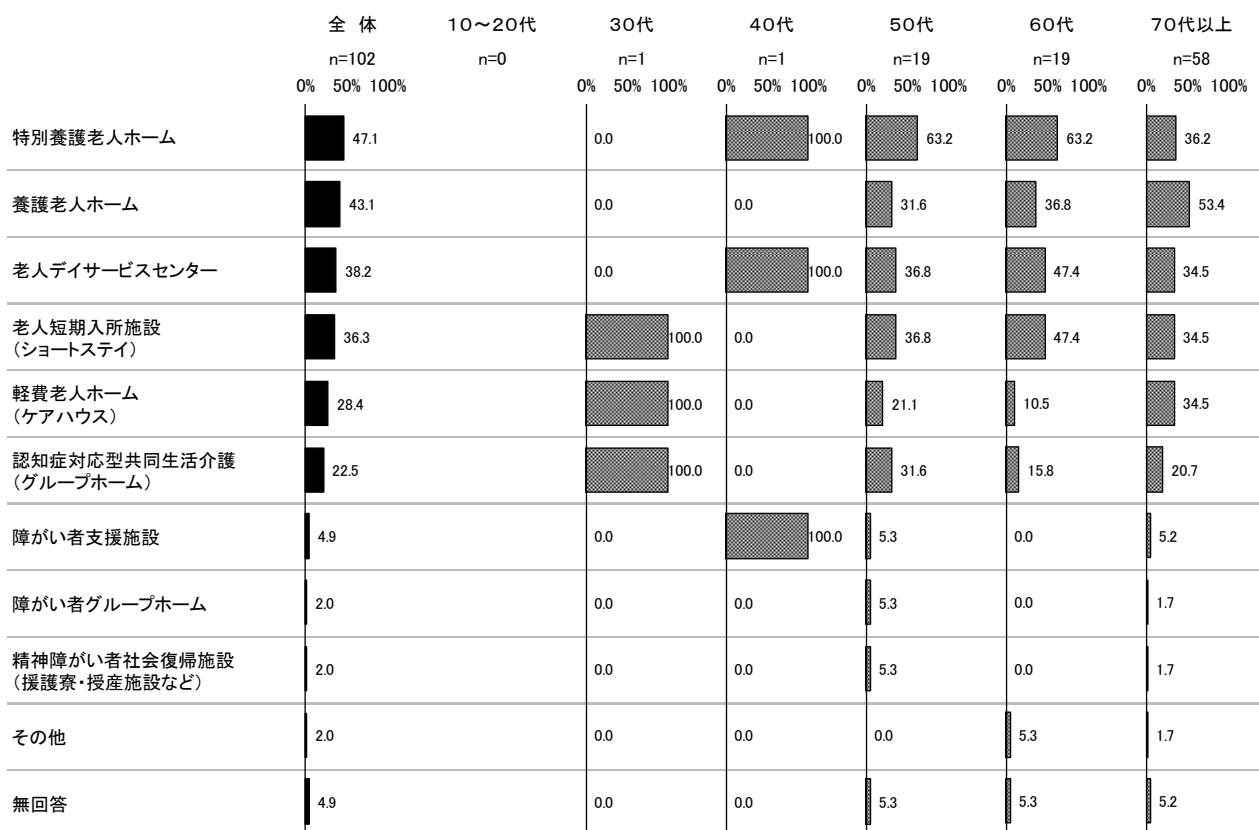
3-4-6 介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設

【問14で「2. 介護・福祉施設の充実」と回答した方にうかがいます。】

問14-3 介護・福祉施設として、どのような施設の立地・開発を希望されますか。

(〇は3つまで)

<図表3-4-6 介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設（年齢別）>

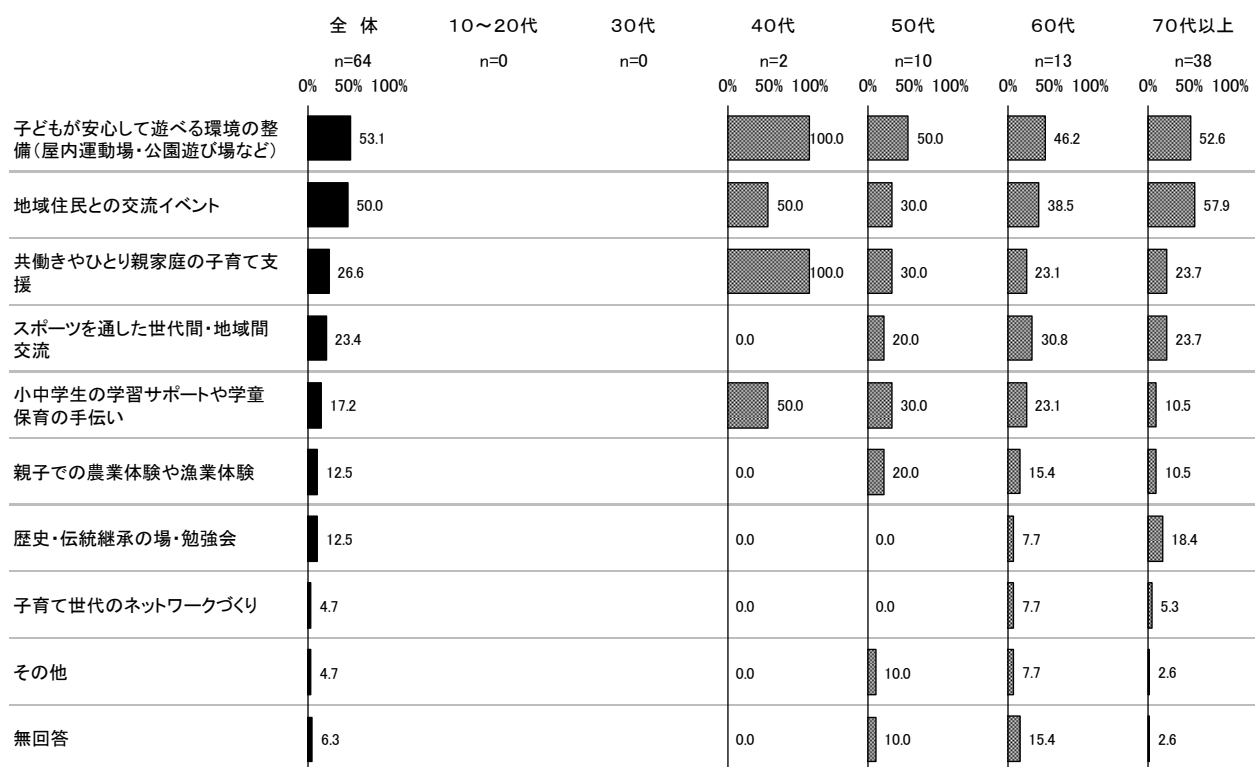


3-4-7 保育・教育環境として希望する支援や施設整備

【問14で「3. 保育・教育環境の充実」と回答した方にうかがいます。】

問14-4 保育・教育環境として、どのような支援や施設整備を希望されますか。(〇は3つまで)

<図表3-4-7 保育・教育環境として希望する支援や施設整備（年齢別）>

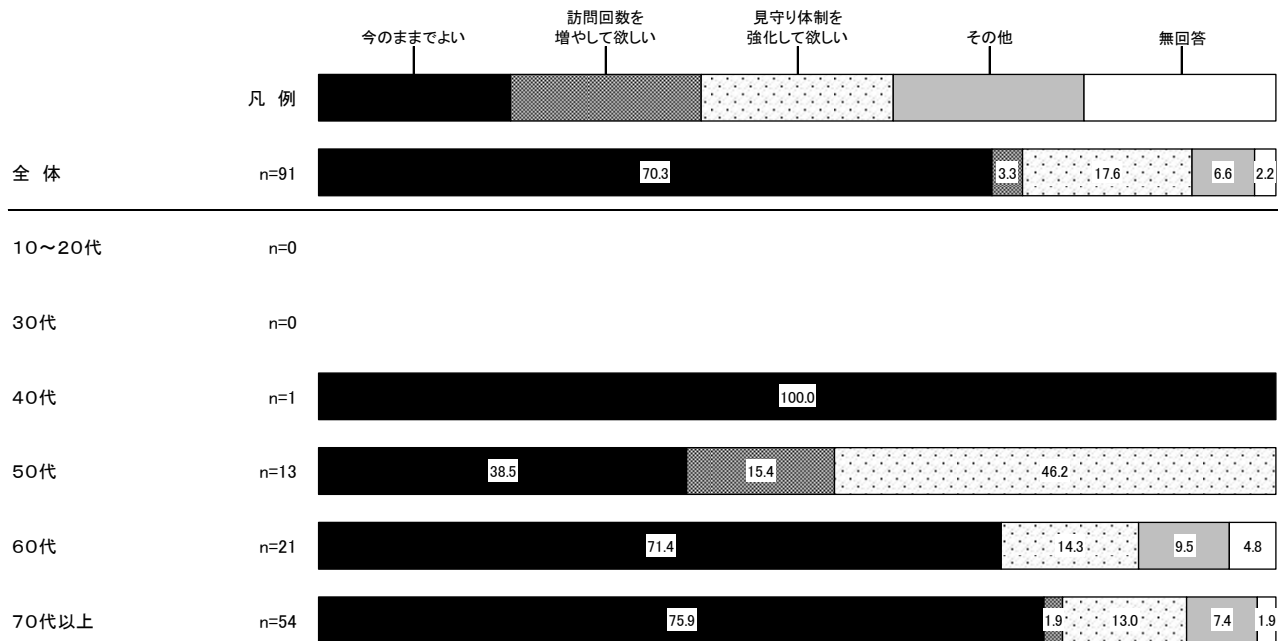


3-4-8 現在の見守り活動についての考え

【問14で「4. 見守り活動の継続」と回答した方にうかがいます。】

問14-5 現在行われている見守り活動についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)

<図表3-4-8 現在の見守り活動についての考え(年齢別)>

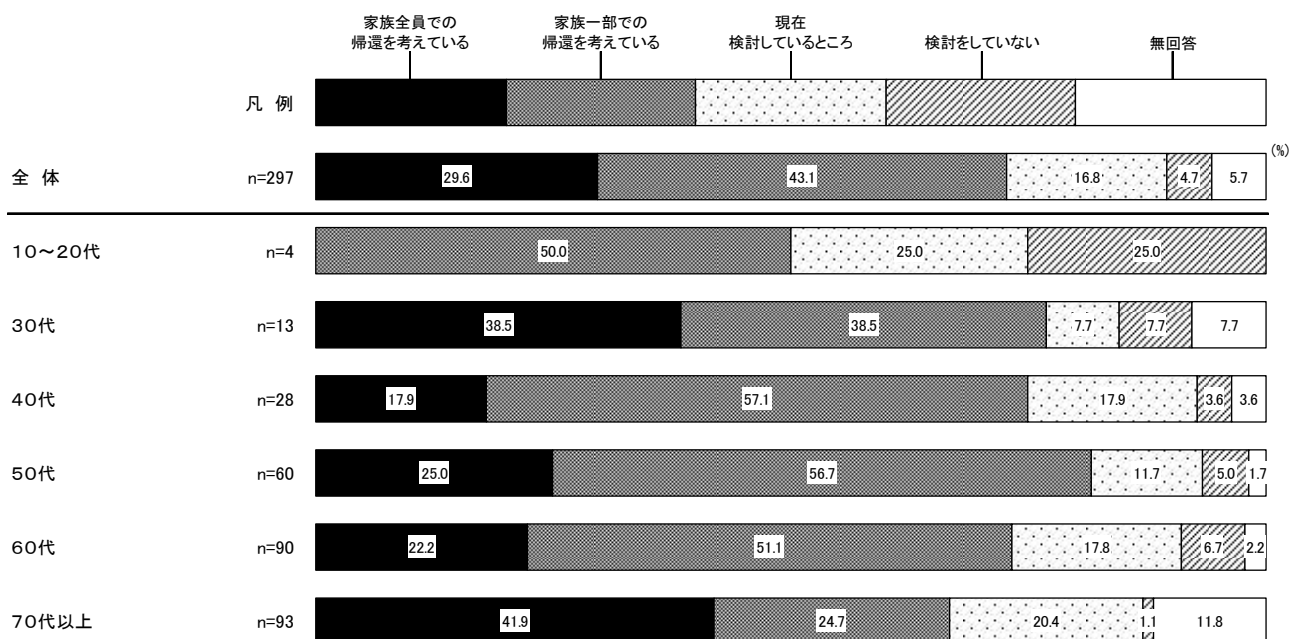


3-4-9 富岡町へ帰還する場合の家族

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問15 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（○は1つ）

<図表3-4-9 富岡町へ帰還する場合の家族（年齢別）>

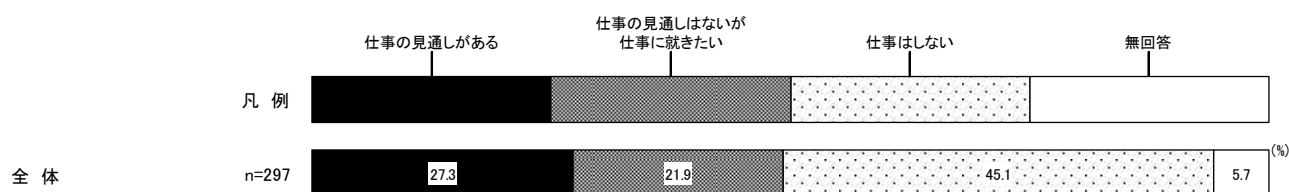


3-4-10 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問16 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。（○は1つ）

<図表3-4-10 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し>



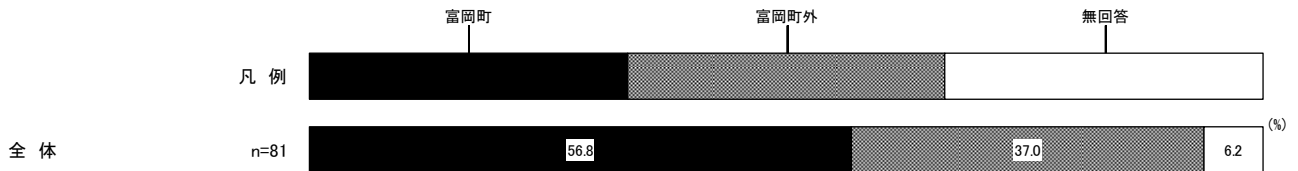
Ⅲ 調査結果

3-4-1.1 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所

【問16で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方にうかがいます。】

問16-1 見通しがたっている仕事の場所（勤務先）はどこですか。（〇は1つ）

<図表3-4-1.1 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所>

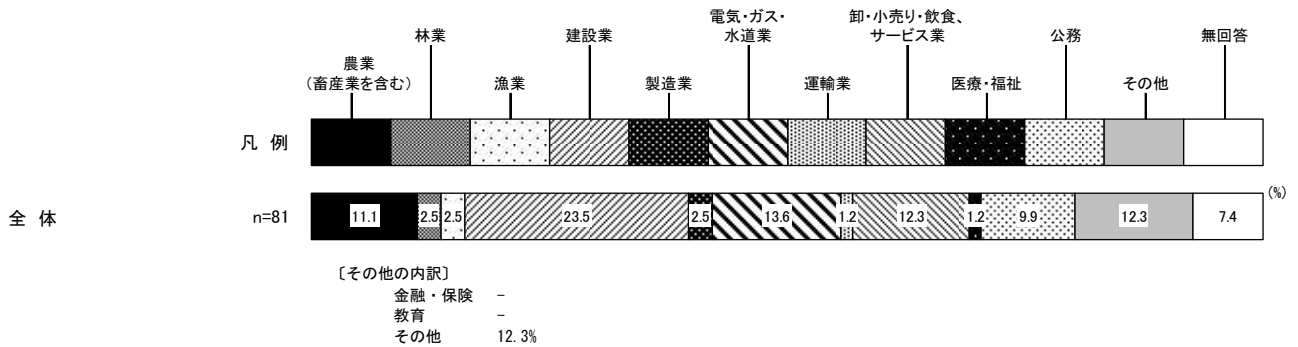


3-4-1.2 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種

【問16で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方にうかがいます。】

問16-2 見通しがたっている仕事の業種を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-1.2 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種>

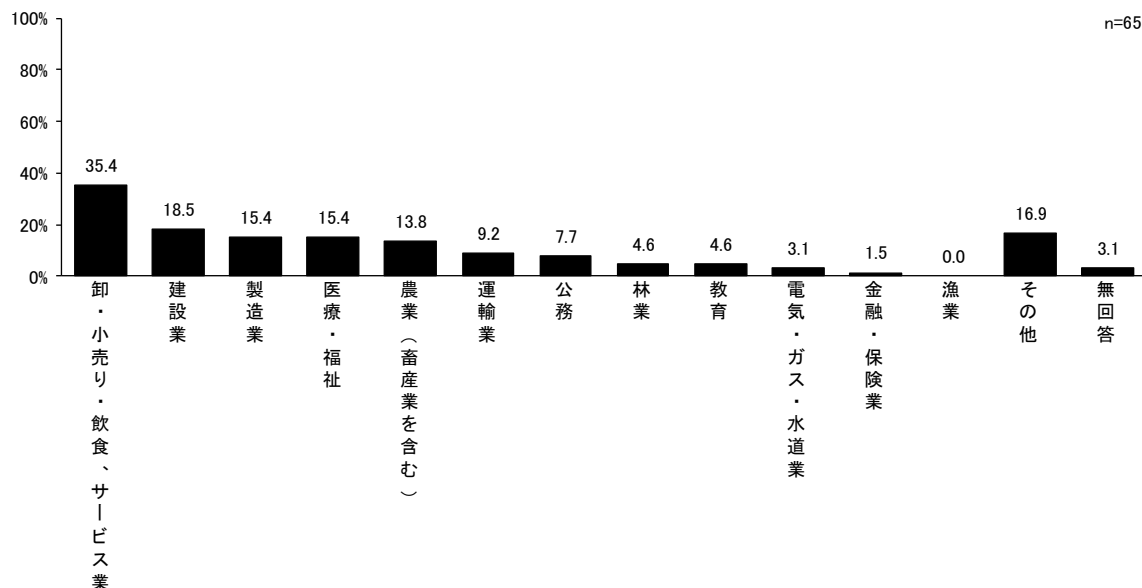


3-4-13 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種

【問16で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方にうかがいます。】

問17 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(〇はいくつでも)

<図表3-4-13 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種>

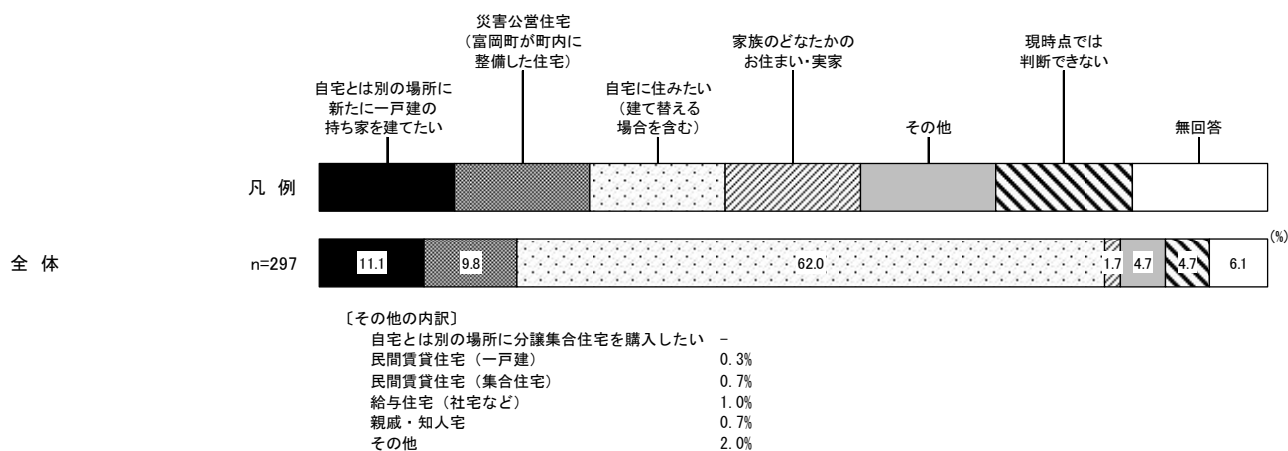


3-4-14 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問12で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。】

問18 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。(〇は1つ)

<図表3-4-14 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態>

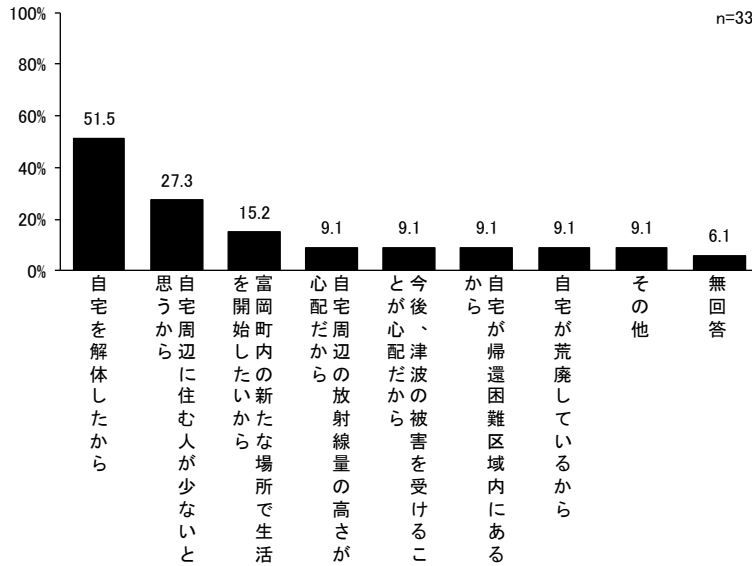


3-4-15 富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由

【問18で「1. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」「2. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい」と回答した方にうかがいます。】

問18-1 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表3-4-15 富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由>

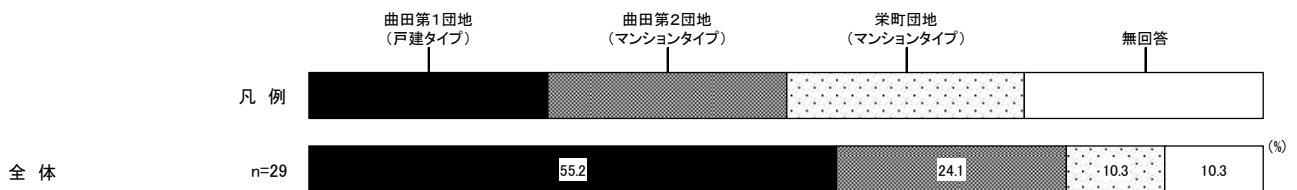


3-4-16 富岡町が整備した災害公営住宅のうち希望する団地

【問18で「3. 災害公営住宅（富岡町が町内に整備した住宅）」と回答した方にうかがいます。】

問18-2 富岡町が整備した災害公営住宅のうち、希望する団地は1～3のどこか教えてください。(最も希望するもの1つに〇)

<図表3-4-16 富岡町が整備した災害公営住宅のうち希望する団地>

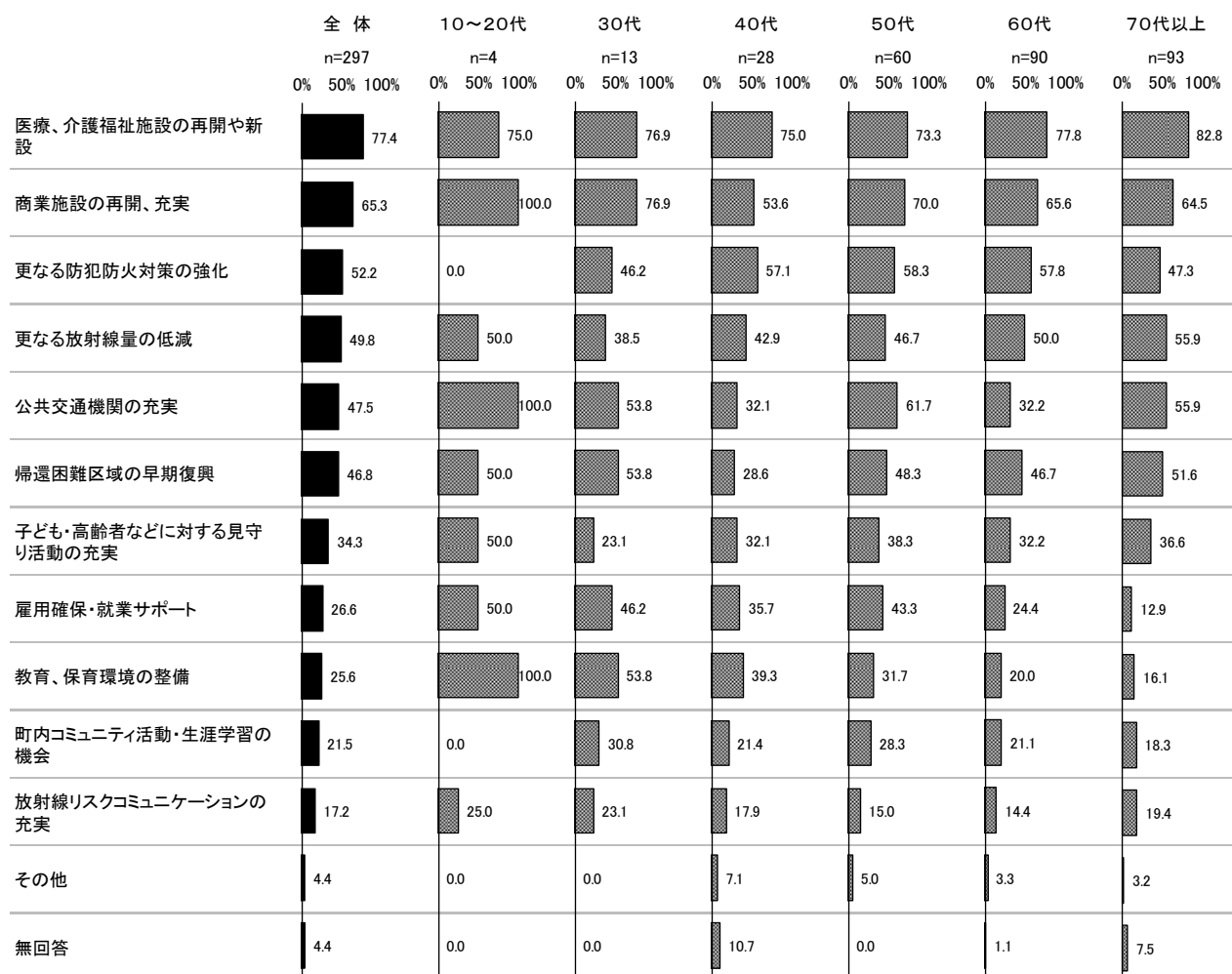


3-4-17 富岡町へ帰還する場合に必要な施策

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問19 富岡町に戻る場合に、どのような施策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-17 富岡町へ帰還する場合に必要な施策（年齢別）>



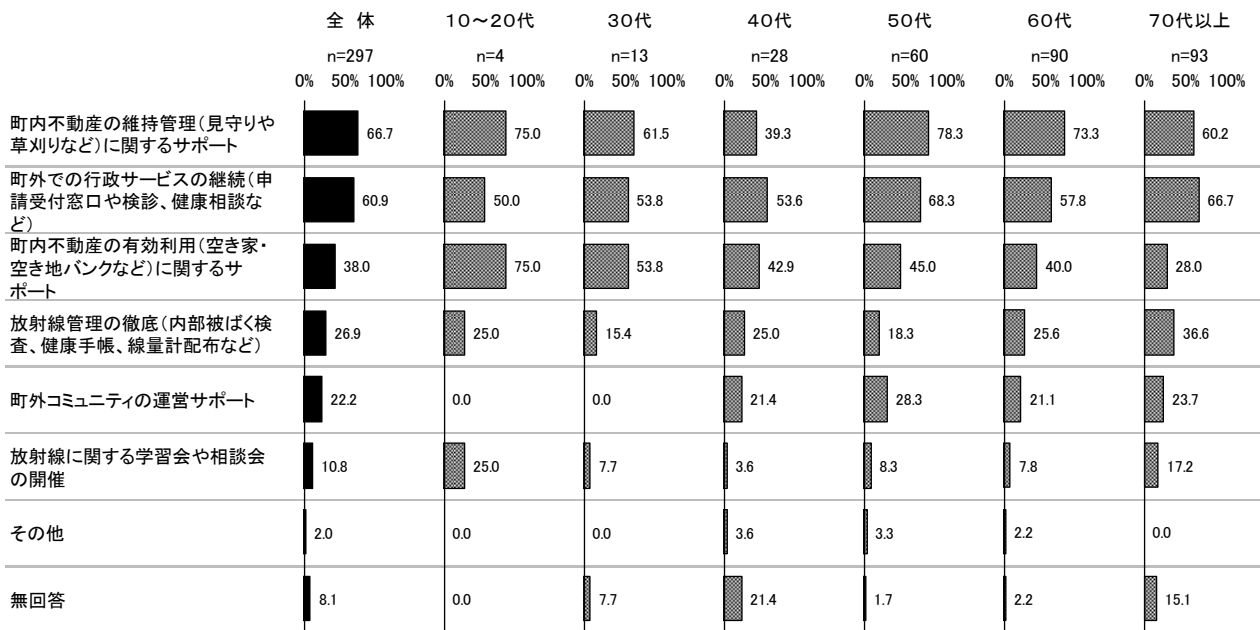
Ⅲ 調査結果

3-4-18 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問20 富岡町に戻るまで（避難生活を継続している期間）に、どのような施策が必要と考えますか。
（○はいくつでも）

<図表3-4-18 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策（年齢別）>

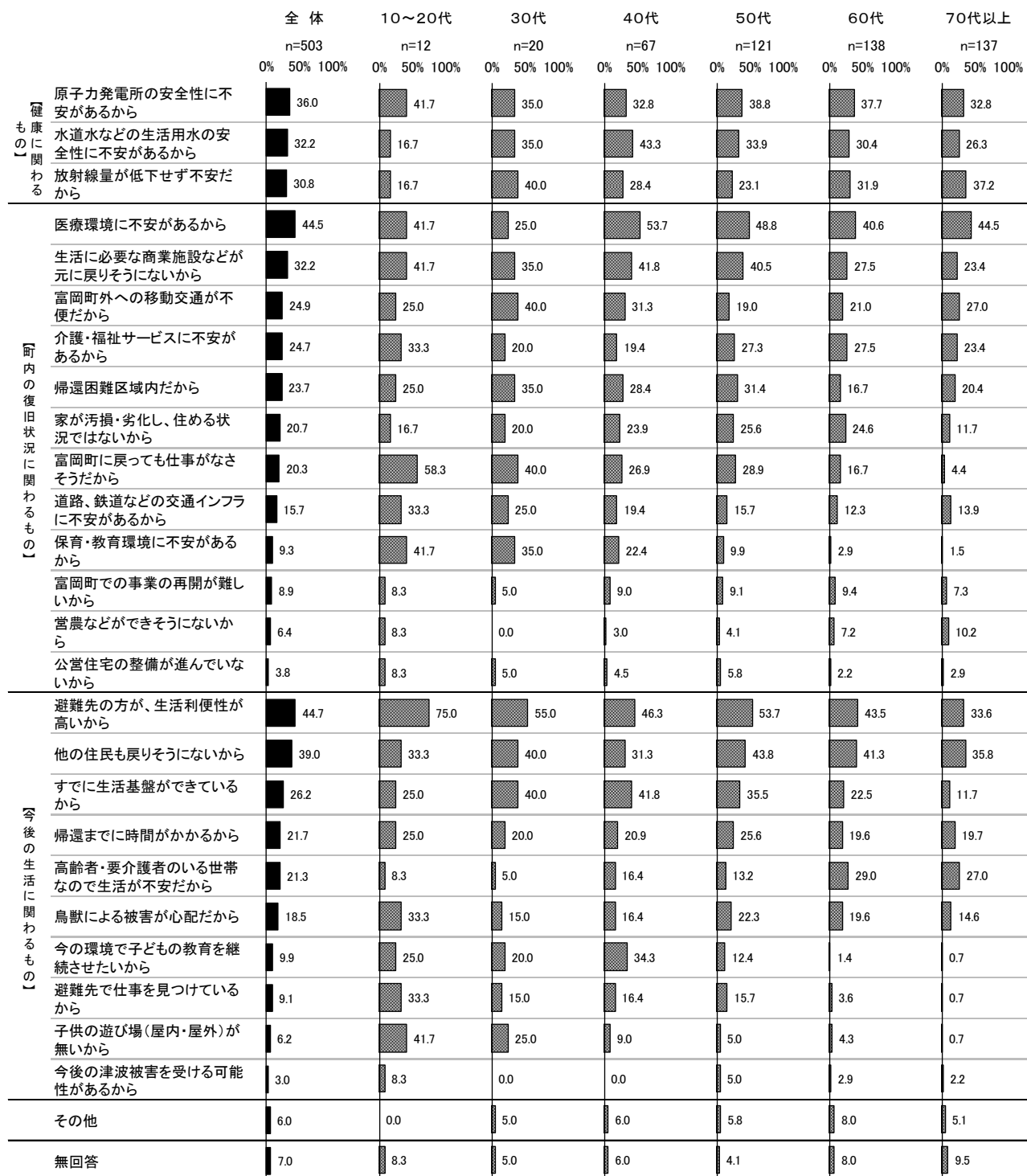


3-4-19 富岡町への帰還の判断がつかない理由

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問21 富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-19 富岡町への帰還の判断がつかない理由(年齢別)>



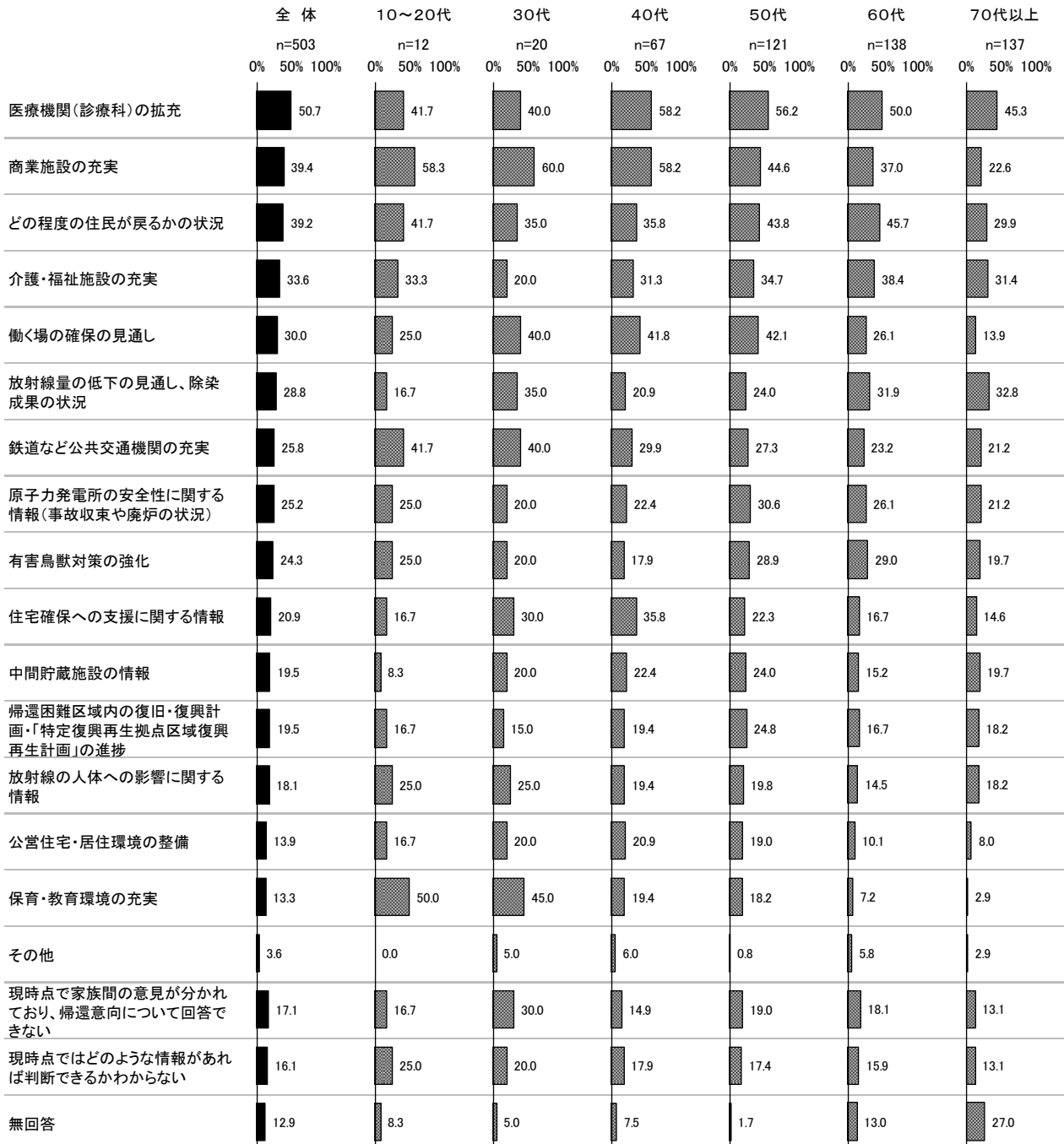
Ⅲ 調査結果

3-4-20 富岡町への帰還を判断するために必要なこと

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問22 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-20 富岡町への帰還を判断するために必要なこと(年齢別)>

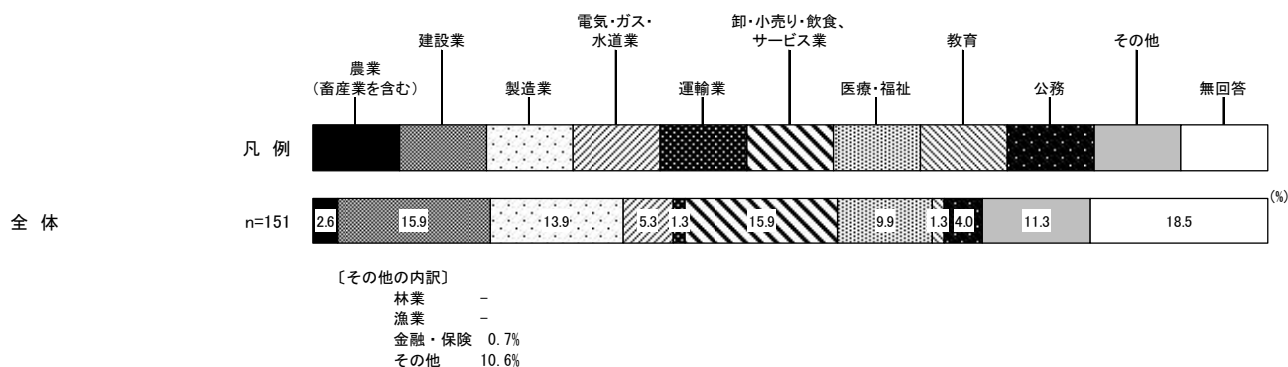


3-4-2-1 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種

【問22で「1. 働く場の確保の見通し」と回答した方にうかがいます。】

問22-1 どのような業種の仕事を希望しますか。(〇は1つ)

<図表3-4-2-1 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種>



3-4-2-2 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所

【問22で「1. 働く場の確保の見通し」と回答した方にうかがいます。】

問22-2 仕事の場所(勤務地)はどこを希望しますか。(〇は1つ)

<図表3-4-2-2 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所>



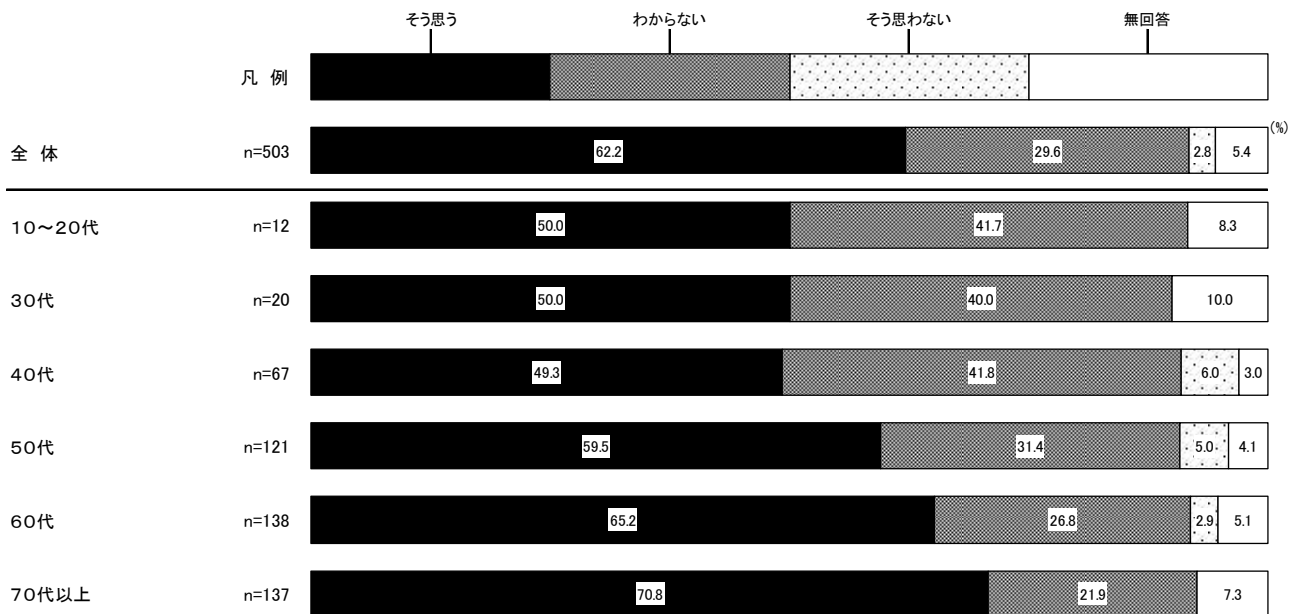
Ⅲ 調査結果

3-4-23 富岡町との「つながり」を保ちたいか
〔まだ帰還の判断がつかない方〕

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問23 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

<図表3-4-23 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔まだ帰還の判断がつかない方〕(年齢別)>



3-4-24 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔まだ帰還の判断がつかない方〕

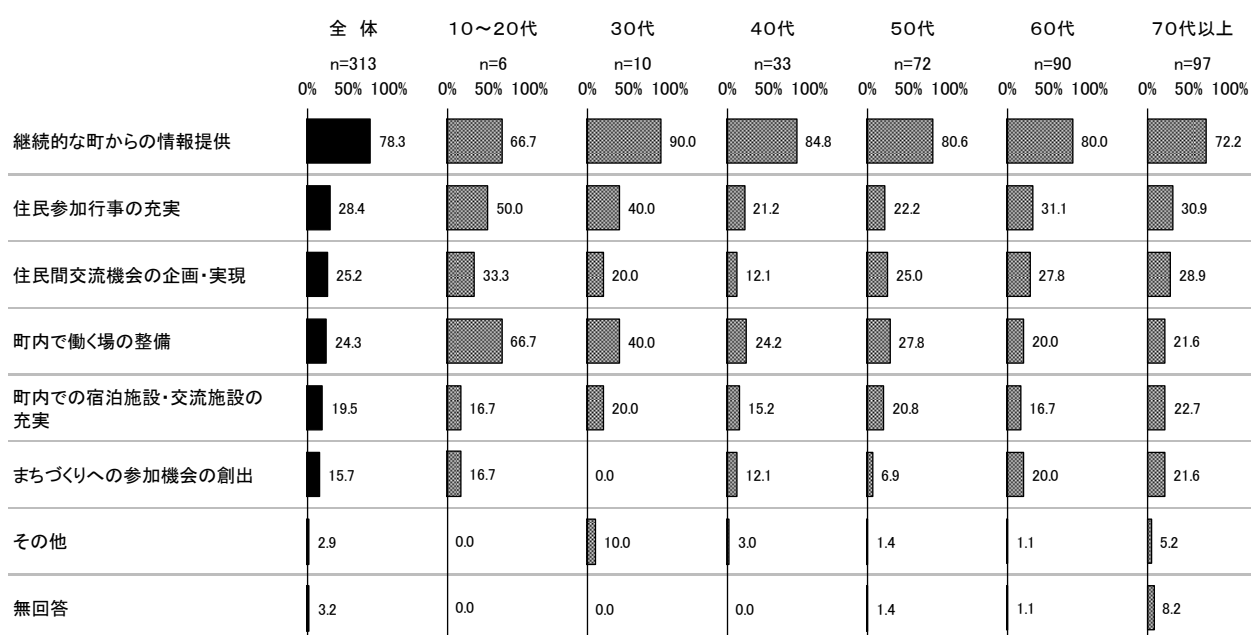
【問23で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

問23-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。

(〇はいくつでも)

＜図表3-4-24 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策

〔まだ帰還の判断がつかない方〕（年齢別）＞



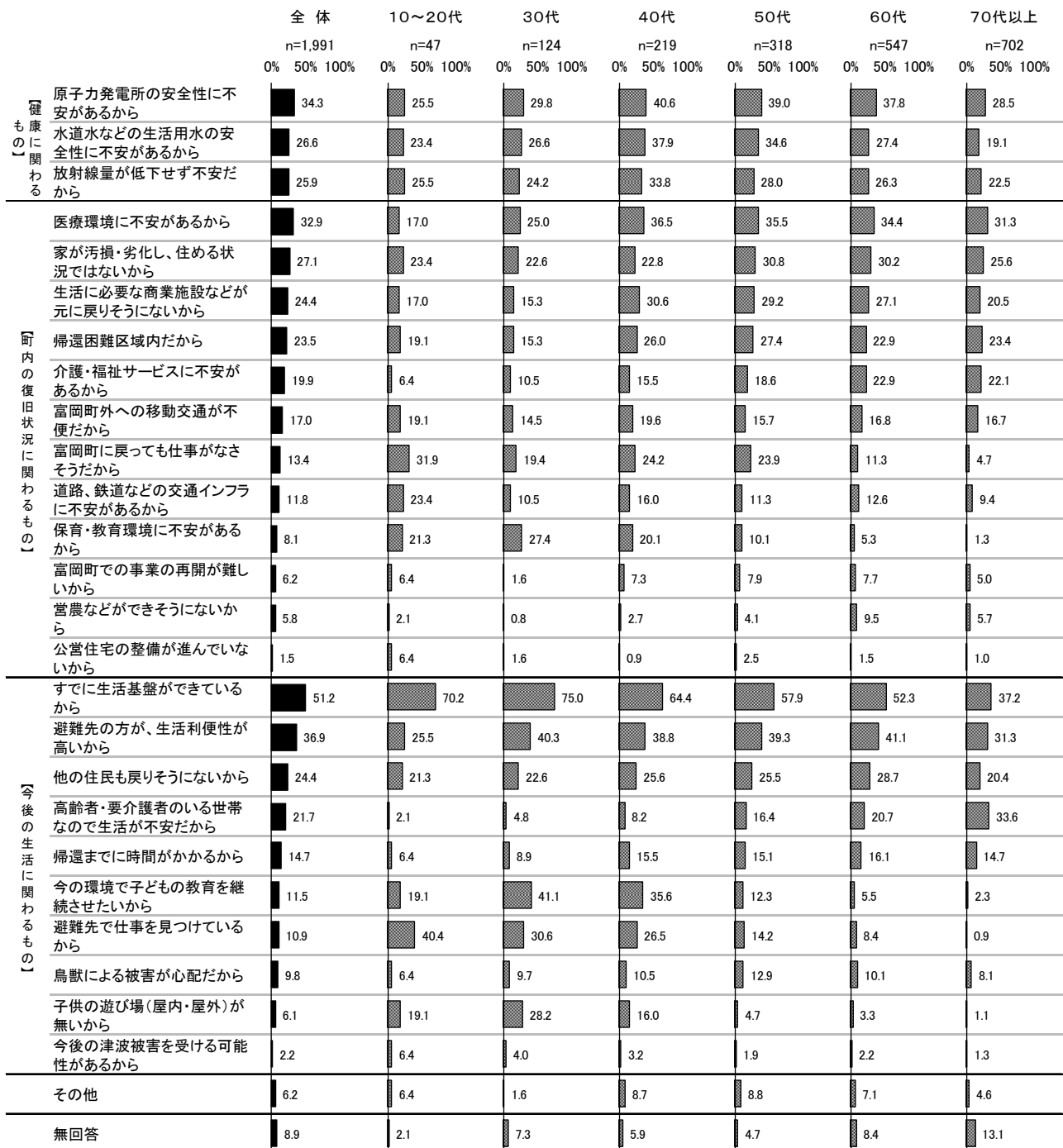
Ⅲ 調査結果

3-4-25 富岡町に帰還できない・帰還しない理由

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問24 富岡町への帰還について、「戻ることができない」、または、「戻らない」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-25 富岡町に帰還できない・帰還しない理由(年齢別)>

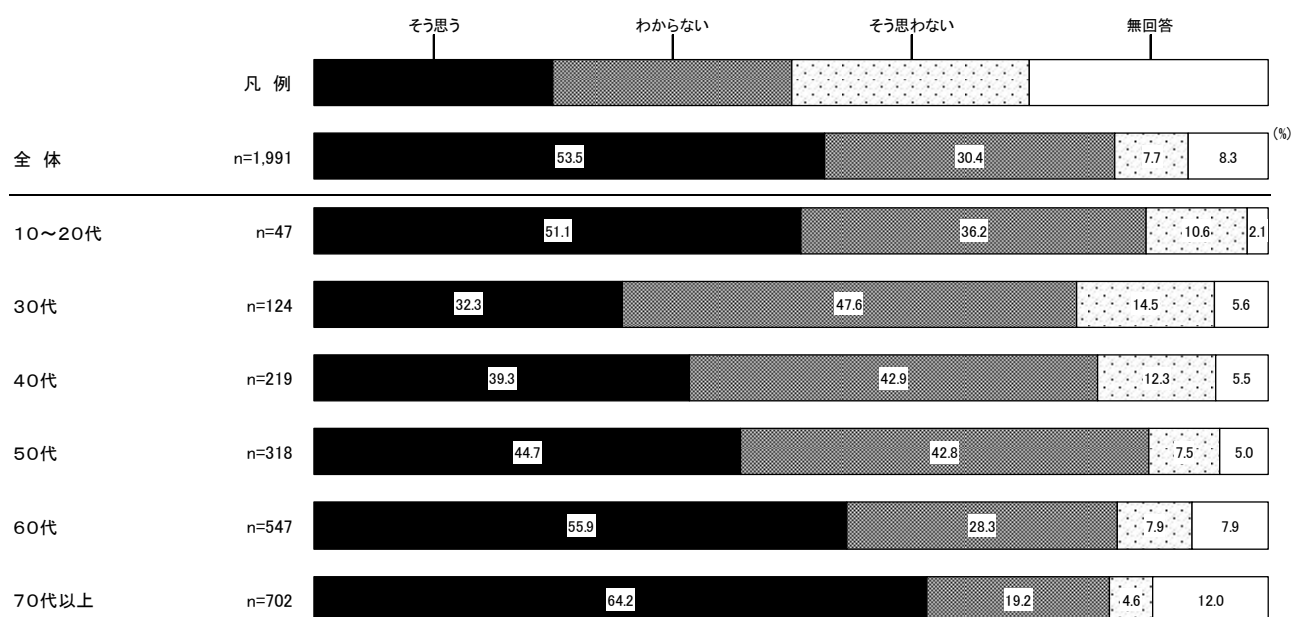


3-4-26 富岡町との「つながり」を保ちたいか 〔帰還できない方、帰還しない方〕

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」「5. 戻らないと決めている」と回答した方に
うかがいます。】

問25 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

<図表3-4-26 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔帰還できない、帰還しない方〕(年齢別)>

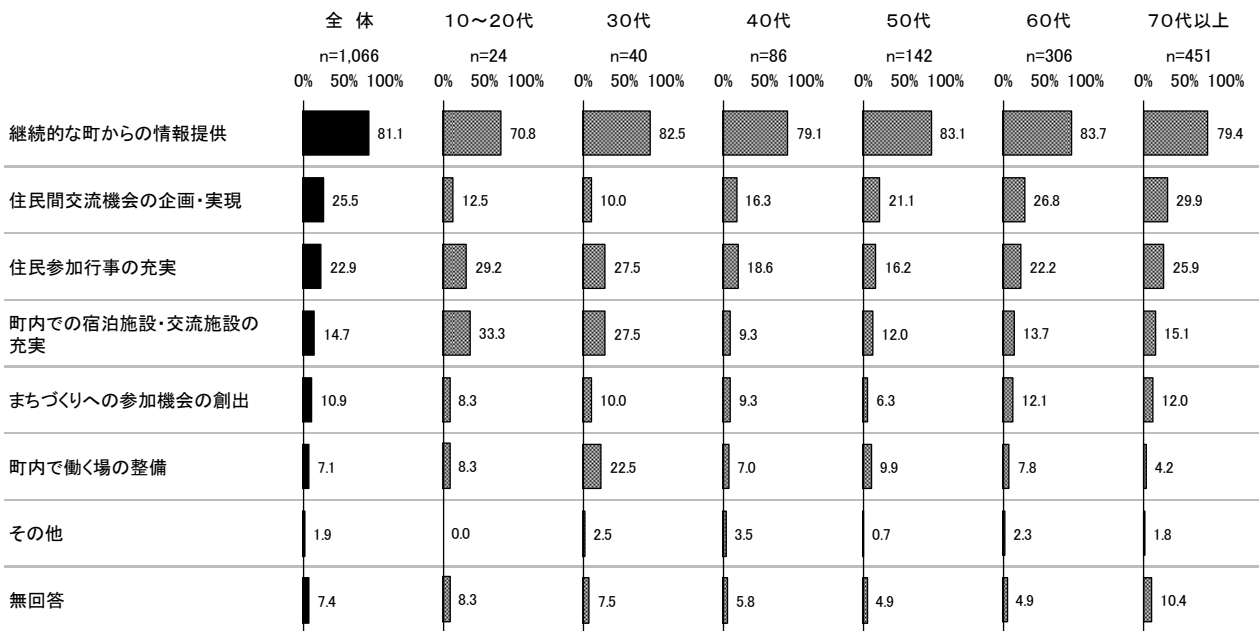


3-4-27 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔帰還できない方、帰還しない方〕

【問25で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

問25-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。
(〇はいくつでも)

＜図表3-4-27 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策
〔帰還できない、帰還しない方〕（年齢別）＞

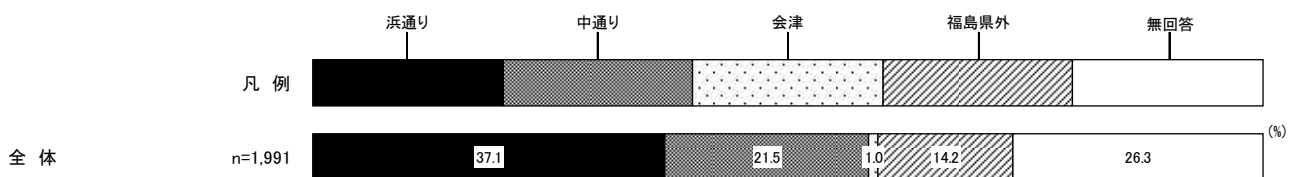


3-4-28 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問26 帰還しない場合に、今後、居住を希望する（既に居住している場合を含む）地域はどちらですか。(〇は1つ)

＜図表3-4-28 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域＞

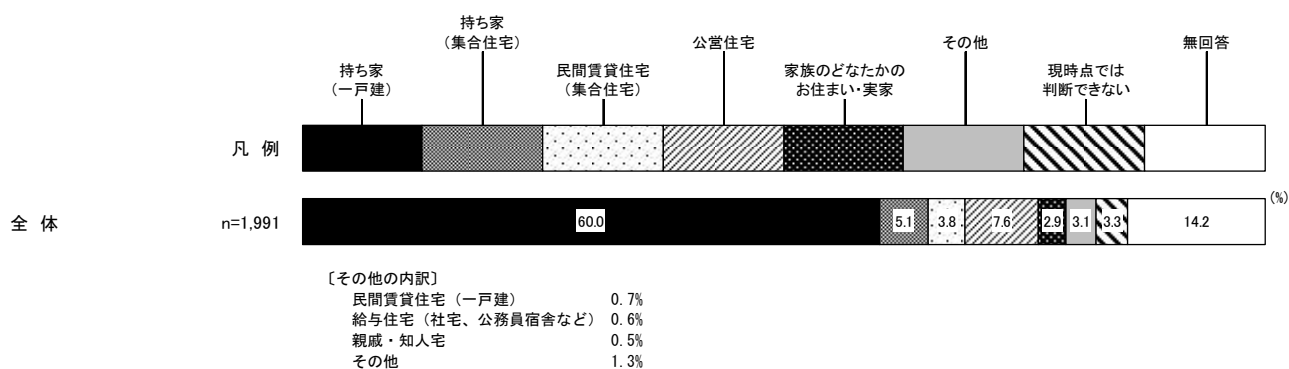


3-4-29 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問27 今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（○は1つ）

<図表3-4-29 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



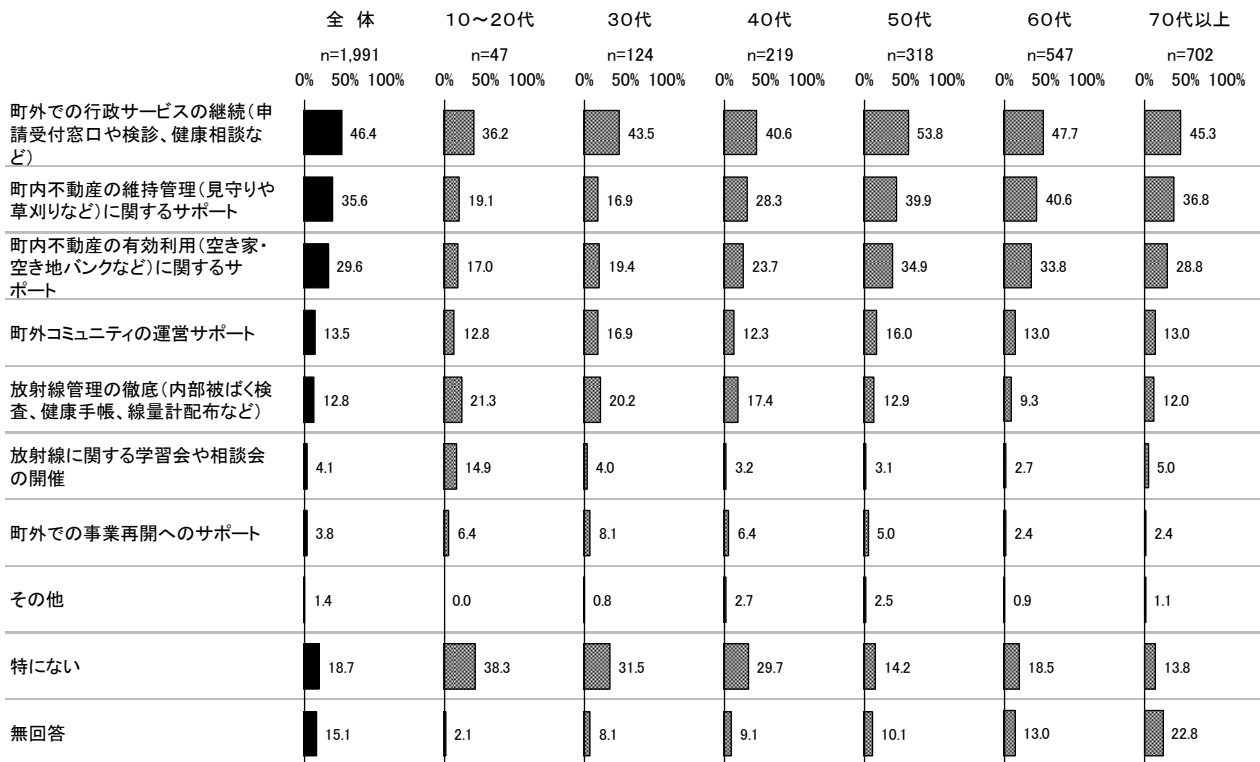
Ⅲ 調査結果

3-4-30 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問28 町外で生活されている方に対するサポートとして、どのような施策が必要と考えますか。
(○はいくつでも)

<図表3-4-30 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策（年齢別）>

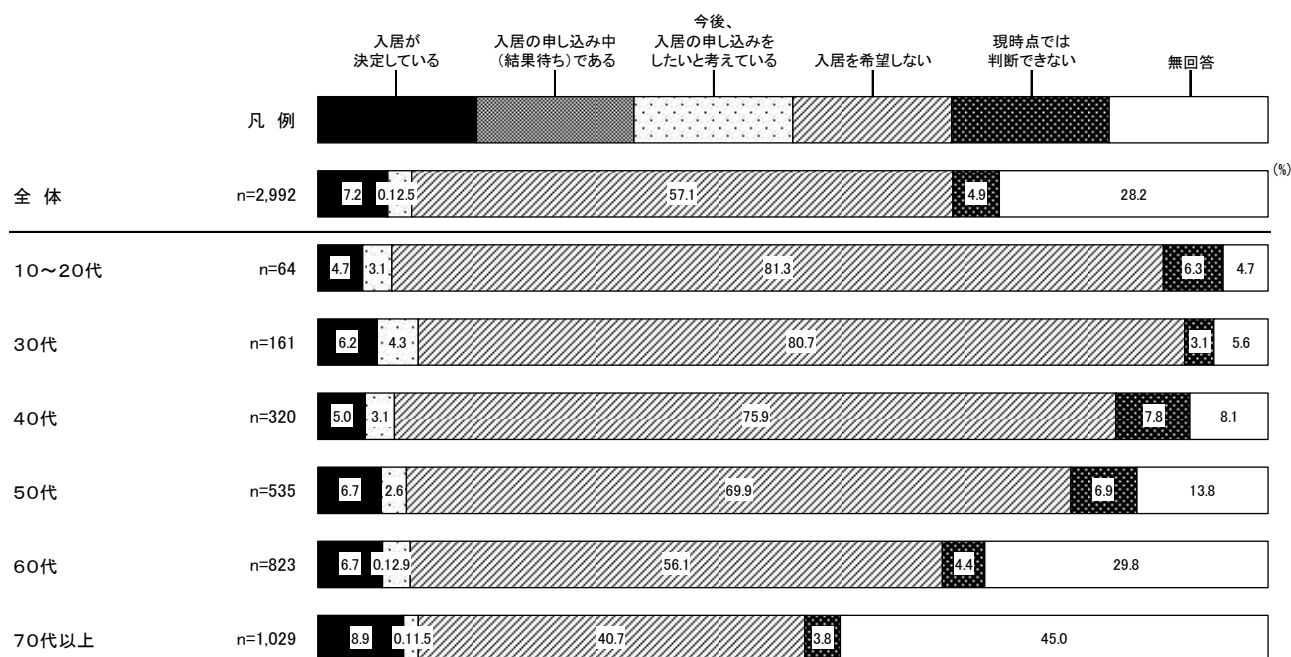


3-5 復興公営住宅

3-5-1 福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向

問29 福島県が整備した又は整備を予定している福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向について教えてください。（○は1つ）

＜図表3-5-1 福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向（年齢別）＞

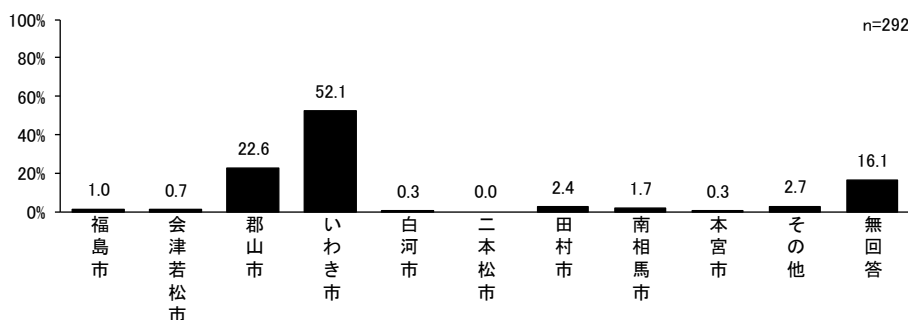


3-5-2 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村

【問29で「1. 入居が決定している」「2. 入居の申し込み中（結果待ち）である」「3. 今後、入居の申し込みをしたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問29-1 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村について教えてください。（○は1つ）

＜図表3-5-2 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村＞

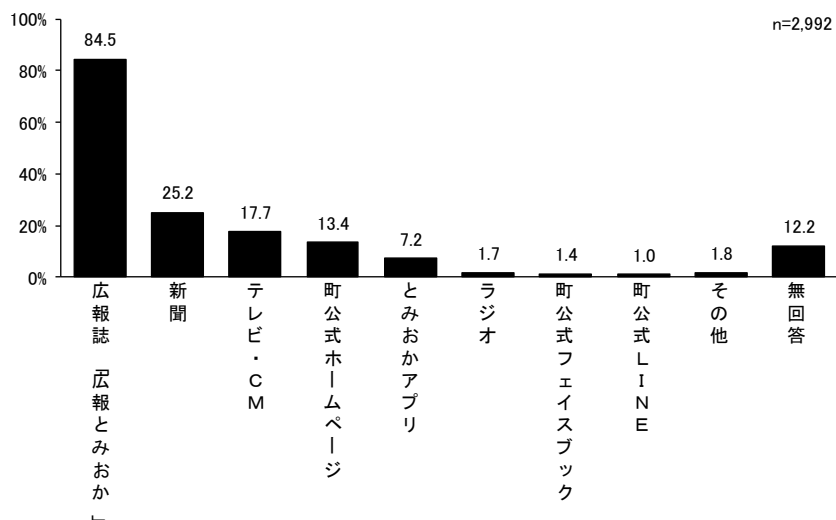


3-6 情報入手

3-6-1 富岡町からの情報の入手経路

問30 日頃、富岡町の行政情報やイベント開催情報を、どのような媒体を活用して把握していますか。(〇は3つまで)

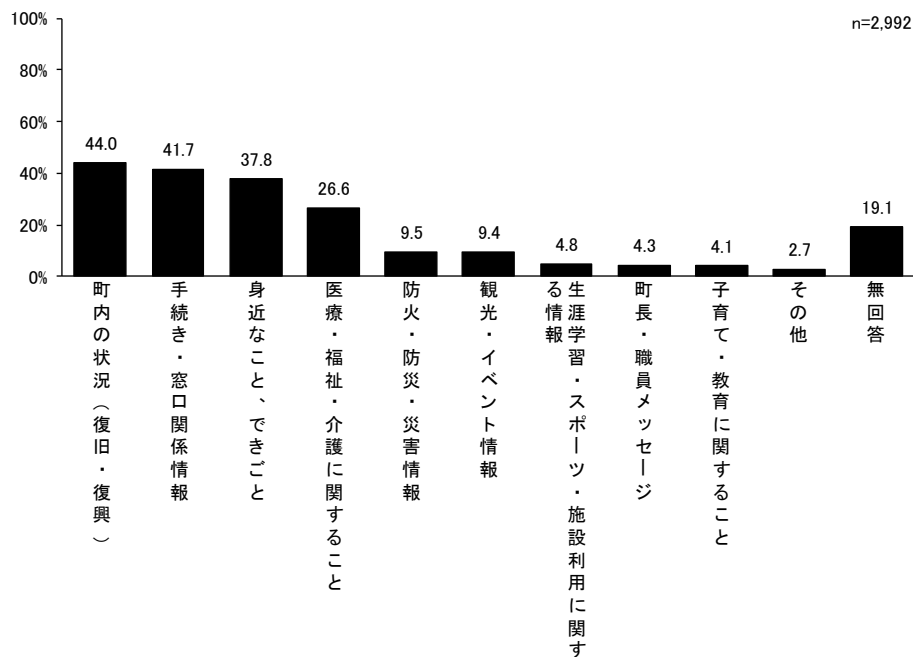
<図表3-6-1 富岡町からの情報の入手経路>



3-6-2 富岡町から欲しい情報

問3 1 富岡町からの情報で強い関心があるものは何ですか。(〇は3つまで)

<図表3-6-2 富岡町から欲しい情報>



3-7 意見・要望

問32 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国、県、町への要望などをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、719世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

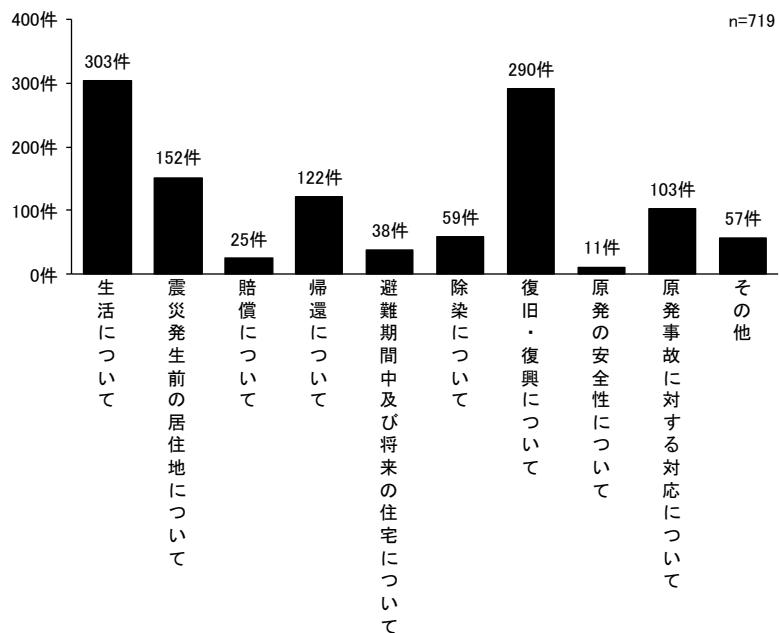
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることにについてのみあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について ・その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の意識について ・除染作業にかかる費用の他への活用について ・除染作業の効果などについて ・除染作業の実施箇所などについて ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染作業スケジュールの明確化について ・除染産廃物の処理について ・その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域への立入りについて ・帰還困難区域等の設定について ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地等の管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・所有する墓地の維持・管理・移転について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償内容・方法について ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について ・その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の迅速な実施について ・廃炉作業全般について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還可能時期の明確化について ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や東電の対応について ・対応の長期化、遅れについて ・情報の開示・発信について ・中長期的スケジュールについて ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅の早期・迅速な建設について ・復興公営住宅の建設地・形態等について ・復興公営住宅に係る経済的負担について ・復興公営住宅への入居について ・居住場所の確保について ・借上げ住宅について ・住宅の購入について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のエネルギー政策について ・行政に対する謝意、励まし ・その他

※掲載する文書は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

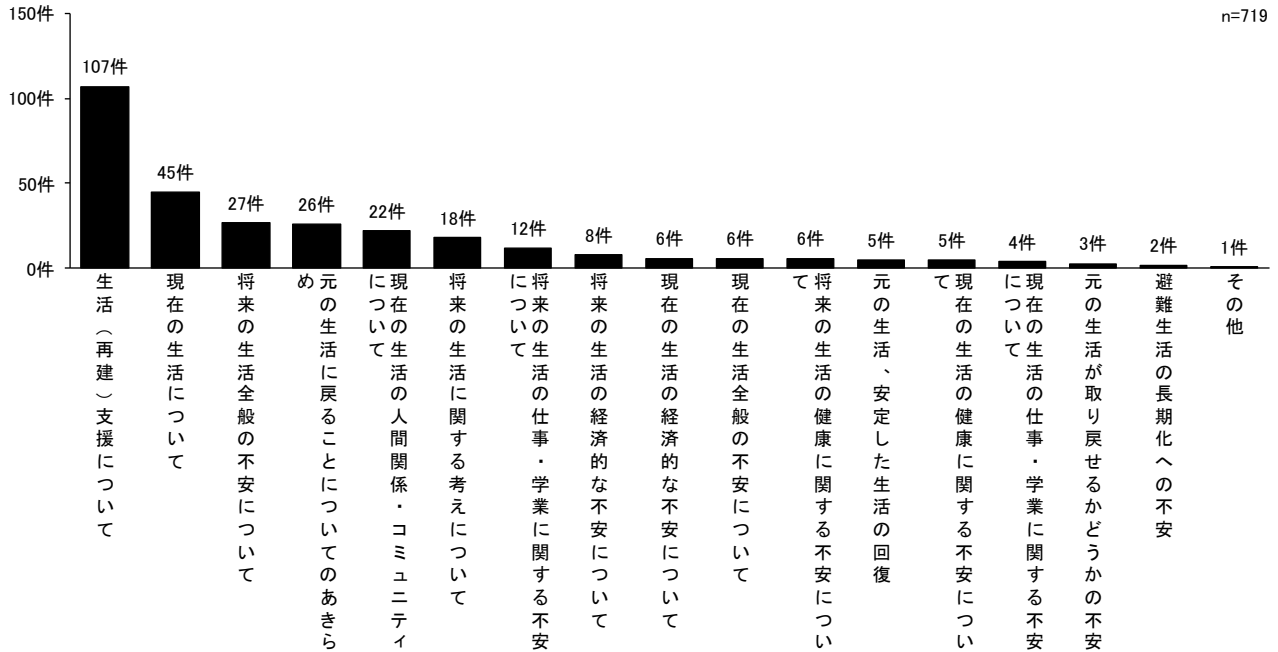
3-7-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表 3-7-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-7-2 生活について

<図表3-7-2 生活についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【生活（再建）支援について】

- ・ コンビニ24H営業してほしい。ハイオクあつまっているガソリンスタンドをふやしてほしい。道路整備してほしい。防犯体制の強化してほしい。交通課も双葉署（本署）でやってほしい。歯医者、再開してほしい。（30代）
- ・ 精神的苦痛の料金をすべての町が同じ金額でもらえる様にしてほしい。仕事が無い為、今はいいが来年3月に仕事が無くなるので生活が苦しくなるのでなんとかしてほしい（保証してほしい）。医療費や高速の無料化を長くしてほしい。いつもアンケートをとっているが、先に進んでいない様なので、先が見えるようにしてほしい。生活が安定できる様にしてほしい。（40代）
- ・ 県外から富岡町を訪れる時があるので（お墓参りやイベント等）高速道路無料を続けて欲しい。できれば、運転できないお年寄りの方達のために、電車等の乗車代も無料であればいいのだが（県外から富岡町への）。（40代）
- ・ 現在自宅にもどってきたが電柱、電線近くに木がのびたり、倒木しやすい木があり、風などの影響で切れたり、破断するのではないかと心配です（停電が心配）。電線、電柱回りの整備を強化してほしいです。いのししや、いのぶたが夜になるとかなり出てくるので害獣駆除の強化（小供のいのししが増えている）。（50代）

【現在の生活について】

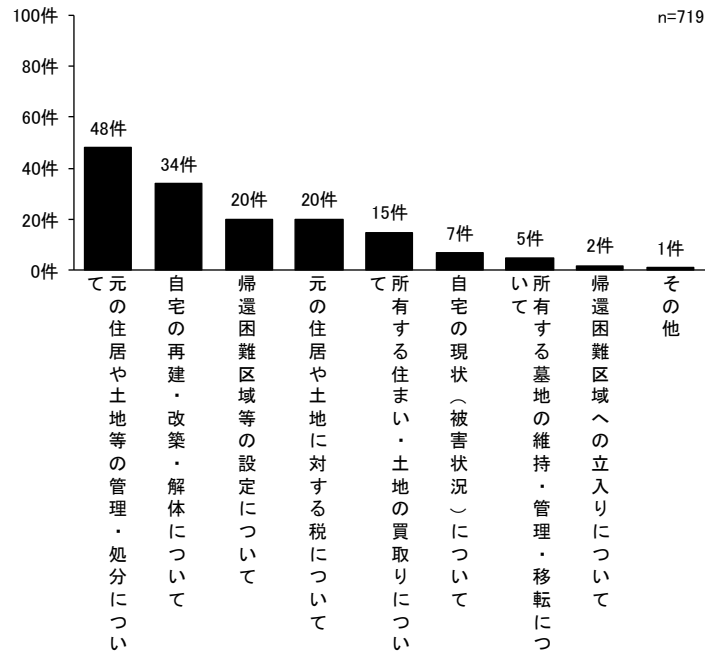
- ・ 自分以外の家族が今年から富岡に住み始めた事もあり、長期連休等には富岡に帰っています。帰る度に更地になっていたり新しい建物が建っていたりと、景色が変わっているのは、嬉しくもあり寂しくもあるような気分です。うちわ祭りや麓山の火祭りに行きました。なつかしい場所に行って、なつかしい顔に会う事ができました。火祭りは8年のブランクを感じさせない盛り上がりでした。事情があっても富岡に住む事はできないかもしれませんが、今後も富岡のイベントには積極的に参加したいと考えています。富岡町を遠く離れて暮らしていますが、富岡を好きな気持ちは変わりません。(20代)
- ・ TVのニュース等で、富岡町の話が出てくると、やはり目が行く。良い情報ならばうれしい。一番気になるのは、住宅の借上げがいつまで続くのか、ということ。広報紙等、大きな封筒で来る書類はほぼ見ないので、補助が打ち切りになる連絡は別途封書等で送付してほしい。今は自分の精神的安定、仕事、をいかに上手にするかに精一杯。(40代)
- ・ 町の復興には期待しているが、自分は一人身なので(現在64才)町にもどっても自宅(兄の持家)が解体してなくなっているのでは今さら家をたてて住もうとは思わない気持です。自分は今いわき市の県営住宅に入居していて富岡町までパートで仕事に入っているのでは体のつづくかぎり今のままでいようと思います。(60代)
- ・ いつもお世話様になっております。駅の回りとか、住宅も、新築の家とか…大分出来て復興の兆も見えて来ているのですが我が家は帰還困難区域ですので今は、孫達は生活が充実して勉強、部活、頑張っています。又、この先いろいろな、町の事など…大変だと思いますが宜しくお願い致します。「そして、町の復興を期待しております。」免除の件もお願い致します。(60代)

【将来の生活全般の不安について】

- ・ 母子家庭でいずれ実家の母と一緒に生活しなければならないと思っていますが、子供の進学等もあり思いついた引っ越しが出来ない様な状態です。個別で相談にのってもらえるような所があれば助かります。(40代)
- ・ 富岡へ帰っても、山さい、川魚などつってもたべられない。楽しみがなくなった。復興住宅へ住んでも、知らない人が多い。年よりがほとんどでさみしい。家ぞくもばらばらでつまらない。これから、どうなるのかふあんです。(60代)
- ・ いつも帰りたと思っています。田・畑・宅地など残しているので行きたいと思っているが、一人行動は体が思うように動けないので困っています。これからどうなるのか心配で眠れないです。(80歳以上)

3-7-3 震災発生前の居住地について

<図表 3-7-3 震災発生前の居住地についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【元の住居や土地等の管理・処分について】

- ・ 富岡町の土地をどの様にしたら良いか？土地の固定税やらと今後の事に不安があります。国・町で何か良い使い道を考えて下さい。町民も住所を置いてあるので、いわき市に家を建て生活しています。いわき市に住所を移した方が良いのかも考えてしまいます。（30代）
- ・ 町に戻ってきたのはよいが、イノシシに庭を荒され、買ったばかりの七輪を破壊され、困っている。もっと庭をきれいにしたいが、お金をかけても無駄な気がする。富岡の家を売り払って子供の住む東京に行った方が幸せなのかも知れないと思ったりする。（50代）
- ・ 他の町村でも共通の悩みだと思いますが、使用していない宅地、農地の維持、管理をどうするかは、大きな課題です。個人所有の土地なので、難しい面もありますが多くの方々は「使用しないが維持したい」「有効活用の方法があれば…」と考えています。町としてもランドデザインを策定中だとは思いますが、早く手を打たないと大企業や不動産屋に買い占められることにもなります。農地を町で借り上げ（又は買い上げ）、6次化に使用する、宅地をまとめて町内各所にデザイン性を考えた集落を作る、など従来の枠にとられない柔軟な企画を町が主導してほしいと思います。土建屋や企業が栄えて町が滅ぶになる前に。（60代）

【自宅の再建・改築・解体について】

- ・ 富岡町に戻るにあたって、町の行事ごと、コミュニティが、震災前の状態に早く戻ってくれたらと思います。自分達の家の周りが、解体となると、自分達の家も早く解体を促進され土地を別の事業等に使えるのではと、心配になります。家族で外出及び利用できるショッピングモール等があれば幅広い年齢層が、生活できると思う。ただ、震災前の様に、小さな商店も、とても利便性がよく、ちょっとしたコミュニケーションがとれる事が、田舎ならではの良さがあった。個人の商店等は、町や国からの支援がないと現実難しい事が、多々あると思います。(40代)
- ・ 富岡町の自宅をこわしています。今後、税金を支払う事になると聞いてます。今はいわき市に高レイ者の母とくらしています。(自宅建てた)誰も住んでいないさらしになった土地の良い活用方法等をおしえてほしい。(50代)
- ・ 家の状態に問題はなかったが、今年7月に窃盗に入られた。サッシのガラスを割られたことにより、家の解体を決断した。今後、家の劣化が加速し、町の復興の妨げになると判断した。(50代)

【帰還困難区域等の設定について】

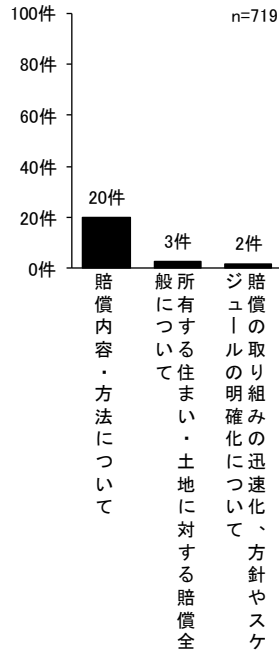
- ・ 富岡町は全体を同じ帰還困難地区にしないで、中心部分、道路を分けて分散したやり方は今だに納得できない。遠藤町長もいいかげん、今の町長も町は全体と言っておいて分散してる。富岡町は、帰還せず最終処分置き場にすれば廃炉もスムーズに行えるのに、何を考えているのかわからない。町は変ってしまった。役場の人ですら富岡町にもどらず、いわきや郡山に家を購入してるのに、家にもどれないのに帰還したから賠償もきられるし、不公平だらけ。(50代)
- ・ 富岡町が嫌いになったわけではないが、新しい家族とスタートを始めたので千葉県に移住となった。行政・国には不満がある。困難地域と道路へだてて分けたが線量は同じである。それなのにと…くやしい。遠藤町長は町全体同じと初めは言ったのが、なぜ。せめて富岡と夜の森に分けてもらいたかった。富岡町を解除にしても良いことない。老人の町。もどりたい人は老人のみだ。もっと、一人一人の意見に耳を傾けてもらいたかった。(60代)
- ・ 原発事故による帰還困難期間が長すぎ復興といっても元の町には戻れない。富岡に帰った人は高令者がほとんどでこの10年で寿命が尽きることは目に見えている。人が入れかわってしまう。この附けはあまりにも大きすぎる。その責任は国、県、東電にあり、一生生活の糧を補う責任があるのではないか。財政面、税金面の優遇処置を検討して欲しい。町の中期的、長期的未来像が明確でない。(70代)

【元の住居や土地に対する税について】

- ・ 町外居住した現在、富岡町に現存している土地(宅地・山林)の今後の固定資産税を、富岡町から東電へ請求していただきたい。(60代)
- ・ 空き地の維持管理及び税の不安が多大です。(60代)
- ・ 家族が別々に暮らしこれから何年先も各々固定資産を払い続ける事が大変です。(富岡の貸地は借主が移転して固金資産が何倍も取られると云う事等)(70代)

3-7-4 賠償について

<図表 3-7-4 賠償についての意見>



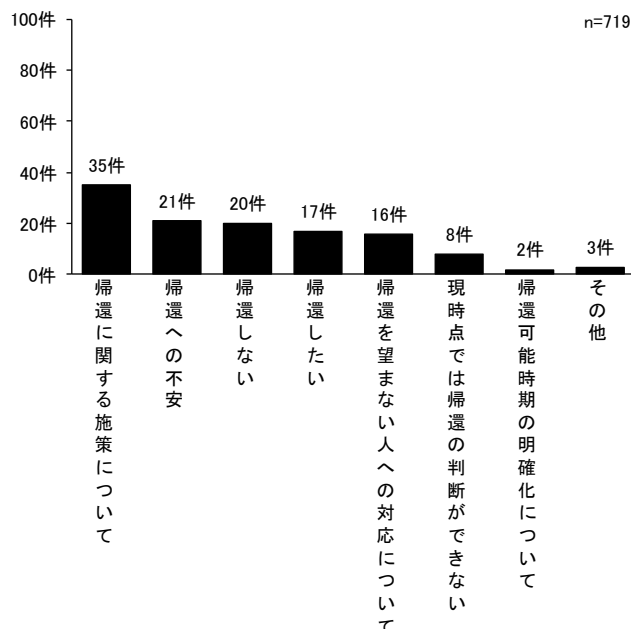
上位項目について主な意見は以下のとおり。

【賠償内容・方法について】

- ・ 学生寮に住んでいたのですが、その時置いてきた物のお金は保障されないといって、断念しました。ですが、学生の頃の思い出の品もあるので保障されるようになり、自分の元に戻ってきてほしいと思います。(20代)
- ・ 町には戻るつもりは、全くありません。もう、生活基盤が出来上がり、私の実父母も高齢とあり、戻らないで欲しいと止められている。実の弟も重度の知的障害と自閉症を抱えており、私と夫しか頼りに出来ない事情もあり、もう全く町に対して未練は、ありません。しいて言えば、戻らないと決めた人達に対して、それなりのより充実した賠償金を支払ってもらいたい。世帯それぞれ事情などあるし、言葉は悪いが、お金が一番です。お金さえあれば、生活などの不安も少なく済むし、そう対応してもらいたい。(40代)
- ・ まだ原発事故が終息していない。町として継続した賠償を東電に要求してほしい。2020年で住宅の支援が打ち切られるとのこと、町営住宅を沢山作ってほしい。(50代)
- ・ 以前から町長が言っていた町民平等の賠償の件はどうなっているのか？帰宅困難区域以外でも富岡町に戻らないと決断した人に対して、何かしらの支援はないのか？(50代)

3-7-5 帰還について

<図表 3-7-5 帰還についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【帰還に関する施策について】

- ・ もともと富岡町民を帰還してもらうことも大切ですが、原発や中間貯蔵関係の作業員が暮らしやすい町になってほしい。「もとにもどす」と同時に、新しいことを始めて新たな町民を増やす取り組みにも力を入れてもらいたい。(30代)
- ・ 設問内容に関してですが、完全な帰町ではなく、月に数日の町内宿泊で自宅を管理し、生活しているケースもあります。帰還したくても出来ない事情もありますので、色々なケースを考慮することも必要ではないかと感じます。私自身が上記のケースですが、生活ごみの回収曜日と帰町日が合わないこともあり、害獣のことを考えると回収曜日を無視して、ゴミステーションへ出すことも出来ません。この為、ゴミを家屋内に保管しています。しかし、今年のように酷暑が続くと…。例えば、町内のどこかに、いつでも出すことのできるゴミステーションを設けてもらえないかと切に要望します。(40代)
- ・ いわきや郡山のように便利にならないと富岡町に戻る理由がないのでは。今住んでいる所よりメリットがないと誰も戻らないと思う。今の状況で、なぜ戻らないかと聞かれる方が不思議。町税の使い方を含めて、もっとまじめに考えた方がよい。(40代)
- ・ 「いずれは、住民票を現在居住している市町村に移す事になる」と、以前、富岡町役場が発表したけれどそれはいつごろになるのか？二重住民票の実現は不可なのか？これは「町とのつながり」や、最終的には富岡町の存続に大きな影響をおよぼすと考えるが、いかがか？(50代)

Ⅲ 調査結果

【帰還への不安】

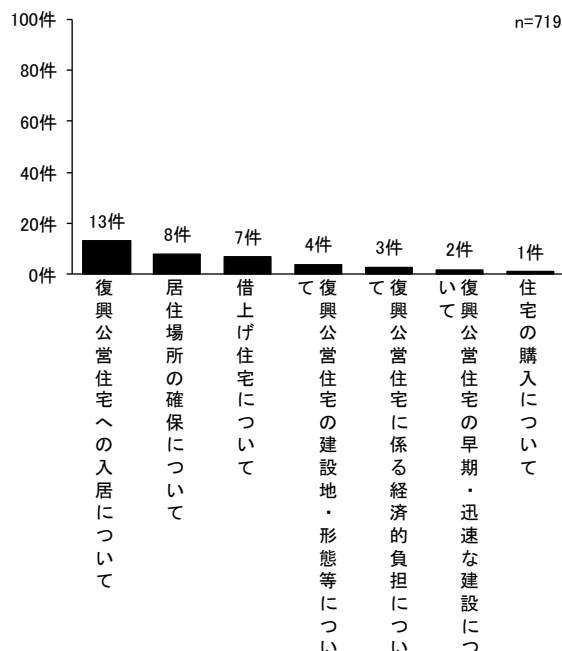
- ・ 汚染水処理の問題も出てきている中、帰還を進める理由が分かりません。(30代)
- ・ 町に住むとなると物価が高い。安売りして欲しい。やはり買い物となるといわきの方が利便性が良い。帰りたいけど、帰るとなると費用がかかるので…。(40代)
- ・ 若者が長く働き続けられる仕事があれば子どもを戻したい。知らせをみても建設、ホテル、スーパーなどがほとんどで一生、安心して続けられるか、心配。(50代)
- ・ 夫が亡くなった後、突然福祉の方が夫の安否確認の為か、尋ねて来ました。(ハウスメーカーの営業ですら、1年前位からあなたの夫はがんですか？と言ってました。)安否確認の為なのか、電話がかかってきたことも1度ありました。本当に安否確認なら、電話でたくさんだと思います。悔しいです。こんな状態で、富岡町に戻ったとしても不安です。(60代)

【帰還しない】

- ・ 今、学生として国家資格に挑戦しており、将来的にそれを復興や対策に活かし、貢献できれば、と考えております。その為、当分富岡には戻れません。申し訳ございません。(30代)
- ・ 被災後長い間金銭面などのサポートとても助かりました。ありがとうございます。現在新潟の実家で生活も安定していますので、申しわけありませんが、富岡町に戻ることはないかと思えます。届出先がわかりませんが広報紙や意向調査も止めていただきたいと思えます。楽しかったツーリングでもしにいずれまた立ちよらせていただければ幸いです。(30代)
- ・ 生まれ育った土地に帰りたいけど町外での生活基盤が既にできているため帰らない。震災後町外に3年目で家を新築と墓地の解体移転済んでるし、富岡町に帰る訳にはいかない。富岡町の友人、知人もバラバラで帰宅している友人もいない。今は、新たな町外の友人、友達も増えてます。でも時々、富岡町に出向いて町の状況や風景をみる楽しみが増えました。町の復興に関してご協力有難うございます今後ともよろしく願います。(60代)
- ・ 長い期間の避難生活で苦勞しいわきに1戸建の我が家を作り今妻と2人で住んでいる。富岡の家は雨もりと崩壊で新地にしました。それで富岡に戻る事が出来ません。また放射線の心配と戻る人が少ないので帰ることをあきらめました。今は新しい家になれて生活しております。(70代)

3-7-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-7-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【復興公営住宅への入居について】

- ・ 私は、家があった所は解除になっている所ですが公営住宅には入れない見たいです。親の介護、嫁のうつろいなど事情があるのに事務的に物事を考えていませんか？公営住宅あちらこちらで空きが出ていますよね！あと！富岡のサクラモールなどあちらこちらで線量が高い所がありますね。何とも思われませんか？（50代）
- ・ 復興住宅に住んでいます。このまま住み続けたいと思っているのですが、収入が多くなると難しいとも聞いております。復興住宅ということで、住み続けることは出来ないのでしょうか。（60代）
- ・ 今年3月に自宅解体の申請を致しました。8月には解体の具体的な打合せも終了し、事前に対応する旨の説明を受け了解とするも、複雑な気持は拭えないまま帰宅し、自分の故郷が消えてゆくむなしさは押え切れませんでした。災害住宅も最近は限定され、自分の希望する場所への申込は出来無いまま、早く申込をしないと希望地には届かないと、言われてる様で残念です。何故判断が遅れたかは言いませんが、事務的対応なのかなと思います。もうこれ以上書きません！！（60代）
- ・ 富岡町に早く戻りたいと毎日思ってますがアパートに入れるまで何年かかるんですか。町のアパート役場の事です。どうしたら良いのか毎日不安で居ります。早く戻りたい気持で今がんばって居ります。何とかお願いします。（80歳以上）

Ⅲ 調査結果

【居住場所の確保について】

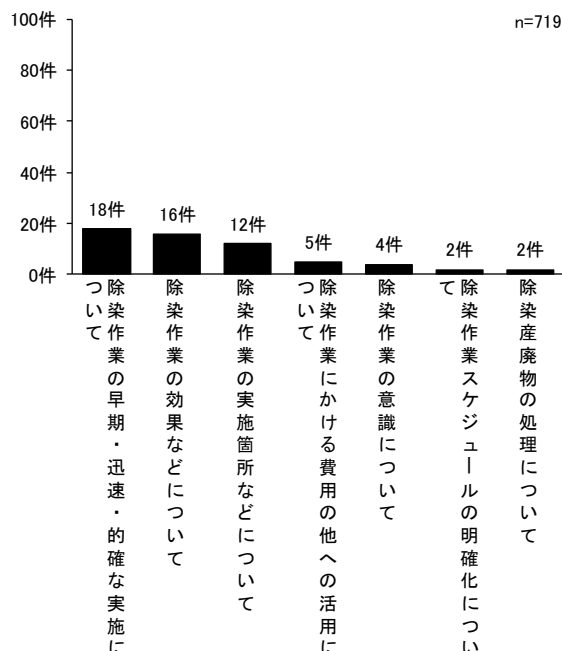
- ・ 帰還しないことを決めた者ですが、それでも、原発事故の収束への動向も含め、町の復興状況が気になります。いつか本当に安心して、桜を見に行けるようになることを願っています。また、帰還困難区域の方の住宅確保について、当事者ではないものの気になっております。仮設住宅が再来年の3月終了となるのは妥当な線だと思いますが、対象の方が希望するものに近い形を提供していただくことを望みます。(40代)
- ・ 戻る所がなく復興住宅で一生暮らさなければならない事が、とても不安です。(50代)
- ・ いわき市で土地をさがしているが無い。放射線量が今後どのくらい低下するのか不安である。山の除染をしてないのも気になる。水道水などの生活用水の安全性に不安がある。(60代)
- ・ 2年後帰還困難区域も解除の予定であるとのことだが、住居の確保をどうしたらよいか不安である。国、県、町の生活の支援を継続してほしい。(70代)

【借上げ住宅について】

- ・ 震災前は町営住宅で住んでいたの、同じ物価で、避難先でくらすのは難しい。借上げ住宅は、必要です。当面の借上げ住宅の延長をおねがいします。(50代)
- ・ 現在所属している会社(震災前から)は原子力発電所が主要な仕事先であったため第2までが廃炉となるともどろり富岡に帰るとは思えない。私自身すでに60才をこえており65才まで2年ちょっととなり富岡の生まれでもないことからもはや帰ることはないだろうと思っている。今の石川県には会社の仕事で長期出張となっているがいわき市に借りているアパートは当初県の借上げであったが出張が1年をこえるころいきなり返却しろとの連絡があり物置きに金は出せない仕事での出張は1年以上は居住と認めないといわれた。私は震災直後から会社は存続しているのでそれまで通り会社に所属し新潟・東海と出張勤ムしその間県・町からは自家用車の持出しと見まい金の分配を受け取ったのみで何の補助・援助も受けていない。1年半後ようやくいわき市にもどり赤十字から家電品をもらい借上げ住宅に入ったが仕事で出張中に借上げを打ち切られマイナンバーを受け取るために休暇をとって福島までおう復しなければならなかった。土地・自宅を持たず普通に会社に勤め震災後も税金を収め続けている人間に対しては何か対応がつかないのではないかと感じているのも帰る気にならない大きな原因である。(60代)

3-7-7 除染について

<図表 3-7-7 除染についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- ・ 国、県町等で行っている除染等の継続をしてほしい。いつの日か町内に戻ることもあるかもしれませんので。(30代)
- ・ 帰還困難地域に自宅がありますが、除染が遅すぎる！！桜並木（観光の為）除染の優先ばかり目立ち・・・まずは、住宅の家屋を優先させるべきなのに！！新転地に住居をかまえた場合、富岡の自宅をどうするか？今後の悩みです。自由に行ったり来たり、住んだりするには、2軒所有しないといけないので税金等が心配である。そうなると、富岡の自宅を手放すかどうするか？愛着のある自宅だけに決心が付きません！！帰還困難地域の空巣被害が多くなっていますが、これは、入られ損という事で、諦めるしかないのか・・・最近こちらも心配事のひとつです！！(50代)
- ・ 住民の帰還を促すだけでは、生活の基盤は改善できないし、暮らせる、生活できる町の復興はできないと思います。放射線や原子力に対する理解やアレルギーの除去は基より、新興産業の誘致を計り、新しい住民の獲得による町のより大きな発展を視野に入れた前向きな施策を実行して行かないと、富岡町は衰退して行くと思えません。(60代)
- ・ 除染の進捗と共に速やかに帰還困難区域を居住制度区域等への変更を。(70代)

Ⅲ 調査結果

【除染作業の効果などについて】

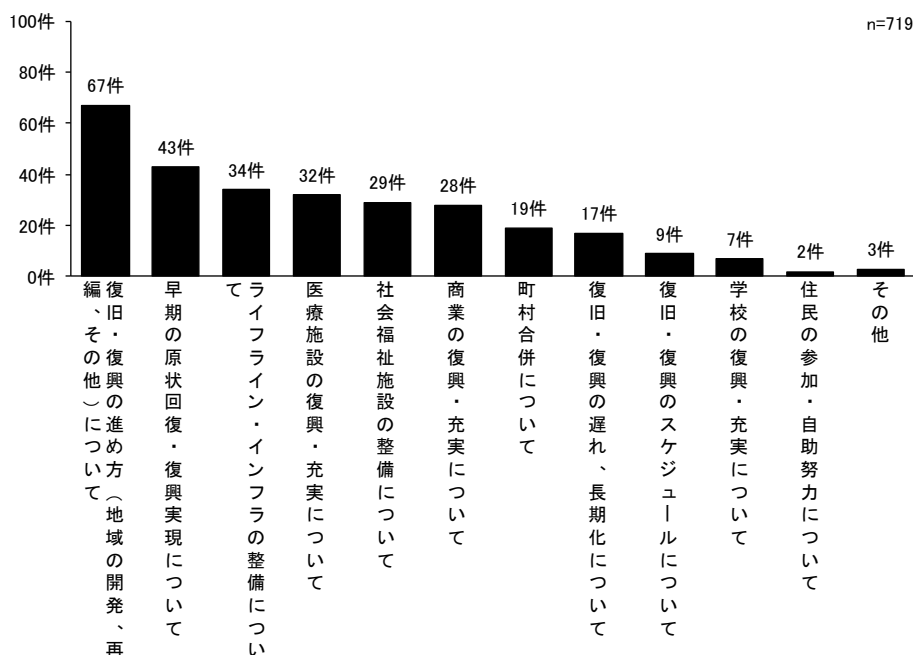
- ・ 今夏、久しぶりに富岡へ帰りました。線量が高く、とてもじゃないが、ここで暮らせないと感じました。戻れない人に対する継続した支援をお願いしたいです。(30代)
- ・ 福島第一原発トラブル続きで不安ある。居住空間の被曝線量に不安・問題ある。山林・湖底等の除染はどうなっているのか？小児がいて、戻れる環境では、ない。(40代)
- ・ 元、住んでいた所が、帰還困難との境なので、放射線量が不明瞭。又、国道沿のため、中間貯蔵施設へのトラックなどが多く通る為不安が多い。土地があるのに、復興住宅を借りて、家賃を払うのも、気が重い。本当に子供を連れて帰れる環境、そして、今までと変わらない収入を得れる仕事があるのなら、戻りたいと考えている。(50代)
- ・ 自宅富岡小浜近辺の放射線量必ずしも下がっていない。再除染しても広くしない為、戻って来る。いつの間にか除染対象目標値も上がっていて個人には知らせない住民には詳細教えない方が良いという考え方のようですネ。環境省→下請→下請で責任がない除染の仕方、上っつらの実行したという件数のみ実績も、責任ない本人要望なかったらそのまま、情けない。(70代)

【除染作業の実施箇所などについて】

- ・ 山林や宅地でも、まだまだホットスポットがあると思いますので、帰還している住民の方々の為にも、全地域、震災前の線量率及び、汚染密度になるよう、お願いいたします。(30代)
- ・ 里山除染をもっとしてほしい、住居確保の支援(県の支援の継続)新規も含めて!!(40代)
- ・ 帰還困難区域に住んでいた住民としては残念ではあるが、原子力発電所が安定しているとは思えない。まだまだ危険要素が沢山有る。又小良ヶ浜、深谷地区の除染、解除はまだまだ手が付いていない。先祖から受け継いだ、不動産はどうなる？今後時間がかかり過ぎて、財産がどうなるか不安です。私も高齢になっております。あと10年先に解除になっても、どうしようもありません。(家も住めないし、農業も出来ません)老後は、のんびり農業でもしようと思っていましたが全て、パーになってしまいました。せめて、手を付けられずにいる家を早く解体して頂き、土地に活用方法をみい出して頂きたい。※何度もアンケートの中に意思を書いておりますが、いっこうに進展しないもどかしさに腹がたっております。(60代)
- ・ 廻りが除染していないので、足が向かない。帰還困難区域が近い為。(60代)

3-7-8 復旧・復興について

＜図表 3-7-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- ・ 富岡地区、夜ノ森地区で帰還出来る地域、出来ない地域があるにもかかわらず、積極的に町へ住民を戻そうとすることに疑問を感じる。今後も二分された状態で町として復興するのか。（20代）
- ・ 双葉郡町村、それぞれが様々な活動をしておりますが、まとまりが無く、バラバラで、そのことで、復興の足かせになっていると感じます。浪江、双葉、大熊、富岡、まとまってしまうばいいのにと感じます。自分たちのことばかりで、情けない。それから、原発を止めない日本に失望しております。こんなことになった原因を無くすこと、まずは原発を止めること。それが決まらない限り、他に前向きに考えることなどできません。そのための活動を双葉郡一体となって、取り組んでほしいし、自分も協力したいです。（30代）
- ・ どんなに復興しようとしても、もはやそれは富岡町という名前だけの別の町なので戻る気にはなれないし、今現在、富岡町は異質な町であり、何を言おうとゴーストタウンであることは間違いない。復興に向かうという事はとても前向きであり、正しい生き方なのかもしれませんがもっと現実的で感情論ではない動きもほしいと思っています。（40代）
- ・ 国道、町道が凸凹の状況にありながら、舗装整備されていない。また除草の対応も悪い。震災前の様に歩きやすい、走りやすい道路環境にしてもらいたい。町営住宅、集会施設、学校等の公共用地が雑草等で住環境が悪化し、離接する方が戻る気になれない状況であると共に見た目が悪いのでしっかりと管理してもらいたい。（60代）

Ⅲ 調査結果

【早期の原状回復・復興実現について】

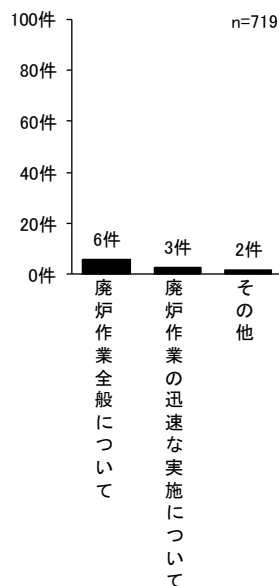
- ・ ふと、時々ですが、震災前の活気のあった富岡町を思い出すことがあります。やはりいくつになっても故郷は大切な場所です。少しずつゆっくりですが復興して変わっていく町の姿をこれからも応援し、見守っていきたいです。(20代)
- ・ 新しい商業施設が出来る等、確実に復興が進んでいる事を喜しく思います。生活している方、働いている方の表情を広報紙を通じて見ていますが、こちらの方がいつも元気をもたらしています。なかなか富岡町に行くことが難かしくなりましたが、いつか家族で行きたいなと思っています。富岡町民、福島県民の笑顔と健康を願っています。(30代)
- ・ 震災から6年経過し、みるみるふるさとの景観が失われ、自宅に一時立入しても近所の家が草木が延び放題になりとても住める状態ではない。自分の家は定期的に清掃し何とか維持しているが、水周り関係など修理しなくては住めない状態であるし、修理費用もない中で、今後どうしたらいいものか考える次第である。不動産の空き家バンクに登録し売却する方法もあるかなどいろいろ模索中である。もし帰れるようになるんだったら、いわきと富岡自宅行き来したまには富岡でのんびりするのもいいかなとも考える。周りの人達も帰ってきて住み易い富岡になってくれる事を願う。(50代)
- ・ 新たに病院ができたり、図書館が再び始まり、うれしく思っています。毎月送って頂ける広報で町の様子がわかり、有り難いです。今後、若い人達が働く場所が増えていくことを強く願っております。(50代)

【ライフライン・インフラの整備について】

- ・ 高齢者やハンデアリ独居とリスクの多い方が中心先行型の帰還が他町村でも進んでいる。休日夜間でもサポート可能な行政サービスお迎え送りサービスや見守りサービス、技術の導入が課題。見た目だけの復興に限界を感じる。(40代)
- ・ 帰還困難区域の早期の上下水道の復旧、インターネット光回線の早期復旧をお願いします。帰還した場合の帰還していない空屋の管理をしっかりしてほしい。(50代)
- ・ 循環バスは解りますが、タクシーは無いようですね。一時帰町する人は時間がとても大切です。その為いわき駅で降り、レンタカーを借りる人も多いと聞いています。町営レンタカーとまでは言いませんが、そのような車があれば便利かと思います。(私は車で帰町しています。)住宅を取り壊した後の使い道のない宅地はとて多いと思いますが？(70代)
- ・ とにかく、医者様、洋服類下着などいろんな店舗が足りません。年よりはいわきに行くにもバスの乗り方も出きません。富岡に来てよかったか悪かったか考える時もあります。とにかく不便ですね。お店はさくらモールですからあとは何にも私達に利用できる店は何にもないのです。何とかお願いします。(70代)

3-7-9 原発の安全性について

＜図表 3-7-9 原発の安全性についての意見＞



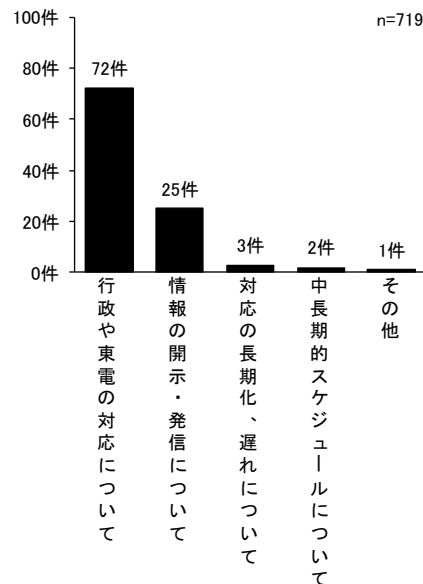
上位項目について主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業全般について】

- ・ チリノブイリの原発事故等と同じ様に生活が出来ない地区なのに帰りたいから居住区域を解除し帰えそうとするのかわからない。国、東電の職員だって帰って仕事もしていないのに、我々の命をなんだと思っているのか、考える事が出来ない。又、廃炉作業中、事故でもおきたら同思っているのか、わからない。一番可哀相なのは、役場の職員や広域圏の職員だ。帰る事の出来ない地区は、あきらめる事だと思います。又環境省で3回も除線しても線量が下がらないのに宅地や田畑の固定資産税を払わないといけないのか。(50代)
- ・ 帰還した住民が少ないのは、何故なのか。インフラ等を復興、いろんな施策をしても、住民は不安を抱いている。原子力発電を廃炉するのに数十年の長期間を要し、安全、安心に不安があり、また、廃炉が終了したとしても「核のゴミ」の問題もある。「核のゴミ」、「汚染水の処理」等、国は明確に、早期に決定すべきである。最終処分場は福島県外に。当面は福島県外の東京電力の施設内に確保すべきである。東京電力が使用したものである。(60代)
- ・ 行政機関はなぜ戻そうとしているのか？町の財政はどうなるのか不安です。いずれ行き詰まるのではないのでしょうか。国や県がいつまでもサポートしてくれるとは考えられない。それを考えると戻りたくても戻れない。それと、東京電力の廃炉作業がスムーズに行くとはとても思えない。これからの何十年、いや百年以上かかる可能性も有り得る。誰も未来のことは分からないので、生活して行ける状況ではないと思われる。(60代)

3-7-10 原発事故に対する対応について

<図表 3-7-10 原発事故に対する対応についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- ・ 役場職員の方の説明不足で身内の住民票が富岡町に戻せなくなり、一時期大変だった。職員の方もわからないならわかる方にかわってもらい、こちらが後で困らないように説明をしっかりとできるようにしてほしい。住民票も戻せない、帰宅困難区域で帰れない、仕事もないので富岡町に住めない（ので住民票が戻せない）というのはなんだか腑に落ちない話でした。わかるようにきちんと説明できるようにしてほしいです。（20代）
- ・ 町は帰還を促しながら町長、議員、役所職員などが帰還していない。遠方からの通勤費等、税収が無いのに経費が掛かるはず。なぜ、主導する側が動かないのか？利権がかりで本当に町の事を考えている人などいないのでは？（40代）
- ・ 私1人でも自宅に帰る考えですがすでに隣近所は解体が進み、近隣住宅の方も、おりません。夏は庭の雑草、冬は猪等獣被害。帰りたくても帰れない状況を、国、県、町はどの様に考えているのでしょうか？（50代）
- ・ 東電賠償を東電がきちんと対応していないが為、個人の復興も東電が足かせとなり、とうていその先の町の復興も、遠い未来の事のように思える。（50代）
- ・ 解除になってから、町長・町会議員・役場職員は町に戻ったのでしょうか？自分の目で見て、体験してこそ、不安な点不備な点がわかると思います。理くつばかり言っても、町民にだけいろいろ求めるのは無責任かと思います。（60代）

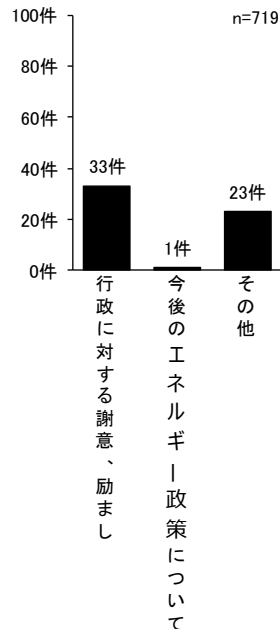
【情報の開示・発信について】

- ・ 帰還住民の人数はもと住んでいた方が戻った人数を公表した方がいいと思います。または（カッコ内）とか→住民登録した人では、日本国中の人が勘違いするし誤解される。→ニセ情報でしかないと思います。いくら、このような調査をしてもニセ情報公開では、うその上ぬりにしかならないような気がしてなりません。（４０代）
- ・ 富岡町の復興と言っても何世帯、何人がほんとうに戻るのかをもっと明確にするべきと思う。５０才代より下の人たちがどう思っどうするかをもっと聞くべきだと思います。放射線量も、災害になる前、数値で管理し明確にする様にと。富岡町復興に力を入れても、原発の仕事に行く人（地方の人）が住む率が高くなるだけ、そのためにだけお金、予算等を使っているだけと思われる。それと１番の問題は放射性物質等を完全にとじこめるために全土、（富岡、大熊、双葉）町、村の地下理用の決定が必要と思う。土上は自然をのこし、そのまま地下処理、保管、埋設する（地下理用）を考え進めるべきだと思う。（５０代）
- ・ 廃ろに向けて今後本当に帰って行って生活できるものでしょうか。線量の低下、除染など良いことばかりが言われていますが、これからの原発がどうなるのか、本当のところはどうなのか、又、汚染水等の対策が何も手つかずなところが必配。福島県民として、安心してくらしていける所はといつも思っています。本当に「福島」の事を考えてほしい！！（６０代）
- ・ 質問は「あなたの…」と代表者だけの職業等の聞き方だが、人生の終盤の事よりその家族の当時の職業、現在就職出来ず困ってる状況、それは何が原因で発生したと思ってるのか家族の事も聞くべきである。その時限りのイベント等にかなり金額かけてると思うが、一時的な事より、山林の除染とかもっと別の事にお金を使ってほしい。水道のためのダムで底まで徹底して除染・周囲等も不安を生じないようにすべき。うわ水を水道として供給してるので一時帰宅で富岡に行っても水道水や水を使った物を口にする気になれない。テレビ等では富岡町の良いところばかり放送されるが、本当の現実、バリケードの内側はどうなってるか、隠さず知らせるべき。一般国民は良いこときり知らないで「なぜ帰らないんだ。」「よその町にいつまでも住んでるんだ」と思ってる。だから溝は深くなる。（７０代）

Ⅲ 調査結果

3-7-11 その他

<図表 3-7-11 その他についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- ・ 避難生活を行い続けている頃、多くの方からの支援・応援をしてもらい現在も様々な形で行われており大変感謝しております。今後も続けてほしいです。(20代)
- ・ 震災から早くも7年以上経過しました。富岡町等で復興にたずさわり毎日努力している方たちのことを思うと感謝の気持ちでいっぱいです。当方、生活基盤の関係で、もう戻ることはできませんが、美しい自然や景色は今もはっきり覚えております。昔のようにその景色をながめてリフレッシュしたいと思いますが、放射能が心配でいまだ行けずにあります。少しでも早く、また富岡の地をふみ、思い出を次の世代へ語れる日が来ることを祈っております。(30代)
- ・ いつも私達のためにありがとうございます。仕事でたまに富岡町に行って風景を見るたびにさびしい気持とこれからどうしていったらいいか考えます。自分の実家は道路になっていてこれまたへんな気持ちでした。現実がわかってきて、いずれ帰って住む家を見ると元気でいなくてはと思います。何かしたいと思うけど自営で1人何役、子供の事などあると富岡町のためにできる事がないのですが、いつか何かできる機会ができたらしらしていきたいです。まず会社をつうじて富岡町の皆さんのお役にたてるようがんばっていきます。皆様のご健康とご活躍を祈っております。(40代)
- ・ 富岡町でさまざまな行事やイベントをして頂き、町長さんをはじめ役場職員の皆様、関係者の皆様には大変感謝しております。いずれ帰還しましたら、少しでもお役に立てたらと思っています。(60代)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

富岡町 住民意向調査

※主に、住環境や雇用状況についてお伺いします。

記入上の注意

●調査をお願いする方

- ・震災発生時、富岡町に住居登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ・ご回答は、世帯の代表者の方をお願いいたします。
- ・現在、世帯が何か所かに分かれて避難されている場合には、それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方に、ご回答をお願いいたします。

●ご回答方法

- ・ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、()内に具体的な内容もご記入ください。
- ・の中に記入をお願いしている質問には、具体的な地名や数値などをご記入ください。

※調査票は無記名でお願いしております。

●情報の取り扱いについて

- ・回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

●ご提出方法

- ・ご記入済みの調査票は、**9月3日(月)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください(切手は不要です)。

お問い合わせ先 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

調査の趣旨、記入方法について

復興庁 「住民意向調査」 問い合わせセンター	☎ 0120-172-477 設置期間：8月21日(火)～9月3日(月) 平日10時～17時
------------------------------	---

その他のお問い合わせについて

福島県	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 避難地域復興局 生活拠点課 Tel：024-521-8617
富岡町	〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622番地の1 富岡町役場 企画課 ☎ 0120-33-6466 Tel：0240-22-2111

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅の形態を教えてください。(〇は1つ)

- ① 持ち家(一戸建)
- ② 持ち家(集合住宅)
- ③ 民間賃貸住宅(一戸建)
- ④ 民間賃貸住宅(集合住宅)
- ⑤ 公営住宅
- ⑥ 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)

- ⑦ 家族のどなたかのお住まい・実家
- ⑧ 親戚・知人宅
- ⑨ その他

具体的に

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

(1) 震災発生当時のあなたの職業(就業形態)(〇は1つ)

- ① 自営業・会社経営者
- ② 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)
- ③ 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)
- ④ 団体職員
- ⑤ 公務員
- ⑥ パート・アルバイト

- ⑦ 学生
- ⑧ 無職(職を探していなかった)
- ⑨ 無職(職を探していた)

7~9の方
問7へ

- ⑩ その他
- 具体的に

1~6と10の方(2)と(3)へ

(2) 震災発生当時のあなたの業種(〇は1つ)

- ① 農業(畜産業を含む)
- ② 林業
- ③ 漁業
- ④ 建設業
- ⑤ 製造業
- ⑥ 電気・ガス・水道業
- ⑦ 運輸業
- ⑧ 卸・小売り・飲食、サービス業

- ⑨ 金融・保険業
- ⑩ 医療・福祉
- ⑪ 教育
- ⑫ 公務
- ⑬ その他

具体的に

(3) 震災発生当時の勤務先の場所(〇は1つ)

- | | | | |
|----------|-------|-------|--------|
| ① 杉内 | ⑧ 新町 | ⑮ 上郡 | ⑳ 中央 |
| ② 仲町 | ⑨ 赤木 | ⑯ 太田 | ㉑ 小浜 |
| ③ 高津戸 | ⑩ 上本町 | ⑰ 下郡山 | ㉒ 深谷 |
| ④ 下千里 | ⑪ 王塚 | ⑱ 毛萱 | ㉓ 小良ヶ浜 |
| ⑤ 大菅 | ⑫ 本町 | ⑲ 仏浜 | ㉔ 栄町 |
| ⑥ 夜の森駅前北 | ⑬ 岩井戸 | ㉑ 駅前 | ㉕ 新夜ノ森 |
| ⑦ 夜の森駅前南 | ⑭ 清水 | ㉒ 西原 | ㉖ 富岡町外 |

問7 ~ 問9

現在のあなたの状況について教えてください。

問7 あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(○は1つ)

① 富岡町 ② 浜通り ③ 中通り ④ 会津

⑤ 福島県外 → 具体的にご記入ください。

(都・道・府・県) (市・町・村)

問8 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	<input type="text"/> 人	エ) 高校生	<input type="text"/> 人
イ) 小学生	<input type="text"/> 人	オ) 15歳以上65歳未満 (中学生・高校生を除く)	<input type="text"/> 人
ウ) 中学生	<input type="text"/> 人	カ) 65歳以上の方	<input type="text"/> 人

問9 現在お住まいになっている住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

① 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)

② 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)

③ 富岡町営の災害公営住宅(有償)

④ 福島県営(本宮市・桑折町・大玉村・川内村営を含む)の復興公営住宅(有償)

⑤ その他の公営住宅(3、4は除く・有償)

⑥ 民間賃貸住宅(有償)

⑦ 給与住宅(社宅など)

⑧ 家族のどなたかのお住まい・実家

⑨ 親戚・知人宅

⑩ 持ち家(ご本人またはご家族所有)

⑪ その他
 [具体的に]

問10 震災発生当時ご一緒にお住まいだったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(○は1つ)

- ① 世帯でまとまって居住(一人暮らし含む)
- ② 合計2か所に分散
- ③ 合計3か所に分散
- ④ 合計4か所以上に分散

2~4の方 **問10-1** へ

問10-1 分散してお住まいにならざるを得なかった理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 仕事(勤務先)の関係 | ⑦ 親戚・知人・友人関係 |
| ② 育児・学校教育の関係 | ⑧ 住居確保の関係 |
| ③ 医療環境の関係 | ⑨ 放射線に対する不安 |
| ④ 介護環境の関係 | ⑩ その他 |
| ⑤ 福祉環境の関係 | 【具体的に |
| ⑥ 生活の利便性の問題 | 】 |

問11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。

(1)現在のあなたの職業(就業形態)(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| ① 自営業・会社経営者 | ⑧ 学生 |
| ② 自営業・会社経営者(休業中) | ⑨ 無職(職を探していない) |
| ③ 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | ⑩ 無職(職を探している) |
| ④ 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | ⑪ その他 |
| ⑤ 団体職員 | 【具体的に |
| ⑥ 公務員 | 】 |
| ⑦ パート・アルバイト | |

8~10の方
問12 へ

1~7と11の方 (2)へ

(2)現在のあなたの業種(○は1つ)

- | | | |
|--------------|------------------|-------|
| ① 農業(畜産業を含む) | ⑥ 電気・ガス・水道業 | ⑪ 教育 |
| ② 林業 | ⑦ 運輸業 | ⑫ 公務 |
| ③ 漁業 | ⑧ 卸・小売り・飲食、サービス業 | ⑬ その他 |
| ④ 建設業 | ⑨ 金融・保険業 | 【具体的に |
| ⑤ 製造業 | ⑩ 医療・福祉 | 】 |

問12 ~ 問14

将来に関するご意向についてお聞かせください。

問12 富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。
1から5の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

① 既に富岡町で生活している	1の方 問13・問14へ
② 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	2の方 問15～問20へ
③ まだ判断がつかない	3の方 問21～問23へ
④ 戻りたいが、戻ることができない	4、5の方 問24～問28へ
⑤ 戻らないと決めている	

問13・問14 は 問12 で1を選択した方にお伺いします。

問13 町内での生活を決めた判断材料は、どのようなことですか。(○はいくつでも)

① 放射線量が低減されたこと	⑧ 双葉警察署及び富岡消防署が再開したこと
② 水道水など、生活用水の安全性が確認されたこと	⑨ 近くに勤務先があること
③ 商業施設が再開したこと	⑩ 働く場・雇用機会があること
④ 自宅や災害公営住宅が整備されたこと	⑪ 気持ちが安らぐこと
⑤ JRや路線バスなどの公共交通機関が再開したこと	⑫ 友人・知人などが町内に居住していること
⑥ 医療機関が開院したこと	⑬ その他
⑦ 役場機能が再開したこと	具体的に

問14 町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。(○はいくつでも)
※1～5を選択された方は、それぞれ具体的な内容についてもご回答ください。

① 医療機関(診療科)の拡充	1の方 問14-2へ	6～13のみ 選択された方は 問29へ
② 介護・福祉施設の充実	2の方 問14-3へ	
③ 保育・教育環境の充実	3の方 問14-4へ	
④ 見守り活動の継続	4の方 問14-5へ	
⑤ 雇用確保の支援	5の方 問14-1へ	
⑥ 防犯体制の強化	⑦ 有害鳥獣対策の強化	具体的に
⑧ 商業施設の再開・充実	⑨ 鉄道などの公共交通機関の再開・充実	
⑩ 町内コミュニティ活動(行政区などの活動も含む)生涯学習環境の機会	⑪ 公営住宅・居住環境の整備	
⑫ 継続的な健康管理など、放射線に対する不安解消への取り組み、放射線量低減対策	⑬ その他	

問14

問14-1 雇用確保の支援として、どのような支援施策を希望されますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① 町内の求人情報の広報・周知 | ③ 業務・現場・作業体験の場の確保 |
| ② 町内立地企業などの説明会開催 | ④ その他 |
| | [具体的に] |

問14-2 医療機関の拡充として、どのような医療機関・診療科の立地を希望されますか。
(特に必要だと考える診療科を3つまで○をつけてください)

- | | | |
|--------|------------|----------|
| ① 内科 | ⑤ 眼科 | ⑨ 整形外科 |
| ② 外科 | ⑥ 耳鼻咽喉科 | ⑩ その他 |
| ③ 小児科 | ⑦ 皮膚科 | [具体的に] |
| ④ 産婦人科 | ⑧ 歯科(口腔外科) | |

問14-3 介護・福祉施設として、どのような施設の立地・再開を希望されますか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| ① 特別養護老人ホーム | ⑦ 障がい者支援施設 |
| ② 養護老人ホーム | ⑧ 障がい者グループホーム |
| ③ 軽費老人ホーム(ケアハウス) | ⑨ 精神障がい者社会復帰施設
(援護寮・授産施設など) |
| ④ 老人デイサービスセンター | ⑩ その他 |
| ⑤ 老人短期入所施設(ショートステイ) | [具体的に] |
| ⑥ 認知症対応型共同生活介護
(グループホーム) | |

問14-4 保育・教育環境として、どのような支援や施設整備を希望されますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| ① 地域住民との交流イベント | ⑥ 小中学生の学習サポートや
学童保育の手伝い |
| ② 親子での農業体験や漁業体験 | ⑦ 子育て世代のネットワークづくり |
| ③ 子どもが安心して遊べる環境の整備
(屋内運動場・公園遊び場など) | ⑧ スポーツを通じた世代間・地域間交流 |
| ④ 歴史・伝統継承の場・勉強会 | ⑨ その他 |
| ⑤ 共働きやひとり親家庭の子育て支援 | [具体的に] |

問14-5 現在行われている見守り活動についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 今のままでよい | ③ 見守り体制を強化して欲しい |
| ② 訪問回数を増やして欲しい | ④ その他 |
| | [具体的に] |

問29 へ

問15 ~ 問17

問15 ~ 問20 は 問12 で2を選択した方にお伺いします。

問15 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

- ① 家族全員での帰還を考えている
- ② 家族一部での帰還を考えている
- ③ 現在検討しているところ
- ④ 検討をしていない

問16 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。(○は1つ)

① 仕事の見通しがある

1の方 [問16-1、-2](#) へ

② 仕事の見通しはないが仕事に就きたい

2の方 [問17](#) へ

③ 仕事はしない

3の方 [問18](#) へ

問16-1 見通しがたっている仕事の場所(勤務先)はどこですか。(○は1つ)

① 富岡町

② 富岡町外

具体的な市町村名

問16-2 見通しがたっている仕事の業種を教えてください。(○は1つ)

① 農業(畜産業を含む)

⑧ 卸・小売り・飲食、サービス業

② 林業

⑨ 金融・保険業

③ 漁業

⑩ 医療・福祉

④ 建設業

⑪ 教育

⑤ 製造業

⑫ 公務

⑥ 電気・ガス・水道業

⑬ その他

⑦ 運輸業

具体的に

[問18](#) へ

問17 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(○はいくつでも)

① 農業(畜産業を含む)

⑨ 金融・保険業

② 林業

⑩ 医療・福祉

③ 漁業

⑪ 教育

④ 建設業

⑫ 公務

⑤ 製造業

⑬ その他

⑥ 電気・ガス・水道業

具体的に

⑦ 運輸業

⑧ 卸・小売り・飲食、サービス業

[問18](#) へ

問18 ~ 問19

問18 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。(○は1つ)

<ul style="list-style-type: none"> ① 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい ② 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい 	1,2の方 問18-1 へ
<ul style="list-style-type: none"> ③ 災害公営住宅(富岡町が町内に整備した住宅) 	3の方 問18-2 へ
<ul style="list-style-type: none"> ④ 自宅に住みたい(建て替える場合を含む) ⑤ 民間賃貸住宅(一戸建) ⑥ 民間賃貸住宅(集合住宅) ⑦ 給与住宅(社宅など) ⑧ 家族のどなたかのお住まい・実家 ⑨ 親戚・知人宅 ⑩ 現時点では判断できない ⑪ その他 ┌ 具体的に 	4~11の方 問19 へ

問18-1 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。(○はいくつでも)

<ul style="list-style-type: none"> ① 自宅周辺の放射線量の高さが心配だから ② 自宅周辺に住む人が少ないと思うから ③ 富岡町内の新たな場所で生活を開始したいから ④ 今後、津波の被害を受けることが心配だから ⑤ 自宅が帰還困難区域内にあるから 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 自宅が荒廃しているから ⑦ 自宅を解体したから ⑧ その他 ┌ 具体的に 	問19 へ
---	--	--------------

問18-2 富岡町が整備した災害公営住宅のうち、希望する団地は1~3のどこか教えてください。(最も希望するもの1つに○)

※こちらの調査への回答により、入居申し込みなどに影響があるものではありません。

<ul style="list-style-type: none"> ① 曲田第1団地 (戸建タイプ) ② 曲田第2団地 (マンションタイプ) 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 栄町団地(マンションタイプ) 	問19 へ
---	--	--------------

問19 富岡町に戻る場合に、どのような施策が必要と考えますか。(○はいくつでも)

<ul style="list-style-type: none"> ① 更なる放射線量の低減 ② 商業施設の再開、充実 ③ 医療、介護福祉施設の再開や新設 ④ 教育、保育環境の整備 ⑤ 公共交通機関の充実 ⑥ 雇用確保・就業サポート ⑦ 更なる防犯防火対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 放射線リスクコミュニケーションの充実 ⑨ 帰還困難区域の早期復興 ⑩ 町内コミュニティ活動・生涯学習の機会 ⑪ 子ども・高齢者などに対する見守り活動の充実 ⑫ その他 ┌ 具体的に
---	--

問20 へ

問20 ~ 問21

問20 富岡町に戻るまで(避難生活を継続している期間)に、どのような施策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| ① 町外での行政サービスの継続
(申請受付窓口や検診、健康相談など) | ⑤ 町内不動産の維持管理
(見守りや草刈りなど)に関するサポート |
| ② 町外コミュニティの運営サポート | ⑥ 町内不動産の有効利用
(空き家・空き地バンクなど)に関するサポート |
| ③ 放射線管理の徹底
(内部被ばく検査、健康手帳、線量計配布など) | ⑦ その他
【具体的に |
| ④ 放射線に関する学習会や相談会の開催 | 】 |

問29 へ

問21 ~ 問23 は 問12 で3を選択した方にお伺いします。

問21 富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| <p>【健康に関わるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 放射線量が低下せず不安だから ② 原子力発電所の安全性に不安があるから ③ 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから <p>【町内の復旧状況に関わるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 帰還困難区域内だから ⑤ 富岡町に戻っても仕事がなさそうだから ⑥ 富岡町での事業の再開が難しいから ⑦ 営農などができそうにないから ⑧ 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから ⑨ 公営住宅の整備が進んでいないから ⑩ 富岡町外への移動交通が不便だから ⑪ 道路、鉄道などの交通インフラに不安があるから ⑫ 医療環境に不安があるから ⑬ 介護・福祉サービスに不安があるから ⑭ 保育・教育環境に不安があるから ⑮ 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから | <p>【今後の生活に関わるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑯ 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから ⑰ 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから ⑱ 他の住民も戻りそうにないから ⑲ 今後の津波被害を受ける可能性があるから ⑳ 鳥獣による被害が心配だから ㉑ 帰還までに時間がかかるから ㉒ 避難先で仕事を見つけているから ㉓ 今の環境で子どもの教育を継続させたいから ㉔ 避難先の方が、生活利便性が高いから ㉕ すでに生活基盤ができているから ㉖ その他
【具体的に |
|--|--|

問22 へ

問22

問22 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

① 働く場の確保の見通し

1の方 [問22-1、-2](#) へ

② 鉄道など公共交通機関の充実

③ 医療機関(診療科)の拡充

④ 介護・福祉施設の充実

⑤ 保育・教育環境の充実

⑥ 商業施設の充実

⑦ 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況

⑧ どの程度の住民が戻るかの状況

⑨ 中間貯蔵施設の情報

⑩ 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)

⑪ 放射線の人体への影響に関する情報

⑫ 公営住宅・居住環境の整備

⑬ 住宅確保への支援に関する情報

⑭ 有害鳥獣対策の強化

⑮ 帰還困難区域内の復旧・復興計画・「特定復興再生拠点区域復興再生計画」の進捗

⑯ 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない

⑰ 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない

⑱ その他〔具体的に

2~18の方
[問23](#) へ

問22-1 どのような業種の仕事を希望しますか。(○は1つ)

① 農業(畜産業を含む)

② 林業

③ 漁業

④ 建設業

⑤ 製造業

⑥ 電気・ガス・水道業

⑦ 運輸業

⑧ 卸・小売り・飲食、サービス業

⑨ 金融・保険業

⑩ 医療・福祉

⑪ 教育

⑫ 公務

⑬ その他

〔具体的に

問22-2 仕事の場所(勤務先)はどこを希望しますか。(○は1つ)

① 富岡町

② 富岡町外〔具体的な市町村名

[問23](#) へ

問23 ~ 問24

問23 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- ① そう思う
- ② わからない
- ③ そう思わない

1の方 問23-1 へ

2,3の方 問29 へ

問23-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。
(○はいくつでも)

- ① まちづくりへの参加機会の創出
- ② 住民参加行事の充実
- ③ 町内で働く場の整備
- ④ 町内での宿泊施設・交流施設の充実
- ⑤ 継続的な町からの情報提供
- ⑥ 住民間交流機会の企画・実現
- ⑦ その他
 具体的に

問29 へ

問24 ~ 問28 は 問12 で4,5を選択した方にお伺いします。

問24 富岡町への帰還について、「戻ることができない」、
または、「戻らない」理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

- ① 放射線量が低下せず不安だから
- ② 原子力発電所の安全性に不安があるから
- ③ 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

- ④ 帰還困難区域内だから
- ⑤ 富岡町に戻っても仕事がなさそうだから
- ⑥ 富岡町での事業の再開が難しいから
- ⑦ 営農などができそうにないから
- ⑧ 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
- ⑨ 公営住宅の整備が進んでいないから
- ⑩ 富岡町外への移動交通が不便だから
- ⑪ 道路、鉄道などの交通インフラに不安があるから
- ⑫ 医療環境に不安があるから
- ⑬ 介護・福祉サービスに不安があるから
- ⑭ 保育・教育環境に不安があるから
- ⑮ 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

- ⑯ 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
- ⑰ 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
- ⑱ 他の住民も戻りそうにないから
- ⑲ 今後の津波被害を受ける可能性があるから
- ⑳ 鳥獣による被害が心配だから
- ㉑ 帰還までに時間がかかるから
- ㉒ 避難先で仕事を見つけているから
- ㉓ 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
- ㉔ 避難先の方が、生活利便性が高いから
- ㉕ すでに生活基盤ができているから
- ㉖ その他
 具体的に

問25 へ

問25 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- ① そう思う
- ② わからない
- ③ そう思わない

1の方 **問25-1** へ

2,3の方 **問26** へ

問25-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- ① まちづくりへの参加機会の創出
- ② 住民参加行事の充実
- ③ 町内で働く場の整備
- ④ 町内での宿泊施設・交流施設の充実
- ⑤ 継続的な町からの情報提供
- ⑥ 住民間交流機会の企画・実現
- ⑦ その他
[具体的に]

問26 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)地域はどちらですか。(○は1つ)

- ① 浜通り
- ② 中通り
- ③ 会津
- ④ 福島県外 → 具体的にご記入ください。
 (都・道・府・県) (市・町・村)

問27 今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- ① 持ち家(一戸建)
- ② 持ち家(集合住宅)
- ③ 民間賃貸住宅(一戸建)
- ④ 民間賃貸住宅(集合住宅)
- ⑤ 公営住宅
- ⑥ 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)
- ⑦ 家族のどなたかのお住まい・実家
- ⑧ 親戚・知人宅
- ⑨ 現時点では判断できない
- ⑩ その他
[具体的に]

問28 町外で生活されている方に対するサポートとして、どのような施策が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- ① 特にない
- ② 町外での行政サービスの継続(申請受付窓口や検診、健康相談など)
- ③ 町外での事業再開へのサポート
- ④ 町外コミュニティの運営サポート
- ⑤ 放射線管理の徹底(内部被ばく検査、健康手帳、線量計配布など)
- ⑥ 放射線に関する学習会や相談会の開催
- ⑦ 町内不動産の維持管理(見守りや草刈りなど)に関するサポート
- ⑧ 町内不動産の有効利用(空き家・空き地バンクなど)に関するサポート
- ⑨ その他[具体的に]

問29 へ

問29

復興公営住宅についてお伺いします。

◆復興公営住宅とは

「将来の帰還に向け、仮設住宅などから安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するため、福島県が主体となり整備している公営住宅。

※富岡町が整備した町内の災害公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

問29 福島県が整備した又は整備を予定している福島県営の復興公営住宅(富岡町外)への入居意向について教えてください。(○は1つ)

<p>① 入居が決定している</p> <p>② 入居の申し込み中(結果待ち)である</p> <p>③ 今後、入居の申し込みをしたいと考えている</p>	<p>④ 入居を希望しない</p> <p>⑤ 現時点では判断できない 判断できない理由</p>	4の方 問30 へ
---	---	-----------

1~3の方 問29-1 へ

問29-1 入居(整備)を希望する(決まっている)復興公営住宅の立地市町村について教えてください。(○は1つ)

<p>① 福島市</p> <p>② 会津若松市</p> <p>③ 郡山市</p>	<p>④ いわき市</p> <p>⑤ 白河市</p> <p>⑥ 二本松市</p>	<p>⑦ 田村市</p> <p>⑧ 南相馬市</p> <p>⑨ 本宮市</p>	<p>⑩ その他※</p> <p>※10を選択した場合は、()内に具体的にご希望の市町村名を記入してください。 ※こちらの調査への回答により、入居申し込みなどに影響があるものではありません。</p>
--	--	---	--

問30 へ

※福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ
福島県 生活拠点課 TEL:024-521-8617

富岡町からの情報入手についてお聞かせください。

問30 日頃、富岡町の行政情報やイベント開催情報を、どのような媒体を活用して把握していますか。(〇は3つまで)

① 広報誌「広報とみおか」	⑥ テレビ・CM
② 町公式ホームページ	⑦ 新聞
③ 町公式フェイスブック	⑧ ラジオ
④ 町公式LINE	⑨ その他
⑤ とみおかアプリ	具体的に

問31 富岡町からの情報で強い関心があるものは何ですか。(〇は3つまで)

① 身近なこと、できごと	⑥ 防火・防災・災害情報
② 手続き・窓口関係情報	⑦ 医療・福祉・介護に関すること
③ 町内の状況(復旧・復興)	⑧ 子育て・教育に関すること
④ 観光・イベント情報	⑨ 生涯学習・スポーツ・施設利用に関する情報
⑤ 町長・職員メッセージ	⑩ その他
	具体的に

問32

国や福島県、富岡町へのご意見などについてお聞かせください。

問32 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国、県、町への要望などをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
9月3日(月)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

**富岡町 住民意向調査
報告書**

平成31年3月

復興庁 福島県 富岡町

調査機関：トッパン・フォームズ株式会社